

## 資料目次

(資料 1) 川崎市立看護大学大学院整備基本計画

(資料 2) 看護職員(保健師、助産師、看護師及び准看護師)の  
従事者数 (令和 2 年 12 月)

(資料 3) 令和 5 年度出身高校の所在地県別入学者数

(資料 4) 競合校の入学志願動向等

(資料 5) 学生確保に係るアンケート調査

(別紙 1) 新組織が置かれる都道府県への入学状況

(別紙 2-1) 既設学科等の入学定員の充足状況 (直近 5 年間)

(別紙 3) 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績

## 川崎市立看護大学大学院整備基本計画



～ より実効性のある地域包括ケアシステムに向けて ～

令和5(2023)年8月

川 崎 市



## はじめに

本学（川崎市立看護大学）は、看護基礎教育における教育の質を高め、医療機関はもとより地域の様々な場で活躍することができる地域包括ケアシステムに資する人材を養成し、地域社会における健康と福祉の向上に貢献することを設置の趣旨として、令和4（2022）年4月に開学いたしました。

一方、地域における保健、医療、介護、社会福祉サービスのニーズがより一層増加又は複雑化している中、本市が目指す全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向け、こうしたサービスを提供していく人材の確保・養成が課題となっています。我が国の生産年齢人口は既に減少に転じており、今後、これらのニーズに的確に対応していくためには、その数の確保とともに、高度な専門性や実践能力を兼ね備えた看護職、看護学全体を牽引する教育・研究者、所属機関や施設等において率先して地域包括ケアシステムをさらに推進していくような人材が必要となっています。

そのため、本学では、こうした人材の養成を行うことで、地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとし、本市施策を推進することを目的に、令和7年4月の大学院設置を目指し、この度、その大学院の方向性をとりまとめた「川崎市立看護大学大学院整備基本計画」を策定いたしました。

今後、本計画の内容をもとに、必要な施設・設備等の整備、教員・実習先の確保、具体的なカリキュラムの検討などを行い、関係省庁や関係機関等と調整を進めてまいります。

## 【 目 次 】

|       |                              |   |
|-------|------------------------------|---|
| 第 1 章 | 看護職の養成に関わる現状と課題について.....     | 1 |
| 1     | 川崎市立看護大学における看護職の養成.....      | 1 |
| (1)   | 設置の趣旨.....                   | 1 |
| (2)   | 教育理念.....                    | 1 |
| (3)   | 大学の特色.....                   | 1 |
| (4)   | 学部等の概要.....                  | 2 |
| 2     | 看護系大学院の設置状況.....             | 2 |
| (1)   | 看護系大学院数及び入学定員の推移等.....       | 2 |
| (2)   | 公立看護系大学における大学院開設状況.....      | 3 |
| 3     | 高度実践看護職の育成に関する社会的な背景と課題..... | 3 |
| (1)   | 社会保障を支える人材を取り巻く状況.....       | 3 |
| (2)   | 高度実践看護職の確保・育成の取組状況.....      | 4 |
| (3)   | 看護職の需給状況・就業状況 [参考].....      | 5 |
| 4     | 本市における看護系大学院の設置について.....     | 6 |

|       |                          |    |
|-------|--------------------------|----|
| 第 2 章 | 大学院の設置・運営について.....       | 7  |
| 1     | 設置の趣旨・目的.....            | 7  |
| 2     | 教育理念・教育目標.....           | 7  |
| 3     | 特色ある大学院づくり.....          | 8  |
| 4     | カリキュラムの検討に向けた方向性.....    | 9  |
| 5     | 養成コース及び定員.....           | 9  |
| 第 3 章 | 検討経過及び今後のスケジュールについて..... | 11 |
| 1     | 基本計画の策定経過.....           | 11 |
| 2     | 今後のスケジュール.....           | 12 |
| 資料編   | .....                    | 15 |



## 第1章

看護職の養成に関わる現状と課題について

## 第2章

大学院の設置・運営について

## 第3章

検討経過及び今後のスケジュールについて





## 1 川崎市立看護大学における看護職の養成

### (1) 設置の趣旨

令和4(2022)年4月に開学した川崎市立看護大学については、その設立にあたり、看護師の主たる活躍の場が病院からさらに幅広い様々な場に広がり、医療の高度化、医療ニーズの多様化への適切な対応と、科学的根拠を持って論理的に「思考し、実践できること」が重要となるとともに、多職種との連携の必要性が高まっていたほか、高齢化の進展を踏まえ、予防の重要性が一段を増していたことや健康危機管理の視点から看護師には多様な役割を果たすことが求められていたことから、設置の趣旨を次のとおり設定しました。

看護基礎教育における教育の質を高め、医療機関はもとより地域の様々な場で活躍することができ、地域包括ケアシステムに資する人材を養成し、地域社会における健康と福祉の向上に寄与する。

### (2) 教育理念

前記(1)の設置の趣旨を踏まえ、川崎市立看護大学の教育理念を次のとおりとしました。

社会で生活する人々に対する理解を深め、豊かな人間性と幅広い視野を持ち、科学的根拠と倫理観に基づいて思考し、問題に対応するための看護実践力を通し、地域社会における健康と福祉の向上に貢献できる人材(地域包括ケアシステムに資する人材)を育成する。

### (3) 大学の特色

川崎市立看護大学については、時代や社会の養成に的確に応え、地域に開かれた大学として地域と共に学び、確かな知識と豊かな人間性を兼ね備えた看護人材を養成し、地域に還元していくことの重要性を踏まえ、次の3つの機能を重点的に果たしていくことをその特徴とし、大学運営を行っています。

#### ① 高度専門職業人養成機能

前記(1)の設置の趣旨を踏まえ、様々な看護ニーズに対応できる看護師の養成に取り組む。

## ② 地域の生涯学習機会の拠点機能

病院への大学教員派遣による研修指導の実施や地域で活躍する医療職への学内図書館の開放、科目等履修生・聴講生等の受入れなどに取り組む。

## ③ 社会貢献機能

地域の区民祭や子育てイベント等での活動、授業「サービスラーニング論」を通じた学生の地域でのボランティア活動の実践、市民向け公開講座の実施などに取り組む。

## (4) 学部等の概要

3年間の教育課程である川崎市立看護短期大学においては、前記(1)の設置の趣旨を踏まえたカリキュラムの充実が困難であることから、4年制大学を設置し、大学の学部・学科の名称や入学定員／収容定員、学位又は称号、教育課程及び取得できる資格を次のとおりとして、高度専門職業人としての看護職を養成しています。

|            |   |
|------------|---|
| ・学部・学科の名称  | 看護学部－看護学科（修業年限4年）   |
| ・入学定員／収容定員 | 100人／400人（令和4（2022）年4月開学）                                 |
| ・学位又は称号    | 学士（看護学）   |
| ・教育課程      | 講義 68 科目／演習 28 科目／実験・実習 23 科目<br>計 119 科目（卒業要件単位数 132 単位） |
| ・取得できる資格   | 看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格<br>※2年生の年度末に保健師コース 30 名を選抜        |

## 2 看護系大学院の設置状況

## (1) 看護系大学院数及び入学定員の推移等

令和4（2022）年4月における看護系大学院の設置数は、修士課程 197 大学、博士課程 108 大学となっており、10年間でそれぞれ約 1.41 倍、約 1.57 倍（平成 24（2012）年比較）に増加、入学定員数は、修士課程 2,894 人、博士課程 653 人となっており、10年間でそれぞれ約 1.19 倍、約 1.27 倍（平成 24（2022）年比較）に増加しています<sup>※1</sup>。

また、入学者数を確認できた公立の看護系 43 大学（大学院）の令和 3（2021）年度の全体の定員充足率は、修士課程及び博士課程を合わせ、108.7%となっています。

※1 資料編「1 看護系大学院数及び入学定員の推移」参照

## (2) 公立看護系大学における大学院開設状況

令和4(2022)年4月現在、公立看護系大学は本学を含め50校あり、このうち大学院を開設しているのは46校(修士課程46大学、博士課程36大学)となっています。直近では、令和2(2020)年度に1校、令和3(2021)年度に1校、令和4(2022)年度に4校が新たに大学院修士課程又は博士課程を開設しています。

また、学位別でみると、令和4年度開設の大学院を含めると、修士課程では「看護学」が42校と最も多く、次いで「公衆衛生看護学」、「保健看護学」及び「健康科学」が各2校、「保健学」、「保健福祉学」、「健康福祉学」及び「公衆衛生学」が各1校となっています。また、博士課程では「看護学」が30校と最も多く、次いで「健康科学」が3校、「保健福祉学」及び「保健看護学」が各2校、「健康生活科学」及び「健康福祉学」が各1校となっています。

## 3 高度実践看護職の育成に関する社会的な背景と課題

### (1) 社会保障を支える人材を取り巻く状況

#### <現 状>

我が国では、保健、医療・介護・社会福祉サービスの提供が必要な老年人口、高齢者単身世帯及び訪問診療利用者(在宅患者)の増加<sup>※2</sup>を見据え、誰もが希望する地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住み慣れた自宅等の住まいを中心に保健・医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みが進められています。

しかしながら、要介護認定率は年齢の上昇に伴い高くなる<sup>※3</sup>ため今後も要介護・要支援認定者数は増加<sup>※4</sup>し、より一層、医療と介護の複合ニーズを持つ方が増加するとともに、「自宅で最期を迎えたい」という方<sup>※5</sup>、リロケーションダメージ<sup>※6</sup>への対応など、保健、医療・介護・社会福祉サービスのニーズは増加、変化、複雑化していくことが見込まれています。

また、『川崎市健康増進計画第2期かわさき健康づくり21』中間評価と今後の方向性(平成30年3月)では、今後より一層「要介護状態になる要因の約2割を占める生活習慣病の予防」や「働き盛り世代のこころの健康を守るための取組」などを進める必要があるとされています。<sup>※7</sup>

一方、令和元(2019)年12月に公布された「成育課程にある者及びその保護者並びに

※2 資料編「2 国内の人口推計」、「6 国内の世帯数の将来推計」、「7 国内の訪問診療利用者の推計」参照

※3 資料編「8 国内の年齢階級別の要介護認定率」参照

※4 資料編「9 川崎市の要介護・要支援認定者数の推移と将来推計」参照

※5 資料編「12 完治が見込めない病気の場合に迎えたい最後の場所」及び「13 介護が必要になった場合の川崎市の高齢者の意向」参照

※6 リロケーションダメージ：住み慣れた場所や環境から他に移ることがストレスとなり、不安や混乱から心身の状態が悪化していること。

※7 関連データ：資料編「14 『川崎市健康増進計画第2期かわさき健康づくり21』で設定した主な指標の達成状況」参照

## 第1章

妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律」や、令和4(2022)年6月にとりまとめられた、障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり等を基本的な考え方とする報告書「障害者総合支援法改正施行後3年の見直しについて」(厚生労働省社会保障審議会障害者部会)では、高齢者以外の者についても、医療、保健及び社会福祉サービスを総合的に推進していくことが明記され、こうした考え方は、川崎市における「全ての地域住民」を対象とした地域包括ケアシステムの構築<sup>※8</sup>と同様のものとなっています。

### <課題>

保健・医療・介護・社会福祉サービスにおけるニーズが増加、変化及び複雑化する中、地域包括ケアシステムを持続可能なものとしてくためには、健康寿命の延伸、予防の取組など市町村機能の強化や医療機関以外での看護職の活躍が必要となるとともに、保健・医療・介護・社会福祉サービスを担う施設・機関等が、より効率的で質の高いサービスを提供していく必要があります。また、「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」(平成27年3月策定)では、「全ての地域住民」を対象とした地域包括ケアシステムの実現に当たり、地域内の多様な主体の活躍、多職種連携、専門職のより高い専門性の発揮に向けた仕組みづくりが必要<sup>※9</sup>となっています。

更に、我が国の死因上位<sup>※10</sup>を占めるがん、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病へのより適切な対応や、新興感染症など健康危機管理、医師業務のタスク・シフト等の推進、医療機関の機能の特化・専門化への対応、高齢・女性労働者の増加やテレワーク等による労働環境の変化に対応した産業保健強化への対応が必要となっています。

更には、少子化の時代における思春期及び妊娠期から老年期までのリプロダクティブ・ヘルス<sup>※11</sup>への対応や新型コロナウイルス感染症の感染拡大時に発生した、就労や生活環境の悪化によるこころの健康への影響などを踏まえた、看護職の活躍が期待されています。

## (2) 高度実践看護職の確保・育成の取組状況

### <現状>

我が国では、高齢化の進展に伴う保健・医療・介護・社会福祉サービスの需要増等に対応するため、看護職の総数確保に取り組んできました。しかしながら、都道府県別では依然として看護職が総数として不足するところがあることに加え、一見看護職の総数が充足しているように見えても、領域別では介護保険施設等の介護保険サービスや訪問看護事業所等では、看護職が不足しているところもあります。

また、そうした介護分野や訪問看護においては、医師等がそばにいてすぐに相談できる環境にないことから、利用者の療養生活を理解し適切なアセスメントや必要なケアを適時に実践できる能力をもつ看護職の確保などを目的に、平成26(2014)年の診療報酬改定において「機能強化型訪問看護ステーション」が位置付けられ、「訪問看護アク

※8 「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」(平成27年3月策定)から引用

※9 資料編「15 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン『適切な役割分担と高い専門性の発揮』」参照

※10 資料編「16 国内の主な死因別にみた死因順位別死亡数・死亡率(人口10万人対)」参照

※11 性と生殖に関する健康のこと。

シヨンプラン 2025」(公益社団法人日本看護協会、公益財団法人日本訪問看護財団、一般社団法人全国訪問看護事業協会)では、二次保健医療圏<sup>※12</sup>ごとに少なくとも1か所以上設置することが目標とされました。

一方、医療・介護連携の推進や医療機関の機能の特化・専門化の動きなどを踏まえ、専門性を有する看護職の配置を要件とした診療報酬が次々と創設され、医療現場における看護職の専門性の向上が評価されるとともに、法に定められた特定行為研修<sup>※13</sup>や看護ケアの広がりや質の向上を目的とした専門看護師制度(CNS : Certified Nurse Specialist) <sup>※14</sup>の推進など、より専門性の高い看護職の養成が進められています。

#### <課題>

今後は、不足が見込まれる地域包括支援センター、介護保険施設、訪問看護事業所、障害児・者施設等での看護職の確保、更には訪問看護事業所の機能強化に向けた看護職の育成に取り組む必要があるとともに、医療現場においても、引き続き、特定行為研修修了者や専門看護師の確保・育成など、看護職の専門性の向上に取り組んでいく必要があります。

円滑な多職種連携のもと、知識・技術・経験を有し、医療機関又は地域の医療・介護現場などで活躍できる看護職の確保・養成が進められており、引き続き、取り組んでいく必要があります。

### (3) 看護職の需給状況・就業状況 [参考]

#### <現状>

高齢化の進展に伴う保健、医療・介護・社会福祉サービスの需要増等に対応するため、看護職の就業者数は増加傾向<sup>※15</sup>となっています。看護師(准看護師を含む。)の有効求人倍率も未だ高い水準にあり、特に、訪問看護事業所の有効求人倍率<sup>※16</sup>が高くなっています。また、今後も、医療・介護・社会福祉サービスのニーズは増加し、令和22(2040)年の保健、医療・福祉分野の就業者数は約96万人不足することが見込まれています<sup>※17</sup>。

一方、就業場所別で見ると、保健師は、就業者数は医療機関の増加が最も大きいものの、増加率では介護保険施設等の増加が顕著となっており、助産師及び看護師は、医療機関、介護保険施設等(看護師のみ)、社会福祉施設等、保健所・地方自治体のいずれにおいても就業者数が増加するなど、看護職の活躍の場がより一層幅広くなっています<sup>※18</sup>。

※12 一般的な入院医療への対応を図り、保健・医療・福祉の連携した総合的な取組を行うために市区町村を超えて設定する圏域。本市は、川崎北部保健医療圏(高津区、宮前区、多摩区及び麻生区)及び川崎南部保健医療圏(川崎市、幸区及び中原区)の2つの医療圏が設定されている。

※13 保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)に定める研修。特定行為とは、「診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるもの」で、21区分38行為が定められている。資料編「17 特定行為研修修了者数」参照。

※14 公益社団法人日本看護協会の資格認定制度の一つで、14の専門看護分野がある。専門看護師には実践、相談、調整、倫理調整、教育及び研究の6つの役割がある。資料編「18 専門看護師登録者数」参照。

※15 資料編「19 国内の就業看護職(実人員)の推移」参照

※16 資料編「20 国内の看護師及び准看護師の有効求人倍率」参照

※17 資料編「21 国内の医療・福祉分野の就業者数の見通し」参照

※18 資料編「22 国内の就業場所別にみた就業看護職(実人員)の推移」参照

## 4 本市における看護系大学院の設置について

川崎市では、人口10万人対の看護師数が全国値よりも低い数値となっていることから、平成30(2018)年3月に策定した「かわさき保健医療プラン(2018-2023年度)」では、「新規養成(養成促進)」、「定着促進(離職防止)」及び「再就業支援」の3つの柱を掲げ、看護職の確保対策を推進することとしています。

また、川崎市は7つの行政区に分かれていますが、生活環境等の違いから、各区の「年齢3区分別人口の割合」<sup>※19</sup>、「ひとり暮らし高齢者数が高齢者人口に占める割合」<sup>※20</sup>、「要介護認定率」<sup>※21</sup>、「外国人住民人口」などが大きく異なっているため、地域の実情や特性を踏まえた保健・医療・介護・社会福祉サービスの提供が必要となっています。こうした背景のもと、本市が目指す「全ての市民」を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向けては、円滑な多職種連携のもと、知識・技術・経験を有し、地域の医療・介護現場などで活躍できる看護人材の育成が課題となっています。

そのため、令和4(2022)年3月に策定した「川崎市総合計画第3期実施計画」では「施策1-6-1 医療提供体制の充実・強化」において、高度な専門性を有する看護人材を養成する大学院の設置検討を行い、令和7(2025)年度開学を目指すこととしています。

※19 資料編「4 川崎市行政区別の年齢3区分別人口の割合」参照

※20 資料編「5 川崎市行政区別のひとり暮らし高齢者数が高齢者人口に占める割合」参照

※21 資料編「10 川崎市行政区別の要介護認定率」参照

## 第1章

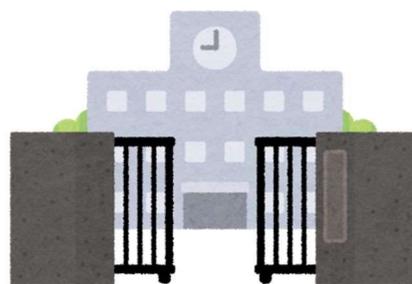
看護職の養成に関わる現状と課題について

## 第2章

大学院の設置・運営について

## 第3章

検討経過及び今後のスケジュールについて





## 第2章 大学院の設置・運営について

## 1 設置の趣旨・目的

本市が目指す、全ての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向け、第1章に掲げた課題を解決し、地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとしていくため、市の施策を推進する役割を担う公立大学であることを踏まえ、大学院の設置の趣旨・目的につきましては、次の内容を基本として検討を進めてまいります。

高齢化の進展による要介護者の増加に伴い、医療と介護の複合ニーズを持つ方やリロケーションダメージへの対応が必要となるなど、今後、より一層、地域における保健、医療、介護、社会福祉サービスのニーズが増加、変化、複雑化していくことが見込まれています。

こうした中、地域包括ケアシステムを持続可能なものとしていくためには、こころの健康や予防の視点を含め、関係機関をはじめ、医療機関や施設など地域で活躍する看護職が、個人としてより高い専門性を発揮するとともに、看護の質の向上に向け地域を牽引していく必要があります。また、看護学そのものを発展させ、より質の高い効率的な看護を目指すための人材、所属する施設、機関、組織など（以下「所属する施設等」という。）においてリーダーとなり、幅広い見識のもと地域包括ケアシステムを推進する人材が必要となっています。

そのため、大学院においては、より高度な専門性と実践力を有する看護職、国際的にも活躍しうる教育・研究者、所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材や少子化の時代における思春期及び妊娠期から老年期までのリプロダクティブ・ヘルスを支援する人材を養成し、地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとしていくことでその役割を果たし、地域社会における健康と福祉の向上並びに看護学の発展に寄与することを使命とします。

## 2 教育理念・教育目標

川崎市立看護大学の「設置の趣旨」との整合性を図りつつ、既存の看護学部の教育理念や公立大学としての役割、更には「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月26日文科科学省中央教育審議会答申）で示された大学院が目指すべき姿等を踏まえ、川崎市立看護大学大学院における教育理念及び教育目標については、次の内容を基本として検討を進めてまいります。

地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとしていくためには、看護職をはじめ

とする専門職や医療、看護、介護、福祉、生活支援等の関係者一人ひとりが、社会に求められるコンピテンシー<sup>※22</sup>に基づく知識・態度・判断力・実践力を身に付けそれを発揮するとともに、広い見識のもと多職種と連携していく必要があります。

そのため大学院では、次のような人材を養成します。

- より高度な専門性と実践力を有し、看護の質の向上に向け地域を牽引する看護職
- 看護学の発展に寄与し、国内外で活躍する教育・研究者
- 所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材
- 少子化の時代において思春期及び妊娠期から老年期までのリプロダクティブ・ヘルスを支援できる助産師

### 3 特色ある大学院づくり

大学院は、地域で活躍する社会人がさらなる専門性習得のため働きながら通うことも想定されます。そうした院生が、可能な限り、仕事を続けながら通うことが可能となるよう、次のような修学・教育体制や、最寄り駅から徒歩圏内で通える利便性のよいサテライトキャンパスの整備について、検討を進めます。

- ・ 平日夜間帯や土曜日などを活用した授業（講義、演習）の実施  
（原則として、実習は平日日中での授業が基本）
- ・ 通信技術を用いた遠隔（オンライン）授業の実施
- ・ 学外からの利用も可能な図書館の整備・充実
- ・ 長期履修制度の活用
- ・ 利便性の高い川崎駅近隣（民間ビル等）へのサテライトキャンパスの整備

＜サテライトキャンパスについて＞

大学院本部は川崎市立看護大学（幸区小倉 4-30-1）に置きつつ、サテライト施設には、講義室、演習室、ゼミ室、研究室等を整備するとともに、事務局室機能を有したものとします。そのため、現時点では、廊下等の共用部分を含み、全体で概ね600 m<sup>2</sup>程度を想定しています。

- ・ 本市の地域特性を踏まえ、また人的・物的資源を活用した授業（講義、演習、実習）の実施
- ・ 本市関連施設又は部署と連携した研究活動の実施及び市が保有する様々なデータを活用した研究の推進
- ・ 学部と大学院の連携を図ることにより長期的なキャリア形成を実現できる教育体制
- ・ 大学院の授業に関わる教職員の柔軟で効率的な勤務体制 など

※22 優れた成果を創出する個人の能力・行動特性のこと。

## 4 カリキュラムの検討に向けた方向性

大学院に設置する新たな研究科（修士課程、博士課程）では、第1章の3に示した社会的な課題の解決に向け、次頁の図にあるように、博士前期（修士）課程において、「より専門的かつ実践できる看護職の確保・育成」や「看護職の専門性の向上」などに資する「(仮称) 基盤看護学専攻」、及び「地域内の多様な主体の活躍・多職種連携」や「医療機関又は地域の医療・介護現場などで活躍できる看護職の確保・養成」などに資する、「(仮称) 地域包括ケア専攻」の2つの専攻を設置することとします。また、この専攻では、それぞれ複数の研究分野を配置することとしていますが、必須の履修分野以外は院生が選択して学べることを基本とする方向で検討を進めます。

これは、社会人である院生が、それぞれの専門資格やその有無、現在又は今後の就業状況などを踏まえ、自らが必要とする専門分野を自らが選ぶことで、卒業後に社会又は地域においてより活躍を期待できるためであり、大学院の設置の趣旨である地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとすることに、繋がるものと考えています。

また、これらとは別に、リプロダクティブ・ヘルスを支援するため助産師専攻の設置に向けて検討を進めます。

なお、大学院教員が大学教育にも携わることで、大学（看護学部看護学科）教育が更に質の高いものとなることが期待されます。

## 5 養成コース及び定員

「(仮称) 基盤看護学専攻」では、主に患者の症状をマネジメントする看護援助方法について学修・研究を行う「看護援助学」、主に看護管理について学修・研究を行う「看護マネジメント学」、主に家族支援の在り方について学修・研究を行う「家族看護学」及び「感染看護学」の4つの領域を設ける方向で検討します。このうち「家族看護学」及び「感染看護学」については、更に現在又は今後の就業状況などを踏まえ院生が希望により公益社団法人日本看護協会専門看護師認定審査に必要となる専門看護師教育課程及び保健師助産師看護師法に定める特定行為研修課程を含めた養成コースの選択が可能となるよう検討します。

同様に、「(仮称) 地域包括ケア専攻」では、主に小児から高齢までの地域・医療機関・施設等におけるシームレスな看護の実践について学修・研究を行う「小児看護学」、「成人看護学」、「クリティカルケア」、「老年看護学」及び「地域・在宅看護学」、主に心身の健康管理やその予防について学修・研究を行う「公衆衛生看護学」及び「精神看護学」、並びに主に施設運営等についての学修・研究を行う「保健医療経営」の8つの研究コースを設ける方向で検討します。このうち「クリティカルケア」、「地域・在宅看護学」及び「精神看護学」については、更に現在又は今後の就業状況などを踏まえ院生が希望により公益社団法人日本看護協会専門看護師認定審査に必要となる専門看護師教育課程及び保健師助産師看護師法に定める特定行為研修課程を含めた養成コースの選択が可能とな

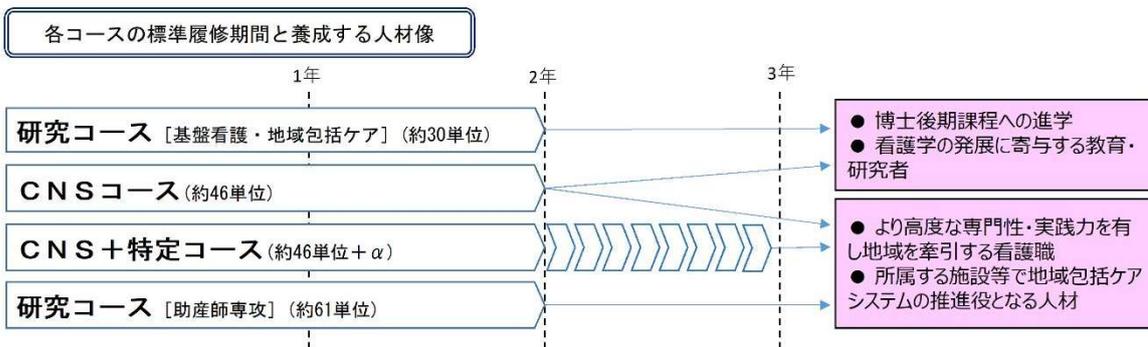
## 第2章

るよう検討とします。

定員については、研究科修士課程において15名程度/年、博士課程において5名程度/年、助産師専攻において3名程度/年を想定しています。

| 専攻名    | 研究コース名   | 修業年限              | 定員    |
|--------|--|-------------------|-------|
| 基盤看護学  | 看護援助学<br>看護マネジメント学<br>感染看護学<br>家族看護学                                 | 博士前期課程 2年<br>(修士) | 15名/年 |
| 地域包括ケア | 小児看護学 成人看護学<br>クリティカルケア<br>老年看護学 公衆衛生看護学<br>保健医療経営 精神看護学<br>地域・在宅看護学 | 博士後期課程 3年         | 5名/年  |
| 助産師    | 助産学  | 修士課程 2年           | 3名/年  |

|           | 基盤看護学専攻                              | 地域包括ケア専攻  | 助産師専攻 |
|-----------|--------------------------------------|---|-------|
| 研究コース     | 看護援助学<br>看護マネジメント学<br>感染看護学<br>家族看護学 | 小児看護学<br>成人看護学<br>クリティカルケア<br>老年看護学<br>公衆衛生看護学<br>保健医療経営<br>精神看護学<br>地域・在宅看護学 | 助産学   |
| CNSコース    |                                      |   |       |
| CNS+特定コース |                                      |   |       |



※ 「CNS」は専門看護師を指す。「特定」は特定行為研修を指す。

## 第1章

看護職の養成に関わる現状と課題について

## 第2章

大学院の設置・運営について

## 第3章

検討経過及び今後のスケジュールについて





第3章 検討経過及び今後のスケジュールについて

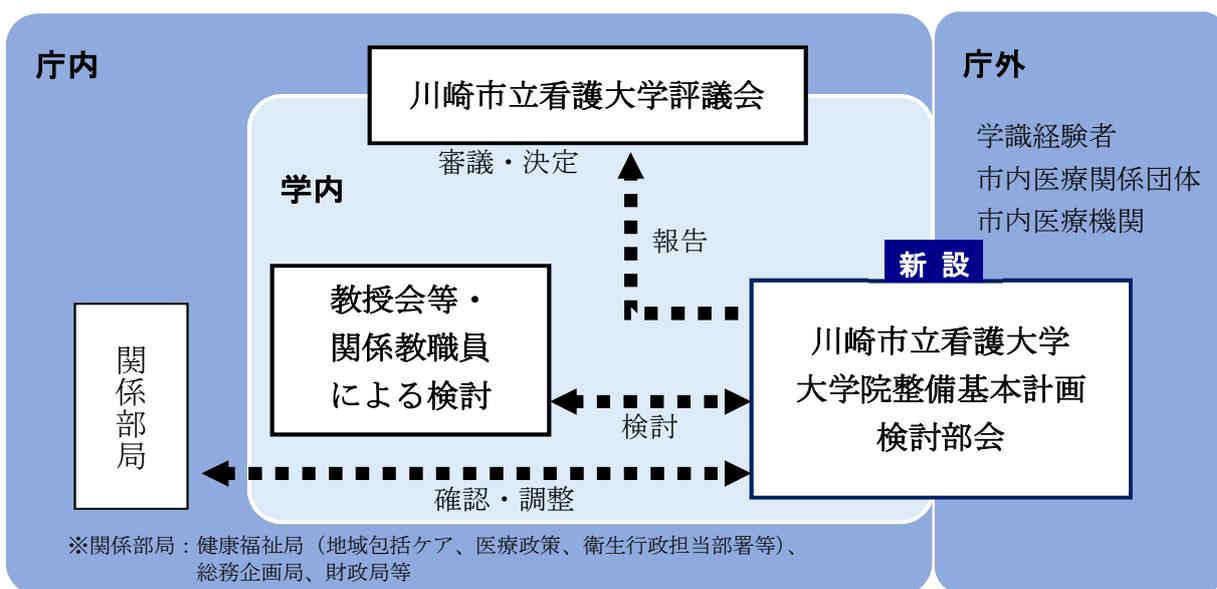
1 基本計画の策定経過

大学院（研究科）の設置については、川崎市立看護大学評議会規程第3条第3号の規定に基づき、川崎市立看護大学評議会<sup>※23</sup>の審議事項となり、本計画については、当該評議会の下に設置した検討部会<sup>※24</sup>において検討を重ねとりまとめ、評議会において審議してきました。

<評議会及び検討部会の開催状況>

| 開催日時                       | 会議名称           | 審議事項等   |
|----------------------------|----------------|---|
| 令和5年2月2日<br>2月3日<br>(書面開催) | 評議会            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院設置の必要性を確認</li> <li>・部会設置を決定</li> <li>・基本計画記載項目を確認</li> </ul> |
| 令和5年2月14日                  | 第1回<br>検討部会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職の養成に関わる現状と課題を確認</li> <li>・外部有識者から意見聴取</li> </ul>             |
| 令和5年3月28日                  | 第2回<br>検討部会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院の教育理念及び養成コースの方向性について意見交換</li> </ul>                          |
| 令和5年4月18日                  | 第3回<br>検討部会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本計画（案）」案を確認</li> </ul>  |
| 令和5年5月11日                  | 評議会            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本計画（案）」の最終確認</li> </ul>                                       |
| 令和5年5月19日                  | 川崎市<br>政策・調整会議 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本計画（案）」の決定</li> </ul>   |

<検討体制>



※23 資料編「23 川崎市立看護大学評議会規程」参照

※24 資料編「24 川崎市立看護大学大学院整備基本計画検討部会運営等要綱」参照

## 第3章

### <評議会>

議長 川崎市立看護大学学長  
評議員 川崎市立看護大学副学長・学部長  
川崎市立看護大学事務局長  
川崎市総務企画局都市政策部長  
川崎市総務企画局行政改革マネジメント推進室長  
川崎市財政局財政部長  
川崎市健康福祉局保健医療政策部担当部長

### <検討部会>

議長 川崎市立看護大学副学長・学部長  
構成員 富士通株式会社健康支援室産業保健師 (学識経験者)  
特定非営利活動法人「楽」理事長 (学識経験者)  
公益社団法人川崎市看護協会会長 (医療関係団体)  
川崎市立川崎病院副院長・看護部長 (医療機関)  
川崎市立井田病院副院長・看護部長 (医療機関)  
川崎市立看護大学事務局長  
川崎市立看護短期大学副学長

## 2 今後のスケジュール

基本計画策定後、令和5(2023)年度においては、研究科における課程、コース、定員など、大学院設置に向けた詳細な検討を行い、文部科学省への設置認可申請を進めるとともに、令和6(2024)年度には、サテライトキャンパスや設備・備品等の整備を進め、令和7(2025)年4月の大学院開設を目指します。

### <令和5(2023)年度>

- ・研究科における課程、コース、カリキュラム、定員等の検討
- ・サテライト施設設置場所及び設備等の検討
- ・ニーズ調査の実施(社会的な要請、学生確保の見通しなど)
- ・教員の公募
- ・文部科学省への設置認可申請(令和6年3月末まで) ほか

### <令和6(2024)年度>

- ・文部科学省への助産師教育機関申請
- ・厚生労働省への特定行為研修機関指定申請
- ・公益社団法人日本看護協会への専門看護師教育機関申請
- ・サテライトキャンパスの整備(改修工事)、必要な設備・備品等の整備
- ・院生募集 ほか

### <令和7(2025)年度>

- ・大学院開設

◎今後のスケジュール

|             | 令和5年度   |  |  |  | 令和6年度                            |  |  |  |
|-------------|---|--|--|--|----------------------------------|--|--|--|
| 申請          | 3月末まで：大学院設置認可申請●<br>文部科学省への助産師教育機関申請●<br>日本看護協会への専門看護師教育機関申請●<br>厚生労働省への特定行為研修機関指定申請● |  |  |  |                                  |  |  |  |
| 条例・規則       |   |  |  |  | 大学設置条例の検討<br>●設置条例議案提出           |  |  |  |
| カリキュラム関連    | 研究科における課程、コース、カリキュラム、定員等の検討   |  |  |  |                                  |  |  |  |
| 教員関連        | 教員公募  |  |  |  |                                  |  |  |  |
| 学生募集のスケジュール | ニーズ調査の実施<br>(社会的な要請、学生確保の見通しなど)   |  |  |  | 院生募集                             |  |  |  |
| 施設改修関連      | サテライト施設設置場所及び設備等の検討   |  |  |  | サテライトキャンパスの整備(改修工事)、必要な設備・備品等の整備 |  |  |  |

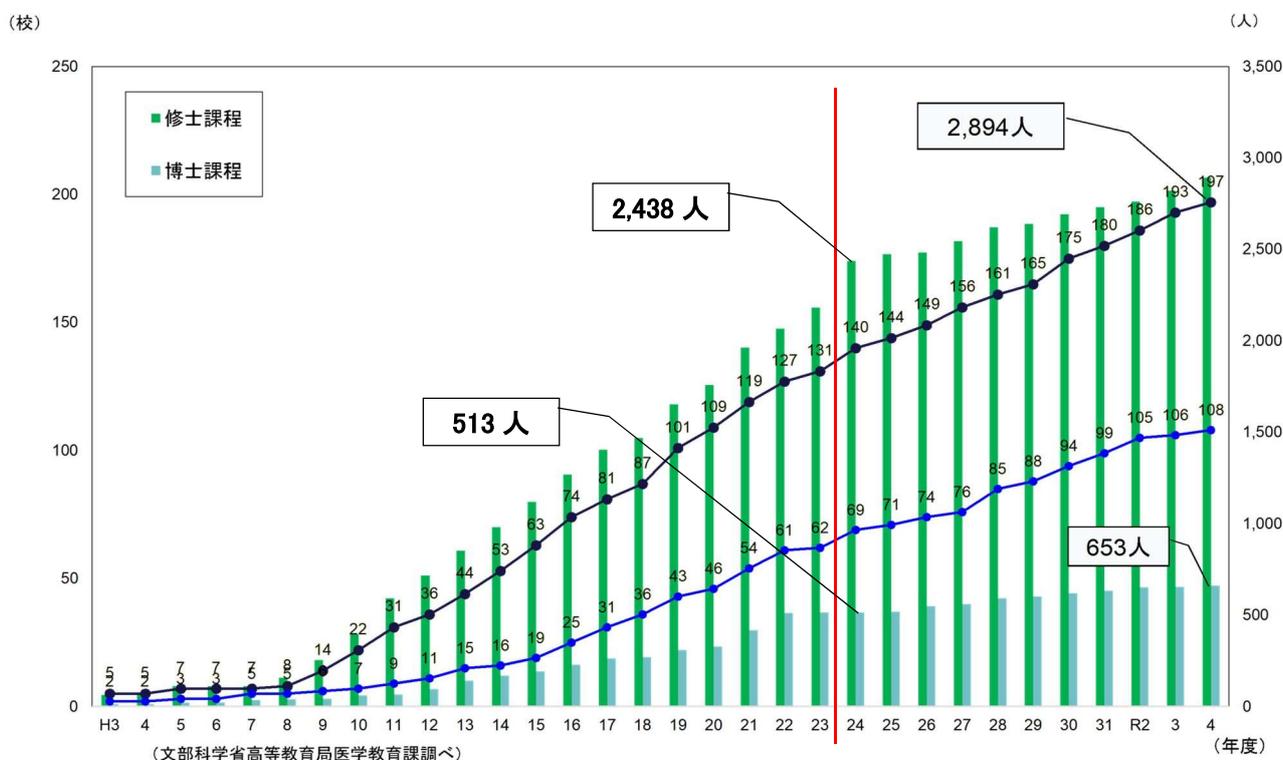


# 資料編





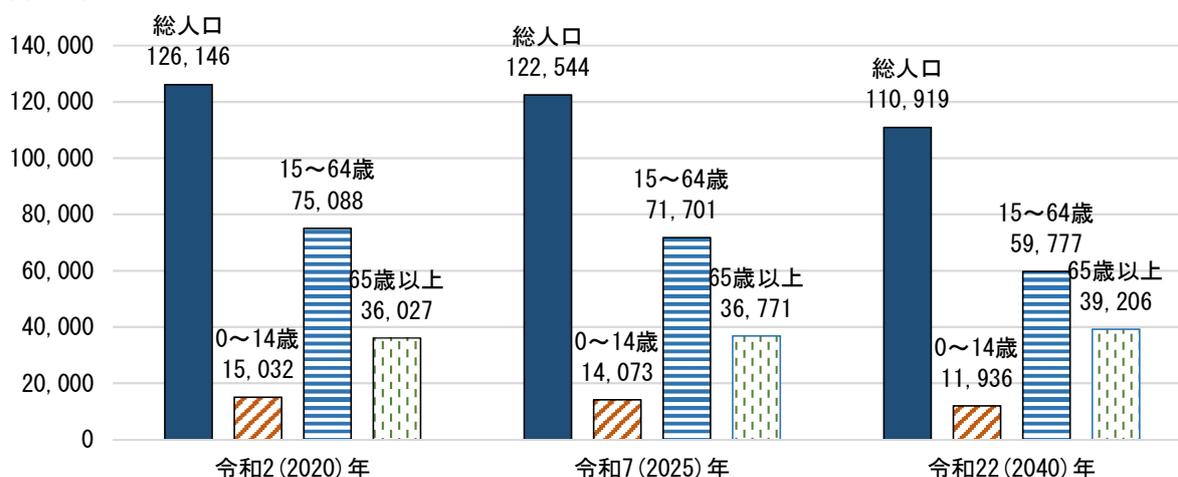
## 1 看護系大学院数及び入学定員の推移



【出典：「2022年度一般社団法人日本看護系大学協議会定時社員総会」配布資料】

## 2 国内の人口推計

(単位：千人)

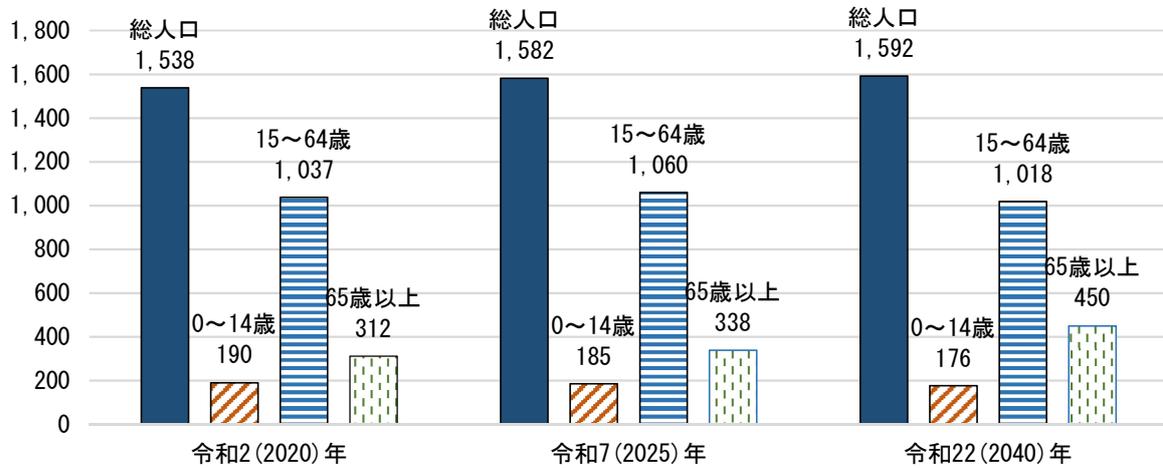


※ 令和2(2020)年の人口は、総務省統計局「国勢調査」に基づく10月1日現在の数値を使用。

※ 令和7(2025)年及び令和22(2040)年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)出生中位・死亡中位推計」に基づく推計値を使用。

### 3 川崎市の将来人口推計

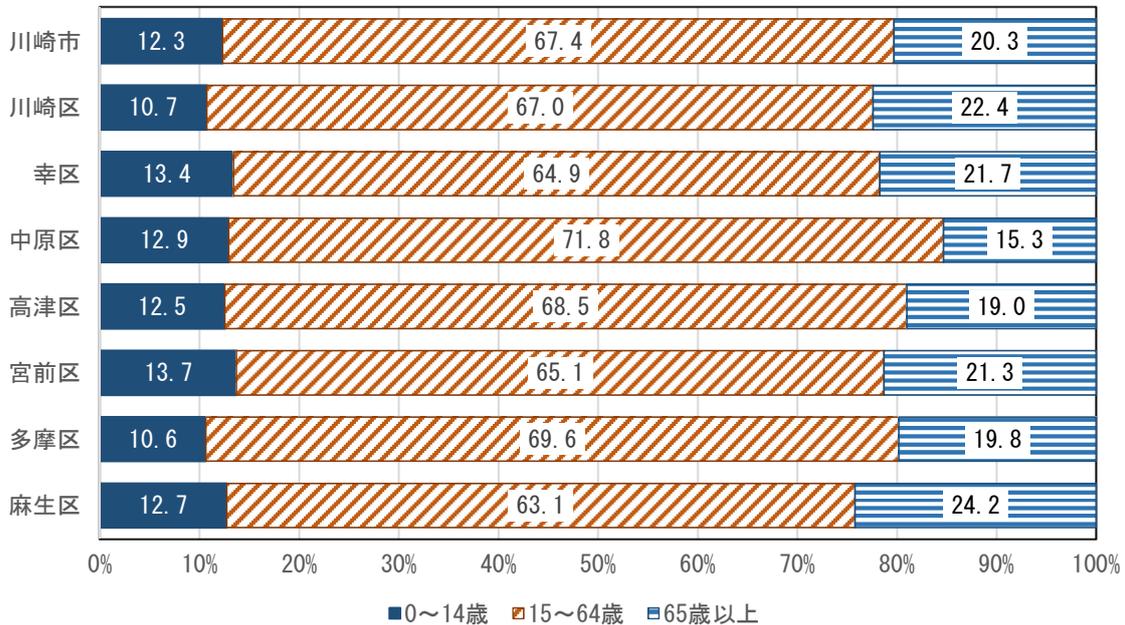
(単位：千人)



※ 令和2(2020)年の人口は、令和2(2020)年国勢調査結果による10月1日現在の数値。

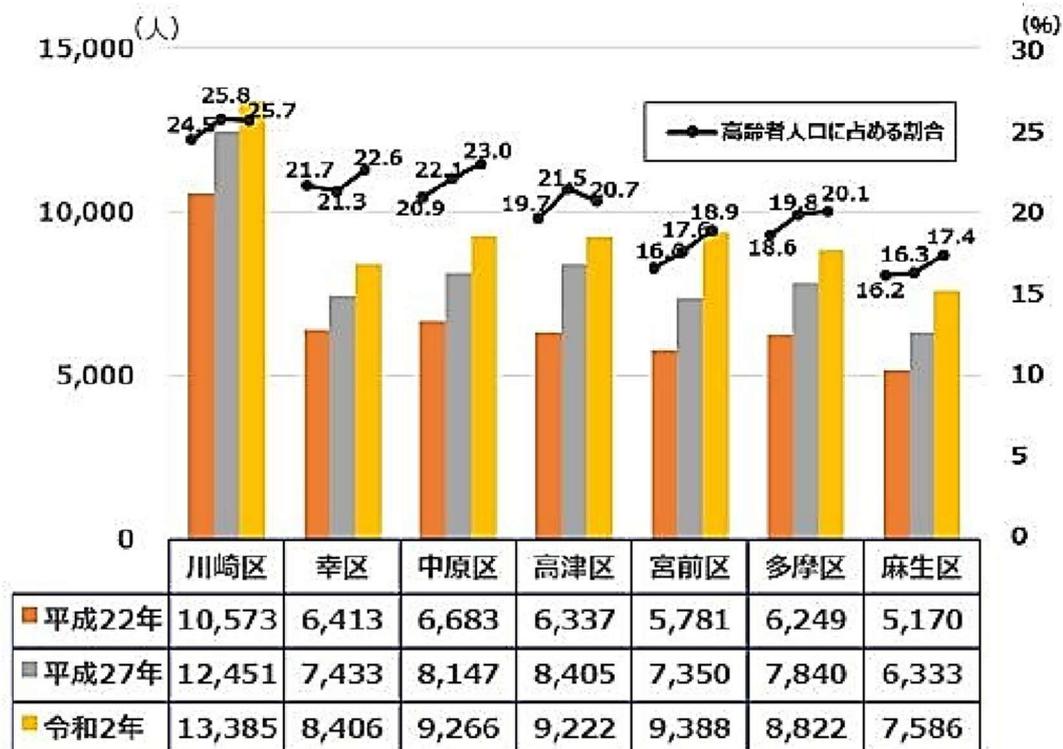
※ 令和7(2025)年及び令和22年(2040)年の数値は、「川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計(更新版)」の数値を使用。

### 4 川崎市行政区別の年齢3区分別人口の割合



※数値は「令和2(2020)年国勢調査」から。

## 5 川崎市行政区別のひとり暮らし高齢者数が高齢者人口に占める割合

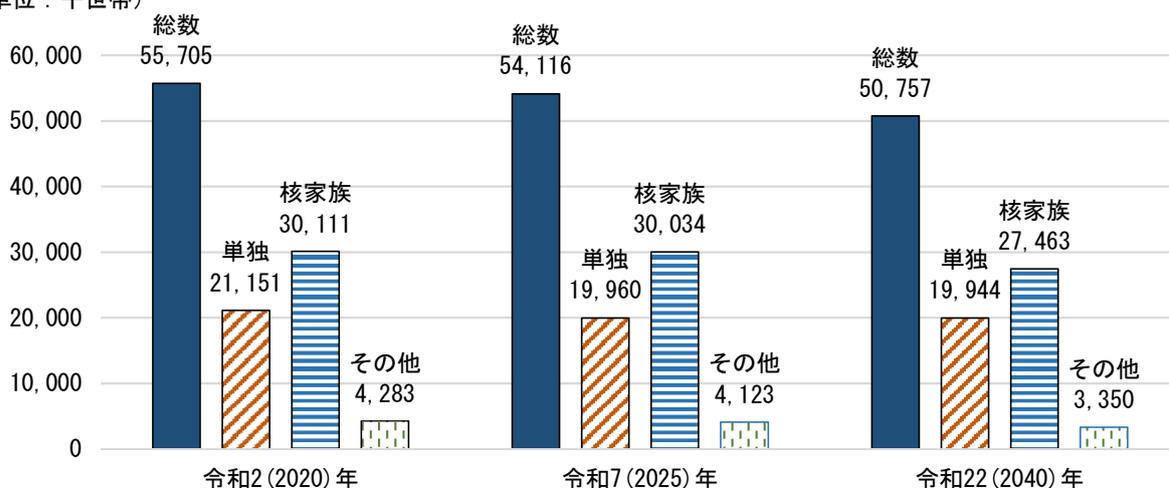


資料：国勢調査結果から作成

【出典：「川崎市総合計画第3期実施計画」】

## 6 国内の世帯数の将来推計

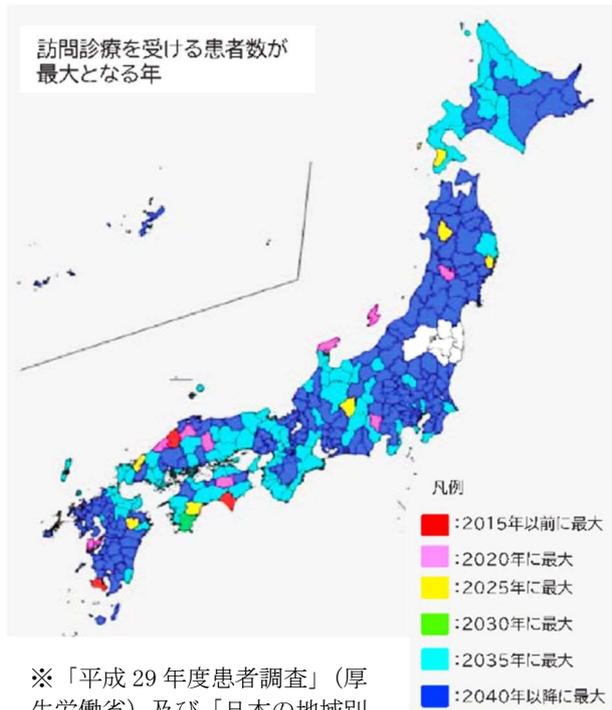
(単位：千世帯)



※ 令和2(2020)年の世帯数は、総務省統計局「国勢調査」に基づく10月1日現在の数値を使用。

※ 令和7(2025)年及び令和22(2040)年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(平成30年推計)」に基づく各年の推計値を使用。

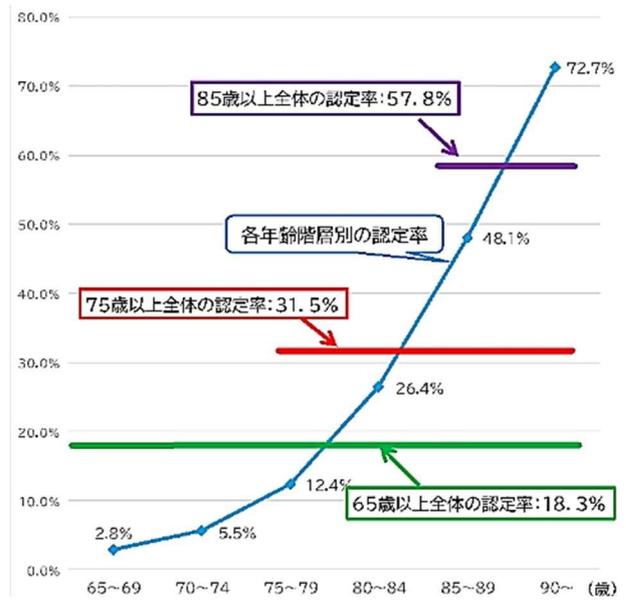
## 7 国内の訪問診療利用者の推計



※「平成 29 年度患者調査」(厚生労働省) 及び「日本の地域別将来推計人口 (2018 年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所) に基づき、厚生労働省医政局地域医療課において作成。

【出典：「令和 4 年版厚生労働白書」図表 2-1-5 訪問診療利用者の推計】

## 8 国内の年齢階級別の要介護認定率



※「介護保険事業状況報告」(厚生労働省) による令和 2 (2020) 年 9 月末の要介護認定者数及び「人口推計」(総務省) による令和 2 (2020) 年 10 月 1 日現在の人口推計に基づき、厚生労働省老健局総務課が作成。

【出典：「令和 4 年版厚生労働白書」図表 2-1-4 年齢階級別の要介護認定率】

## 9 川崎市の要介護・要支援認定者数の推移と将来推計

各年 10 月 1 日、単位：人

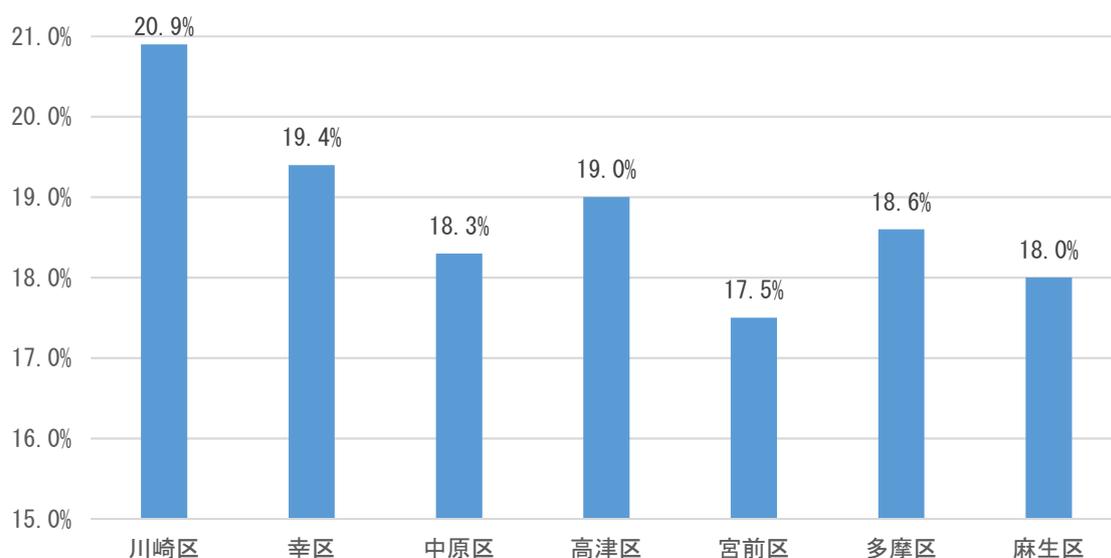
|                | 第 7 期計画期間      |              |               | 第 8 期計画期間     |               |               | R 7 年度 (2025) | R 22 年度 (2040) |
|----------------|----------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
|                | H 30 年度 (2018) | R 元年度 (2019) | R 2 年度 (2020) | R 3 年度 (2021) | R 4 年度 (2022) | R 5 年度 (2023) |               |                |
| 要支援 1          | 7,317          | 7,427        | 7,711         | 8,029         | 8,347         | 8,667         | 9,305         | 11,727         |
| 要支援 2          | 7,474          | 7,900        | 7,787         | 8,111         | 8,440         | 8,766         | 9,421         | 12,006         |
| 要介護 1          | 11,922         | 12,417       | 12,996        | 13,607        | 14,218        | 14,829        | 16,051        | 21,167         |
| 要介護 2          | 9,774          | 10,333       | 10,384        | 10,904        | 11,428        | 11,951        | 12,995        | 17,684         |
| 要介護 3          | 7,279          | 7,448        | 7,625         | 8,046         | 8,465         | 8,890         | 9,732         | 13,644         |
| 要介護 4          | 6,653          | 6,889        | 7,258         | 7,677         | 8,099         | 8,519         | 9,363         | 13,297         |
| 要介護 5          | 5,341          | 5,355        | 5,333         | 5,613         | 5,892         | 6,173         | 6,734         | 9,355          |
| 第 2 号被保険者 (再掲) | 1,388          | 1,426        | 1,458         | 1,474         | 1,488         | 1,504         | 1,533         | 1,413          |
| 合計             | 55,760         | 57,769       | 59,094        | 61,987        | 64,889        | 67,795        | 73,601        | 98,880         |

※要介護・要支援認定者数には、40 歳以上 64 歳以下の医療保険加入の方 (第 2 号被保険者) を含みます。

※令和 3 年度以降は、本市健康福祉局の自然体推計です。

【出典：「第 8 期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」】

## 10 川崎市行政区別の要介護認定率



【出典：「川崎市総合計画第3期実施計画」】

## 11 川崎市の在宅医療等を必要とする患者数



【出典：「かわさき保健医療プラン[2018-2023年度]」】

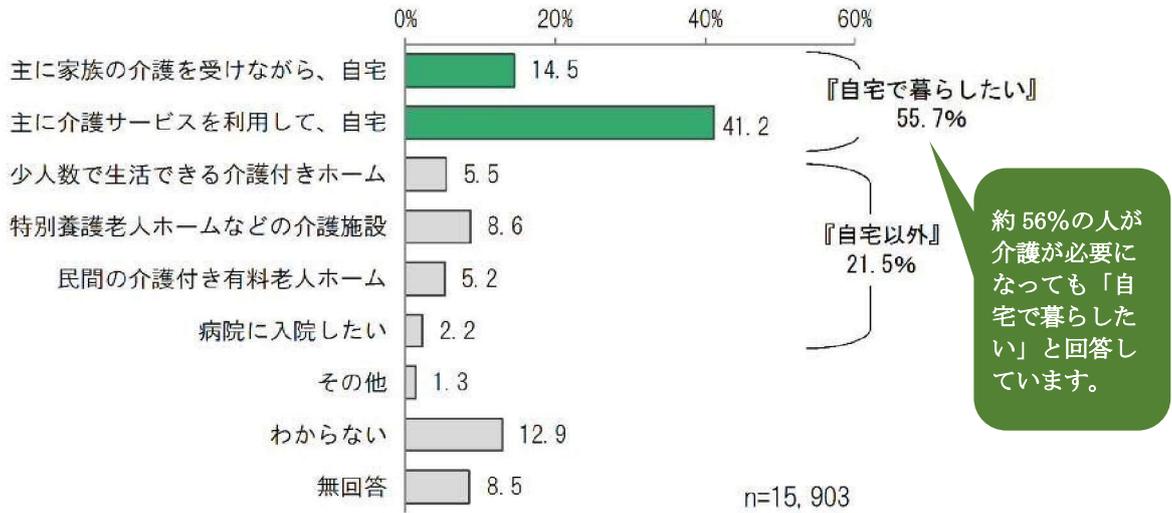
## 12 完治が見込めない病気の場合に迎えたい最後の場所

|     |        | 自宅      | 病院・介護療養型医療施設 | 特別養護老人ホーム・有料老人ホームなどの福祉施設 |
|-----|--------|---------|--------------|--------------------------|
| 全 体 |        | 約 51.0% | 約 31.4%      | 約 7.5%                   |
| 内 訳 | 80歳以上  | 約 58.5% | 約 27.8%      | 約 5.2%                   |
|     | 75～79歳 | 約 54.8% | 約 28.1%      | 約 7.4%                   |
|     | 70～74歳 | 約 52.2% | 約 30.7%      | 約 6.3%                   |
|     | 65～69歳 | 約 43.6% | 約 35.4%      | 約 10.3%                  |
|     | 60～64歳 | 約 47.2% | 約 34.6%      | 約 7.8%                   |

※ 内閣府「平成30年度 高齢者の住宅と生活環境に関する調査結果」から。回答区分の場所は、回答率の高かった3区分のみを掲載。

### 13 介護が必要になった場合の川崎市の高齢者の意向

問 あなたは、介護が必要になった場合、どのようにしたいですか（単一回答）。



【出典：「高齢者実態調査（一般高齢者）（令和元年度）」（川崎市健康福祉局）】

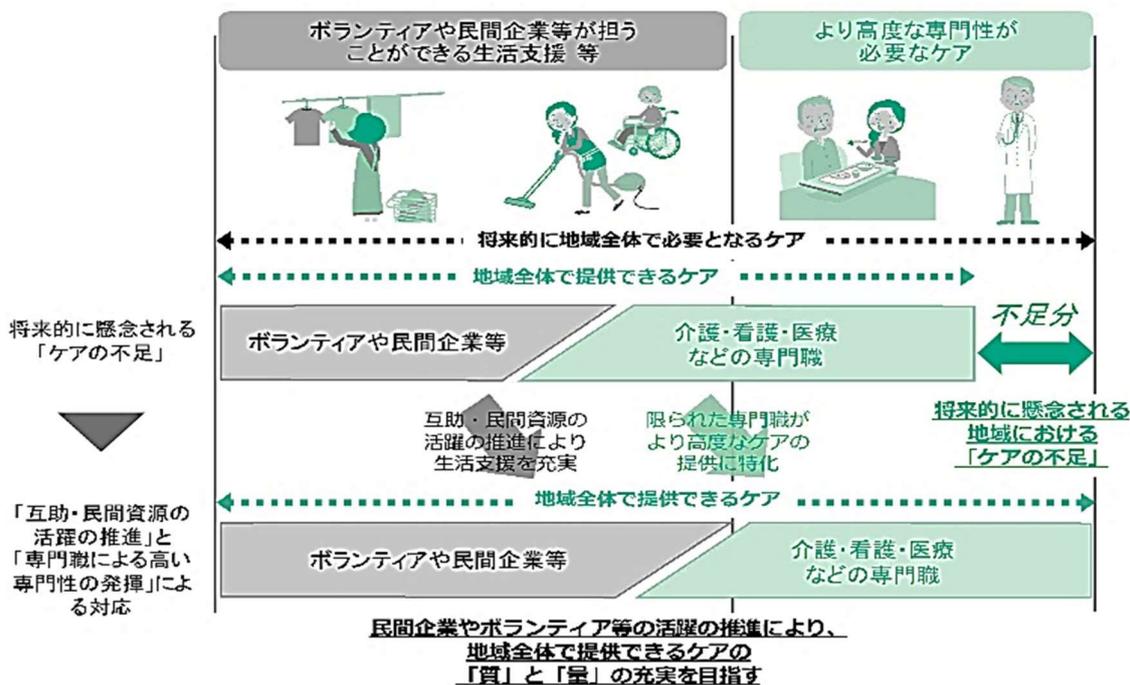
### 14 『川崎市健康増進計画第2期かわさき健康づくり21』で設定した主な指標の達成状況

| 指標                                 | 区分 | 策定時<br>平成23年度 | 中間評価<br>平成28年度   | 目標<br>平成33年度 | 中間評価 |
|------------------------------------|----|---------------|------------------|--------------|------|
| <b>■循環器疾患・糖尿病</b>                  |    |               |                  |              |      |
| メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少           | —  | 11,340人       | 13,328人<br>(H27) | 減少           | 未達成  |
| <b>■糖尿病</b>                        |    |               |                  |              |      |
| 糖尿病有病者の減少                          | —  | 5.2%          | 5.7%<br>(H27)    | 減少           | 未達成  |
| <b>■こころの健康</b>                     |    |               |                  |              |      |
| ストレスを強く感じる人の減少                     | 成人 | 16.7%         | 18.1%            | 減少           | 未達成  |
| よく眠れない人の減少                         | 成人 | 15.0%         | 17.5%            | 減少           | 未達成  |
| こころの健康や悩みについて、家族や友人、専門家等に相談できる人の増加 | 男性 | 成人 74.3%      | 65.4%            | 75%          | 未達成  |
|                                    | 女性 |               | 82.8%            | 93%          |      |

※ 『川崎市健康増進計画第2期かわさき健康づくり21』中間評価と今後の方向性』に記載された指標の中から、本計画に関連すると思われる主な指標を抽出したものの。

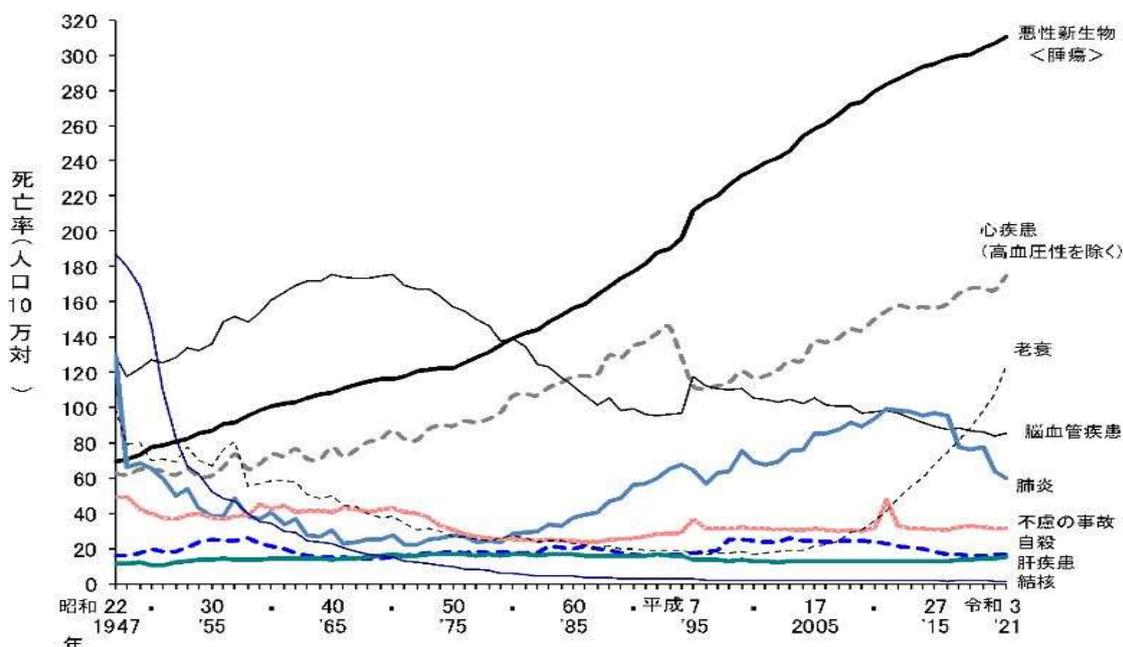
【出典：『川崎市健康増進計画第2期かわさき健康づくり21』中間評価と今後の方向性』（平成30年3月）】

## 15 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン「適切な役割分担と高い専門性の発揮」



【出典：「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」】

## 16 国内の主な死因別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万人対）



※ 平成6・7(1994・1995)年の「心疾患(高血圧性を除く)」の低下は、死亡診断書(死体検案書)(平成7(1995)年1月施行)において、「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。

※ 平成7(1995)年の「脳血管疾患」の上昇の主な要因は、ICD-10(平成7(1995)年1月適用)による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

※ 平成29(2017)年の「肺炎」の低下の主な理由は、ICD-10(2013年版)(平成29(2017)年1月適用)による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

【出典：「令和3(2021)年人口動態統計月報年計(概数)の概況」】

## 17 特定行為研修修了者数

| 特定行為区分 |                                     | 修了者数   | 特定行為区分 |                   | 修了者数     |
|--------|-------------------------------------|--------|--------|-------------------|----------|
| 1      | 呼吸器（気道確保に係るもの）関連                    | 2,093人 | 11     | 創傷管理関連            | 2,346人   |
| 2      | 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連                  | 2,619人 | 12     | 創部ドレーン管理関連        | 1,359人   |
| 3      | 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連                  | 1,993人 | 13     | 動脈血液ガス分析関連        | 2,209人   |
| 4      | 循環器関連                               | 734人   | 14     | 透析管理関連            | 779人     |
| 5      | 心臓ドレーン管理関連                          | 674人   | 15     | 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 5,151人   |
| 6      | 胸腔ドレーン管理関連                          | 790人   | 16     | 感染に係る薬剤投与関連       | 1,407人   |
| 7      | 腹腔ドレーン管理関連                          | 876人   | 17     | 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 1,779人   |
| 8      | ろう孔管理関連                             | 1,298人 | 18     | 術後疼痛管理関連          | 1,313人   |
| 9      | 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連         | 1,464人 | 19     | 循環動態に係る薬剤投与関連     | 1,860人   |
| 10     | 栄養に係るカテーテル管理（抹消留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | 1,270人 | 20     | 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 1,426人   |
|        |                                     |        | 21     | 皮膚損傷に係る薬剤投与関連     | 725人     |
|        |                                     |        |        |                   | 計 6,324人 |

※ 令和4(2022)年9月現在の研修修了者数の数値（第30回医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会（令和4年12月5日）資料1から）。

## 18 専門看護師登録者数

| 分野名 | 分野特定年  | 認定開始年 | 登録者数  | 分野名  | 分野特定年 | 認定開始年     | 登録者数 |          |      |
|-----|--------|-------|-------|------|-------|-----------|------|----------|------|
| 1   | がん看護   | 1995年 | 1996年 | 893人 | 8     | 急性・重症患者看護 | 2004 | 2005     | 280人 |
| 2   | 精神看護   | 1995年 | 1996年 | 346人 | 9     | 感染症看護     | 2006 | 2006     | 78人  |
| 3   | 地域看護   | 1996年 | 1997年 | 28人  | 10    | 家族支援      | 2008 | 2008     | 70人  |
| 4   | 老人看護   | 2001年 | 2002年 | 184人 | 11    | 在宅看護      | 2012 | 2012     | 68人  |
| 5   | 小児看護   | 2001年 | 2002年 | 256人 | 12    | 遺伝看護      | 2016 | 2017     | 6人   |
| 6   | 母性看護   | 2002年 | 2003年 | 81人  | 13    | 災害看護      | 2016 | 2017     | 19人  |
| 7   | 慢性疾患看護 | 2003年 | 2004年 | 210人 | 14    | 放射線看護     | 2022 | 2023     | —    |
|     |        |       |       |      |       |           |      | 計 2,519人 |      |

※ 令和元(2019)年12月現在の登録者数の数値（第30回医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会（令和4年12月5日）資料1から）。

## 19 国内の就業看護職（実人員）の推移

|    |      | 平成20(2008)年 | 平成24(2012)年 | 平成28(2016)年 | 令和2(2020)年 |
|----|------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 総数 |      | 1,323,459人  | 1,452,635人  | 1,559,562人  | 1,659,035人 |
| 内訳 | 保健師  | 43,446人     | 47,279人     | 51,280人     | 55,595人    |
|    | 助産師  | 27,789人     | 31,835人     | 35,774人     | 37,940人    |
|    | 看護師  | 877,182人    | 1,015,744人  | 1,149,397人  | 1,280,911人 |
|    | 准看護師 | 375,042人    | 357,777人    | 323,111人    | 284,589人   |

※ 各数値は、厚生労働省「衛生行政報告例（就業医療関係者）」から。実人員の数は、各年の年末現在の数値。

## 20 国内の看護師及び准看護師の有効求人倍率（パートタイムを除く常勤労働者）

|              | 全職種計   | 看護師及び准看護師 | (参考)<br>介護サービスの職業 |
|--------------|--------|-----------|-------------------|
| 令和2(2020)年度  | 約1.01倍 | 約2.24倍    | 約3.25倍            |
| 令和元(2019)年度  | 約1.39倍 | 約2.53倍    | 約3.62倍            |
| 平成30(2018)年度 | 約1.42倍 | 約2.57倍    | 約3.38倍            |
| 平成29(2017)年度 | 約1.31倍 | 約2.63倍    | 約3.04倍            |
| 平成28(2016)年度 | 約1.15倍 | 約2.71倍    | 約2.53倍            |

※ 数値は、内閣官房全世代型社会保障構築会議公的価格評価検討委員会（第2回）配布資料から引用。

## 21 国内の医療・福祉分野の就業者数の見通し

|                               | 2018年          | 2025年              | 2040年               |                   |
|-------------------------------|----------------|--------------------|---------------------|-------------------|
|                               | 【実績】           | 【実績・人口構造を踏まえた必要人員】 | 【実績・人口構造を踏まえた必要人員】  | 【経済成長と労働参加が進むケース】 |
| 医療福祉分野の就業者数（カッコ内は総就業者数に占める割合） | 826万人<br>(12%) | 940万人<br>(14~15%)  | 1,070万人<br>(18~20%) | 974万人<br>(16%)    |

資料：「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論素材）」に基づくマンパワーシミュレーション（2019年5月厚生労働省）を基に作成。

【出典：「令和4年版厚生労働白書」図表1-1-6】

## 22 国内の就業場所別にみた就業看護職（実人員）の推移

| ■保健師   |            | 平成20(2008)年 | 平成24(2012)年 | 平成28(2016)年 | 令和2(2020)年 |
|--------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 総数     |            | 43,446人     | 47,279人     | 51,280人     | 55,595人    |
| 内<br>訳 | 病院         | 2,770人      | 3,019人      | 3,271人      | 3,559人     |
|        | 診療所・助産所    | 1,396人      | 1,662人      | 1,932人      | 2,305人     |
|        | 訪問看護ステーション | 276人        | 250人        | 315人        | 307人       |
|        | 介護保険施設等    | 533人        | 379人        | 1,027人      | 1,603人     |
|        | 社会福祉施設等    | 390人        | 409人        | 412人        | 519人       |
|        | 保健所・地方自治体  | 38,081人     | 41,560人     | 37,713人     | 40,402人    |
|        | その他        |             |             | 6,610人      | 6,900人     |

| ■助産師   |            | 平成20(2008)年 | 平成24(2012)年 | 平成28(2016)年 | 令和2(2020)年 |
|--------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 総数     |            | 27,789人     | 31,835人     | 35,774人     | 37,940人    |
| 内<br>訳 | 病院         | 18,180人     | 20,784人     | 22,707人     | 23,321人    |
|        | 診療所・助産所    | 7,338人      | 8,405人      | 9,960人      | 10,931人    |
|        | 訪問看護ステーション | 4人          | 9人          | 6人          | 37人        |
|        | 介護保険施設等    | -           | -           | -           | -          |
|        | 社会福祉施設等    | 6人          | 12人         | 20人         | 23人        |
|        | 保健所・地方自治体  | 2,261人      | 2,625人      | 1,385人      | 1,893人     |
|        | その他        |             |             | 1,696人      | 1,735人     |

| ■看護師   |            | 平成 20(2008)年 | 平成 24(2012)年 | 平成 28(2016)年 | 令和 2 (2020)年 |
|--------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 総数     |            | 877,182 人    | 1,015,744 人  | 1,149,397 人  | 1,280,911 人  |
| 内<br>訳 | 病院         | 656,012 人    | 747,528 人    | 829,488 人    | 883,715 人    |
|        | 診療所・助産所    | 107,285 人    | 125,842 人    | 144,594 人    | 169,610 人    |
|        | 訪問看護ステーション | 24,628 人     | 30,225 人     | 42,245 人     | 62,157 人     |
|        | 介護保険施設等    | 47,738 人     | 62,495 人     | 79,663 人     | 100,701 人    |
|        | 社会福祉施設等    | 10,304 人     | 13,737 人     | 16,399 人     | 22,021 人     |
|        | 保健所・地方自治体  | 31,215 人     | 35,917 人     | 8,939 人      | 11,186 人     |
|        | その他        |              |              | 28,069 人     | 31,521 人     |

※ 実人員は、厚生労働省「衛生行政報告例（就業医療関係者）」に基づく報告値

※ 令和 2 (2020) 年末・平成 28 (2016) 年末の「保健所・地方自治体」は、「保健所」、「都道府県」及び「市区町村」の合計である。平成 24 (2012) 年・平成 20 (2008) 年の「衛生行政報告例（就業医療関係者）」では、就業別内訳に「都道府県」がなかったため、「保健所・地方自治体」及び「その他」の合計値を記載した。

## 23 川崎市立看護大学評議会規程

## 川崎市立看護大学評議会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、川崎市立看護大学学則（令和4年川崎市規則第18号。以下「学則」という。）第49条の規定に基づき、川崎市立看護大学評議会（以下「評議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 評議会は、学則第48条に規定する構成員（以下「評議員」という。）をもって組織する。

(審議事項)

第3条 評議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）に規定される学長及び教員の人事等に関する事項
- (2) 学則その他教育研究に係る重要な規程の制定又は改廃に関する事項
- (3) 学部、学科その他重要な組織の設置に関する事項
- (4) 大学の運営に係る重要な予算の作成及び決算に関する事項
- (5) その他大学の管理運営に関する重要な事項

(議長)

第4条 評議会は、学長が招集し、その議長となる。

2 学長に事故があるときは、あらかじめ学長の指名した者が議長の職務を代理する。

(議事)

第5条 評議会は、評議員の過半数が出席しなければ、開催することができない。

2 議事は、出席評議員の過半数の同意をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 評議会は、審議のために必要と認めるときは、評議員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(部会)

第6条 評議会は、第3条に掲げる審議事項について専門的な見地から調査審議させるため、部会を置くことができる。

2 部会は、評議員のうちから議長が評議会に諮って指名する者、学長が指名する本学教職員及び審議事項に関わる専門的知見を有する者として学長が任命する学識経験者等をもって構成するものとする。

3 その他部会について必要な事項は、学長が定める。

(庶務)

第7条 評議会の庶務は、事務局において処理する。

2 事務局は、評議会の審議概要について、議事録を作成しなければならない。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和5年2月3日から施行する。

## 24 川崎市立看護大学大学院整備基本計画検討部会運営等要綱

## 川崎市立看護大学大学院整備基本計画検討部会運営等要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市立看護大学評議会規程(看護大学規程第1号)第6条の規定に基づき、川崎市立看護大学大学院整備基本計画(以下「基本計画」という。)を策定するため川崎市立看護大学評議会(以下「評議会」という。)に設置する、川崎市立看護大学大学院整備基本計画検討部会(以下「検討部会」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 検討部会は、基本計画策定に伴い次に掲げる大学院に関する事項を調査審議する。

- (1) 機能及び運営に関すること。
- (2) 学生、教員の確保に関すること。
- (3) 養成コースに関すること。
- (4) 基本計画の内容その他必要と認められる事項に関すること。

(組織)

第3条 検討部会は、評議員のうちから議長が評議会に諮って指名する者2名程度、学長が指名する本学教職員1名程度及び前条に規定する所掌事項について専門的知見を有する者として学長が任命する学識経験者等4名程度をもって組織する。

2 前項に規定する学識経験者等は、次に掲げる分野のうちから任命することとする。

- (1) 看護関係
- (2) 医療関係
- (3) 地域包括ケアシステム関係

(部会長)

第4条 検討部会に部会長を置き、検討部会に属する者のうちから学長が任命する。

2 部会長は、会議を招集し、その議長となる。

(議事)

第5条 検討部会は、部会員の過半数が出席しなければ、開催することができない。

2 議事は、出席部会員の3分の2以上の同意をもって決する。

3 部会長は、審議のために必要と認めるときは、部会員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(検討部会の設置期間)

第6条 検討部会の設置期間は、令和5年2月3日から令和5年8月31日までの期間とし、必要に応じて開催することとする。

(事務局)

第7条 検討部会の庶務は、市立看護大学事務局において処理する。

(その他の事項)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討部会の運営に関して必要な事項については、部会長が学長に諮って決めるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和5年2月3日から施行する。

(要綱の廃止)

2 この要綱は、第6条に規定する検討部会の設置期間満了日の翌日に廃止する。



# Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

## 川崎市立看護大学大学院整備基本計画

発行 令和5(2023)年8月  
作成 健康福祉局市立看護大学事務局  
住所 〒212-0054 川崎市幸区小倉4-30-1  
電話 (044) 587 - 3500 代表  
FAX (044) 587 - 3506

## 業務従事者届による男女別数値（神奈川県）

(実人員) R2. 12. 31現在

(単位:人)

| 年度  | 保健師 |       |       |      | 助産師   | 看護師   |        |        |      | 准看護師 |        |        |      | 総数    |        |        |      |
|-----|-----|-------|-------|------|-------|-------|--------|--------|------|------|--------|--------|------|-------|--------|--------|------|
|     | 男   | 女     | 計     | 男性比率 |       | 男     | 女      | 計      | 男性比率 | 男    | 女      | 計      | 男性比率 | 男     | 女      | 計      | 男性比率 |
| H16 | 8   | 1,482 | 1490  | 0.5% | 1,436 | 1,096 | 39,303 | 40,399 | 2.7% | 479  | 10,887 | 11,366 | 4.2% | 1,583 | 53,108 | 54,691 | 2.9% |
| H18 | 12  | 1,623 | 1,635 | 0.7% | 1,569 | 1,409 | 40,581 | 41,990 | 3.4% | 539  | 10,781 | 11,320 | 4.8% | 1,960 | 54,554 | 56,514 | 3.5% |
| H20 | 22  | 1,803 | 1,825 | 1.2% | 1,692 | 1,903 | 44,091 | 45,994 | 4.1% | 607  | 10,532 | 11,139 | 5.4% | 2,532 | 58,118 | 60,650 | 4.2% |
| H22 | 25  | 1,874 | 1,899 | 1.3% | 1,939 | 2,426 | 49,077 | 51,503 | 4.7% | 650  | 10,685 | 11,335 | 5.7% | 3,101 | 63,575 | 66,676 | 4.7% |
| H24 | 33  | 1,932 | 1,965 | 1.7% | 2,091 | 2,865 | 53,809 | 56,674 | 5.1% | 603  | 10,261 | 10,864 | 5.6% | 3,501 | 68,093 | 71,594 | 4.9% |
| H26 | 50  | 2,022 | 2,072 | 2.4% | 2,196 | 3,641 | 57,523 | 61,164 | 6.0% | 584  | 9,647  | 10,231 | 5.7% | 4,275 | 71,388 | 75,663 | 5.7% |
| H28 | 47  | 2,102 | 2,149 | 2.2% | 2,322 | 4,209 | 58,585 | 62,794 | 6.7% | 556  | 8,402  | 8,958  | 6.2% | 4,812 | 71,411 | 76,223 | 6.3% |
| H30 | 55  | 2,102 | 2,157 | 2.5% | 2,337 | 4,829 | 62,934 | 67,763 | 7.1% | 542  | 8,016  | 8,558  | 6.3% | 5,426 | 75,389 | 80,815 | 6.7% |
| R2  | 83  | 2,399 | 2,482 | 3.3% | 2,384 | 5,374 | 67,765 | 73,139 | 7.3% | 552  | 7,803  | 8,355  | 6.6% | 6,009 | 80,351 | 86,360 | 7.0% |

出典：神奈川県ホームページ  
看護職員（保健師、助産師、看護師及び准看護師）の従事者数（令和2年12月）

## 令和5年度 出身高校の所在地県別入学者数（神奈川県）

| No. | 都道府県 | 入学者数   | No. | 都道府県 | 入学者数 |
|-----|------|--------|-----|------|------|
| 1   | 神奈川県 | 18,080 | 25  | 熊本県  | 180  |
| 2   | 東京都  | 10,365 | 26  | 鹿児島県 | 168  |
| 3   | 千葉県  | 2,239  | 27  | 秋田県  | 167  |
| 4   | 静岡県  | 2,065  | 28  | 岐阜県  | 162  |
| 5   | 埼玉県  | 1,897  | 29  | 岡山県  | 151  |
| 6   | 茨城県  | 1,109  | 30  | 京都府  | 132  |
| 7   | 長野県  | 878    | 31  | 三重県  | 132  |
| 8   | 新潟県  | 720    | 32  | 石川県  | 130  |
| 9   | 北海道  | 687    | 33  | 愛媛県  | 125  |
| 10  | 栃木県  | 665    | 34  | 奈良県  | 119  |
| 11  | 愛知県  | 641    | 35  | 長崎県  | 112  |
| 12  | 山梨県  | 640    | 36  | 福井県  | 103  |
| 13  | 群馬県  | 585    | 37  | 宮崎県  | 102  |
| 14  | 福島県  | 483    | 38  | 香川県  | 87   |
| 15  | 宮城県  | 411    | 39  | 山口県  | 87   |
| 16  | 福岡県  | 405    | 40  | 大分県  | 82   |
| 17  | 沖縄県  | 404    | 41  | 高知県  | 78   |
| 18  | 山形県  | 297    | 42  | 佐賀県  | 73   |
| 19  | 大阪府  | 280    | 43  | 滋賀県  | 53   |
| 20  | 兵庫県  | 259    | 44  | 島根県  | 53   |
| 21  | 広島県  | 215    | 45  | 徳島県  | 48   |
| 22  | 岩手県  | 205    | 46  | 和歌山県 | 48   |
| 23  | 青森県  | 184    | 47  | 鳥取県  | 34   |

## 競合校の入学志願動向等

横浜市立大学(看護学専攻)

|      |      | 募集定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 倍率    |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2023 | 前期課程 | 25   | 23  | 22  | 19  | 18  | 72.0% |
|      | 後期課程 | 6    | 6   | 6   | 5   | 5   | 83.3% |
| 2022 | 前期課程 | 25   | 25  | 23  | 17  | 15  | 60.0% |
|      | 後期課程 | 6    | 5   | 5   | 3   | 3   | 50.0% |
| 2021 | 前期課程 | 25   | 27  | 27  | 22  | 21  | 84.0% |
|      | 後期課程 | 6    | 3   | 3   | 3   | 3   | 50.0% |

県立保健福祉大学(保健福祉学研究科)

|      |      | 募集定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 倍率     |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|--------|
| 2023 | 前期課程 | 20   | 28  | 27  | 22  | 21  | 105.0% |
|      | 後期課程 | 5    | 5   | 5   | 5   | 5   | 100.0% |
| 2022 | 前期課程 | 20   | 25  | 24  | 20  | 20  | 100.0% |
|      | 後期課程 | 5    | 5   | 5   | 5   | 5   | 100.0% |
| 2021 | 前期課程 | 20   | 33  | 32  | 21  | 21  | 105.0% |
|      | 後期課程 | 5    | 13  | 13  | 7   | 7   | 140.0% |

東京都立大学(人間健康科学研究科・看護学領域)※秋期入学を除く

|      |      | 募集定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 倍率     |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|--------|
| 2023 | 前期課程 | 10   | 12  | 11  | 10  | 10  | 100.0% |
|      | 後期課程 | 4    | 11  | 10  | 4   | 4   | 100.0% |
| 2022 | 前期課程 | -    | -   | -   | -   | -   | -      |
|      | 後期課程 | -    | -   | -   | -   | -   | -      |
| 2021 | 前期課程 | -    | -   | -   | -   | -   | -      |
|      | 後期課程 | -    | -   | -   | -   | -   | -      |

埼玉県立大学大学院(保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻)

|      |      | 募集定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 倍率     |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|--------|
| 2023 | 前期課程 | 20   | 38  | 35  | 30  | 30  | 150.0% |
|      | 後期課程 | 6    | 10  | 10  | 10  | 10  | 166.7% |
| 2022 | 前期課程 | 20   | 27  | 27  | 24  | 24  | 120.0% |
|      | 後期課程 | 6    | 13  | 13  | 10  | 10  | 166.7% |
| 2021 | 前期課程 | 20   | 33  | 32  | 22  | 22  | 110.0% |
|      | 後期課程 | 6    | 8   | 8   | 8   | 8   | 133.3% |

川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に  
関するアンケート調査報告書

令和6年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

## 目 次

|                   |    |
|-------------------|----|
| ＜アンケート調査概要＞       | 1  |
| ＜アンケート調査結果要旨＞     | 3  |
| ＜事業所・施設アンケート＞     | 16 |
| ＜社会人アンケート＞        | 29 |
| ＜在学生アンケート＞        | 52 |
| ＜アンケート調査票・リーフレット＞ | 63 |

## <アンケート調査概要>

### 1. アンケート調査の目的

川崎市立看護大学では、令和7年（2025年）4月に大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程及び博士後期課程の設置計画を進めており、看護学研究科への進学や興味・関心、又は修了生の採用等、今後の計画推進の基礎資料とするため調査を実施。

### 2. 調査対象

**【事業所・施設アンケート（合計283件）、社会人アンケート（合計2,221人）】**

川崎市内病院（39件、702人）、川崎市内訪問看護ステーション（121件、605人）、川崎市内介護老人保健施設・特別養護老人ホーム（77件、385人）、川崎市内企業・児童養護施設（10件、50人）、川崎市内障害者入所施設（7件、35人）、神奈川県内看護系大学・短大・専門学校（26件、208人）、川崎市内助産所（3件（事業所・施設アンケートのみ実施））、川崎市内みまもりセンター（7件（社会人アンケートのみ実施））、横浜市内病院（79件（社会人アンケートのみ実施））、東京都内病院（66件（社会人アンケートのみ実施））、東京都内看護系大学・専門学校・専攻科（81件（社会人アンケートのみ実施））に実施。

**【学部生・学科生アンケート】**

川崎市立看護大学看護学部看護学科在学生（200人）及び川崎市立看護短期大学看護学科在学生（70人）に実施。

### 3. 実施アンケート

「川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関するアンケート調査」

### 4. 調査実施時期

令和5年12月～令和6年2月に実施。

### 5. 調査方法

郵送による調査票の配布、郵送及びウェブによる調査票の回収、集計を一般財団法人日本開発構想研究所が実施。

## 6. 回収状況

各アンケートの回収数は下表のとおり。

| 対象                          | 郵送による回答 | ウェブによる回答 | 合計  |
|-----------------------------|---------|----------|-----|
| 事業所・施設                      | 55      | 30       | 85  |
| 社会人                         | 97      | 366      | 463 |
| 川崎市立看護大学<br>看護学部在學生（1、2年次生） | 0       | 129      | 129 |
| 川崎市立看護短期大学<br>看護学科在學生（3年次生） | 0       | 33       | 33  |

## ＜アンケート調査結果要旨＞

### （１）川崎市立看護大学大学院看護学研究科採用意向概要（事業所）

川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関するアンケート調査（事業所）の集計結果の概要については、以下の通りである。

#### 【 問 1 : 事業所・施設の種別 】

回答事業所・施設（85件）の種別について、「訪問看護ステーション」が29件（34.1%）と最も多く、次いで「介護保険関連施設」21件（24.7%）、「病院」17件（20.0%）、「看護師養成学校」14件（16.5%）の順が続いている。

#### 【 問 2 : 事業所・施設の所在地 】

回答事業所・施設の所在地について、「神奈川県」が84件（98.8%）と最も多かった。

#### 【 問 3 : 大学院修了生採用への関心 】

##### ① 修士の学位取得者について

「とても関心がある」20件（23.5%）、「少し関心はある」37件（43.5%）であった。

##### ② 博士の学位取得者について

「とても関心がある」19件（22.4%）、「少し関心はある」36件（42.4%）であった。

#### 【 問 4 : 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科」修了生の採用に際し期待する能力 】

回答事業所・施設の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科」修了生の採用に際し期待する能力について、「看護師としての高度な理論、実践的能力を身につけた人材」が62件（72.9%）と最も多く、次いで「専門看護師としての素養を身につけた人材」が48件（56.5%）、「現場指導者、管理者としての素養を身に付けた人材」が44件（51.8%）、「研究者、教育者としての素養を身につけた人材」が29件（34.1%）の順が続いている。

#### 【 問 5 : 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生の採用についての考え 】

回答事業所・施設の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生の採用についての考えについて、「採用したい」13件（15.3%）、「採用を検討する」27件（31.8%）であっ

た。

※問6は、問5で、「1 採用したい」「2 採用を検討する」と回答した 40 事業所・施設への設問

**【 問6：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生の採用可能人数 】**

**【 基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野】**

回答事業所・施設の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生の採用可能人数について、「1 人」18 件（45.0%）、「2 人」2 件（5.0%）、「3 人以上」1 件（2.5%）であった。

**【 助産学分野】**

回答事業所・施設の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生の採用可能人数について、「1 人」6 件（15.0%）、「3 人以上」1 件（2.5%）であった。

**【 問7：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」修了生の採用についての考え】**

回答事業所・施設の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」修了生の採用についての考えについて、「採用したい」12 件（14.1%）、「採用を検討する」22 件（25.9%）であった。

※問8は、問7で、「1 採用したい」「2 採用を検討する」と回答した 34 事業所・施設への設問

**【 問8：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」修了生の採用可能人数 】**

回答事業所・施設の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」修了生の採用可能人数について、「1 人」11 件（32.4%）、「2 人」1 件（2.9%）、「3 人以上」1 件（2.9%）であった。

**【 問9：事業所・施設の従業員が在職のまま大学院へ進学することへの考え 】**

回答事業所・施設の従業員が在職のまま大学院へ進学することへの考えについて、「どちらかと言えば奨励したい」が 35 件（41.2%）と最も多く、次いで「大いに奨励したい」21 件（24.7%）、「どちらとも言えない」20 件（23.5%）の順に続いている。

**【 問10：自由記述 】**

回答のあった 85 件のうち 22 件から自由記述の回答を得ることができた。

【 参考資料：問 6、問 8 採用ニーズ関連項目（課程・分野毎の採用希望人数） 】

博士前期課程（基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野）の採用希望者数は、それぞれの選択肢ごとの採用想定人数を計算し、総数を算出すると、25 人となった。

博士前期課程（助産学分野）の採用希望者数は、それぞれの選択肢ごとの採用想定人数を計算し、総数を算出すると、9 人となった。

博士後期課程の採用希望者数は、それぞれの選択肢ごとの採用想定人数を計算し、総数を算出すると、16 人となった。

博士前期課程（基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野）の採用希望者数

| 設問  | 採用想定人数              |
|---|---------------------|
| 問 6 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生について、貴事業所・施設で採用可能な人数を、下記分野ごとに次の中から 1 つだけ選んでください。【基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野】 | 1 人 × 18 事業所 = 18 人 |
|   | 2 人 × 2 事業所 = 4 人   |
|   | 3 人 × 1 事業所 = 3 人   |
| 計   | 25 人                |

博士前期課程（助産学分野）の採用希望者数

| 設問  | 採用想定人数            |
|---|-------------------|
| 問 6 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生について、貴事業所・施設で採用可能な人数を、下記分野ごとに次の中から 1 つだけ選んでください。【助産学分野】 | 1 人 × 6 事業所 = 6 人 |
|   | 2 人 × 0 事業所 = 0 人 |
|   | 3 人 × 1 事業所 = 3 人 |
| 計   | 9 人               |

博士後期課程の採用希望者数

| 設問   | 採用想定人数              |
|--|---------------------|
| 問 8 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」修了生について、貴事業所・施設で採用可能な人数を次の中から 1 つだけ選んでください。 | 1 人 × 11 事業所 = 11 人 |
|  | 2 人 × 1 事業所 = 2 人   |
|  | 3 人 × 1 事業所 = 3 人   |
| 計  | 16 人                |

## （２）川崎市立看護大学大学院看護学研究科入学意向概要（社会人）

川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関するアンケート調査（社会人）の集計結果の概要については、以下の通りである。

### 【 問１：回答者の居住地域 】

回答者（463人）の居住地域は、「神奈川県」380人（82.1%）が最も多く、次いで「東京都」79人（17.1%）の順であった。

### 【 問２：回答者の勤務先 】

回答者の勤務先は、「病院・診療所」287人（62.0%）が最も多く、次いで「訪問看護ステーション」97人（21.0%）、「高齢者福祉施設・介護施設等」44人（9.5%）、「看護師養成学校」22人（4.8%）の順であった。

### 【 問３：回答者の保有する資格 】

回答者の保有する資格は、「看護師」444人（95.9%）が最も多く、次いで「保健師」51人（11.0%）、「その他」47人（10.2%）、「助産師」16人（3.5%）、「養護教諭」12人（2.6%）の順であった。

### 【 問４：回答者の現職における勤続年数 】

回答者の現職における勤続年数は、「20年以上」196人（42.3%）が最も多く、次いで「10年～20年未満」102人（22.0%）、「5年～10年未満」62人（13.4%）、「1年～3年未満」47人（10.2%）の順であった。

### 【 問５：看護学を研究することができる大学院への進学意向 】

回答者の看護学を研究することができる大学院への進学意向は、「考えていない」338人（73.0%）が最も多く、次いで「考えている」82人（17.7%）、「その他」43人（9.3%）の順であった。

※問６～問７は、問５で「1 考えている」と回答した82人への設問

### 【 問６：志望する大学院の設置者の区分 】

回答者の志望する大学院の設置者の区分は、「公立」74人(90.2%)が最も多く、次いで「国立」56人(68.3%)、「私立」31人(37.8%)の順であった。

**【問7：回答者の最終学歴】**

回答者の最終学歴は、「専門学校卒」30人(36.6%)が最も多く、次いで「大学卒」24人(29.3%)、「短期大学卒」15人(18.3%)、「大学院(修士課程)修了」11人(13.4%)の順であった。

※問8は、問7で「3 大学卒」「4 短期大学卒」「5 専門学校卒」と回答した69人への設問

**【問8：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合の受験意向】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合の受験意向は、「第一志望として受験する」40人(58.0%)、「第二志望として受験する」11人(15.9%)、「第三志望として受験する」5人(7.2%)であった。

※問9～問10は、問8で「1 第一志望として受験する」「2 第二志望として受験する」「3 第三志望として受験する」と回答した56人への設問

**【問9：川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由は、「看護師としてキャリアアップしたいから」38人(67.9%)が最も多く、次いで「学位(修士)を取得したいから」28人(50.0%)、「専門看護師の資格を取得したいから」15人(26.8%)、「管理者として働きたいから」と「看護学に関する研究を行いたいから」が13人(23.2%)の順であった。

**【問10：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に合格した場合の入学意向】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に合格した場合の入学意向は、「入学する」48人(85.7%)、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」7人(12.5%)であった。

※問11～問12は、問10で「1 入学する」「2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した55人への設問

**【問11：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した際の志望分野】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した際の志望分野は、「基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野」48人(87.3%)、「助産学分野」7人(12.7%)であった。

**【問12：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」への進学時期の希望】**

回答者の川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程への進学時期の希望は、「進学時期は未定」32人(58.2%)が最も多く、次いで「令和7年度(開設年度)」19人(34.5%)、「令和9年度以降」3人(5.5%)、「令和8年度」1人(1.8%)の順であった。

※問13は、問7で「2 大学院(修士課程) 修了」と回答した11人への設問

**【問13：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」が開設された場合の受験意向】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」が開設された場合の受験意向は、「第一志望として受験する」5人(45.5%)、「第二志望として受験する」2人(18.2%)、「第三志望として受験する」2人(18.2%)であった。

※問14～問15は、問13で「1 第一志望として受験する」「2 第二志望として受験する」「3 第三志望以降として受験する」と回答した9人への設問

**【問14：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」を受験したい理由】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」を受験したい理由は、「学位(博士)を取得したいから」6人(66.7%)が最も多く、次いで「看護師としてキャリアアップしたいから」5人(55.6%)、「看護学に関する研究を行いたいから」3人(33.3%)、「現場指導者として働きたいから」2人(22.2%)の順であった。

**【問15：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」に合格した場合の入学意向】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」に合格した場合の入学意向は、「入学する」7人(77.8%)、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」2人(22.2%)であった。

※問16は、問15で「1 入学する」「2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した9人への設問

**【 問16：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」への進学時期の希望 】**

回答者の川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」への進学時期の希望は、「進学時期は未定」5人（55.6%）が最も多く、次いで「令和7年度（開設年度）」3人（33.3%）、「令和9年度以降」1人（11.1%）の順であった。

**【 問17：自由記述 】**

回答のあった463人のうち104人から自由記述の回答を得ることができた。

【 博士前期課程クロス集計 1（問 6 × 問 8 × 問 1 0） 】

問 6（進路志望）において「2 公立」を選択した回答者に限定したうえで、問 8（博士前期課程受験希望）と問 1 0（博士前期課程入学希望）のクロス集計を行った。

クロス集計の結果、条件を満たす博士前期課程入学希望者は、53 人となり、以下の内訳となった。

問 6（進路志望） × 問 8（博士前期受験希望） × 問 10（博士前期入学希望）

| 上段:人<br>下段:%                    | 1<br>第一志望として<br>受験する | 2<br>第二志望として<br>受験する | 3<br>第三志望以降と<br>して受験する | 合計          |
|---------------------------------|----------------------|----------------------|------------------------|-------------|
| 1 入学する                          | 39<br>81.3           | 7<br>14.6            | 2<br>4.2               | 48<br>100.0 |
| 2 志望順位が上位の他の志望校が<br>不合格の場合に入学する | 1<br>20.0            | 2<br>40.0            | 2<br>40.0              | 5<br>100.0  |
| 全体                              | 40<br>75.5           | 9<br>17.0            | 4<br>7.5               | 53<br>100.0 |

【 博士前期課程クロス集計 2（問 6 × 問 8 × 問 1 0 × 問 1 1 × 問 1 2） 】

さらに、上記クロス集計の問 8 「1 第一志望として受験する」と問 1 0 「1 入学する」の回答者 39 人について、問 1 1（希望分野）と問 1 2（進学時期）のクロス集計を行った。

クロス集計の結果、問 1 1 「1 基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野」の回答者の中で問 1 2 「1 令和 7 年度（開設年度）」を選択した回答者は 14 人、問 1 1 「2 助産学分野」の回答者の中で問 1 2 「1 令和 7 年度（開設年度）」を選択した回答者は 3 人となった。

問 6（進路志望） 問 8（博士前期受験希望） × 問 10（博士前期入学希望） × 問 11（希望分野） × 問 12（進学時期）

| 上段:人<br>下段:%              | 1<br>令和 7 年度<br>(開設年度) | 2<br>令和 8 年度 | 3<br>令和 9 年度<br>以降 | 4<br>進学時期は<br>未定 | 合計          |
|---------------------------|------------------------|--------------|--------------------|------------------|-------------|
| 1 基盤看護学分野・地域包括<br>ケア看護学分野 | 14<br>42.4             | 0<br>0.0     | 2<br>6.1           | 17<br>51.5       | 33<br>100.0 |
| 2 助産学分野                   | 3<br>50.0              | 0<br>0.0     | 1<br>16.7          | 2<br>33.3        | 6<br>100.0  |
| 全体                        | 17<br>43.6             | 0<br>0.0     | 3<br>7.7           | 19<br>48.7       | 39<br>100.0 |

【 博士後期課程クロス集計 1（問 5 × 問 7 × 問 8 × 問 10） 】

（社会人対象）アンケートの問 5、7 において下記のように回答した人の本学看護学研究科（博士後期課程）への受験希望及び進学意向については下表のとおりとなっている。本学博士後期課程を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は 5 人となっている。

- ・問 5 看護学を研究することのできる大学院への進学を「考えている」
- ・問 7 最終学歴が「大学院（修士課程）修了」

問 8（博士後期受験希望）×問 10（博士後期入学希望）

| 上段:人<br>下段:%              | 第一志望として受験する | 第二志望として受験する | 第三志望以降として受験する | 合計         |
|---------------------------|-------------|-------------|---------------|------------|
| 入学する                      | 5<br>71.4   | 1<br>14.3   | 1<br>14.3     | 7<br>100.0 |
| 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する | 0<br>0.0    | 1<br>50.0   | 1<br>50.0     | 2<br>100.0 |
| 全体                        | 5<br>55.6   | 2<br>22.2   | 2<br>22.2     | 9<br>100.0 |

また、問 10 において本学博士後期課程に「1 入学する」「2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した 9 人において、希望する進学時期は下表のとおりとなっている。

問 10（博士後期入学希望）×問 12（進学時期）

| 上段:人<br>下段:%                             | 令和 7 年度<br>（開設年<br>度） | 令和 8 年度  | 令和 9 年度<br>以降 | 進学時期は<br>未定 | 合計         |
|--|-----------------------|----------|---------------|-------------|------------|
| 問 10 「入学する」又は「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」 | 3<br>33.3             | 0<br>0.0 | 1<br>11.1     | 5<br>55.6   | 9<br>100.0 |

### （3）川崎市立看護大学大学院看護学研究科入学意向概要（在学生）

川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関するアンケート調査（在学生）の集計結果の概要については、以下の通りである。

#### 【 問 1 : 回答者の現在の学年 】

回答者（162人）の現在の学年は、「1年次生」72人（44.4%）が最も多く、次いで「2年次生」57人（35.2%）、「3年次生」33人（20.4%）の順であった。（「1年次生」「2年次生」と回答した129人は川崎市立看護大学に在学する1、2年次生、「3年次生」と回答した33人は川崎市立看護短期大学に在学する3年次生。）

#### 【 問 2 : 回答者の居住地域 】

回答者の居住地域は、「神奈川県」116人（71.6%）が最も多く、次いで「東京都」33人（20.4%）、「埼玉県」4人（2.5%）、「千葉県」と「静岡県」が3人（1.9%）の順であった。

#### 【 問 3 : 看護学を研究することのできる大学院への進学希望状況 】

回答者の看護学を研究することのできる大学院への進学希望状況は、「考えている」76人（46.9%）が最も多く、次いで「考えていない」72人（44.4%）、「その他」14人（8.6%）の順であった。

※問4～問5は、問3で「1 考えている」と回答した76人への設問

#### 【 問 4 : 志望する大学院の設置者の区分 】

回答者の志望する大学院の設置者の区分は、「公立」69人（90.8%）が最も多く、次いで「国立」58人（76.3%）、「私立」12人（15.8%）の順であった。

#### 【 問 5 : 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合の受験意向 】

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合の受験意向は、「第一志望として受験する」51人（67.1%）、「第二志望として受験する」12人（15.8%）、「第三志望として受験する」9人（11.8%）であった。

※問6～問7は、問5で「1 第一志望として受験する」「2 第二志望として受験する」「3 第三志望以降として受験する」と回答した72人への設問

**【 問6：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由 】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由は、「看護師としてキャリアアップしたいから」48人（66.7%）が最も多く、次いで「専門看護師の資格を取得したいから」38人（52.8%）、「学位（修士）を取得したいから」31人（43.1%）、「助産師の免許を取得したいから」25人（34.7%）の順であった。

**【 問7：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に合格した場合の入学意向 】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に合格した場合の入学意向は、「入学する」51人（70.8%）、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」19人（26.4%）であった。

※問8～問9は、問7で「1 入学する」「2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した70人への設問

**【 問8：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した際の志望分野 】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した際の志望分野は、「基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野」43人（61.4%）、「助産学分野」27人（38.6%）であった。

**【 問9：「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」への進学時期の希望 】**

回答者の「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」への進学時期の希望は、「学部卒業後すぐ」27人（38.6%）が最も多く、次いで「進学時期は未定」19人（27.1%）、「学部卒業後4～5年後」15人（21.4%）、「学部卒業後2～3年後」9人（12.9%）の順であった。

**【 問10：自由記述 】**

回答のあった162人のうち23人から自由記述の回答を得ることができた。

【 博士前期課程クロス集計 1（問 4 × 問 5 × 問 7） 】

問 4（進路志望）において「2 公立」を選択した回答者に限定したうえで、問 5（博士前期課程受験希望）と問 7（博士前期課程入学希望）のクロス集計を行った。

クロス集計の結果、条件を満たす博士前期課程入学希望者は、65 人となり、以下の内訳となった。問 5「1 第一志望として受験する」かつ問 7「1 入学する」と回答した 45 人の内訳は本学看護学部 1 年次生が 23 人、2 年次生が 18 人、短期大学 3 年次生が 4 人となっている。

問 4（進路希望） × 問 5（博士前期受験希望） × 問 7（博士前期入学希望）

| 上段:人<br>下段:%                    | 1<br>第一志望として<br>受験する | 2<br>第二志望として<br>受験する | 3<br>第三志望以降と<br>して受験する | 合計          |
|---------------------------------|----------------------|----------------------|------------------------|-------------|
| 1 入学する                          | 45<br>91.8           | 3<br>6.1             | 1<br>2.0               | 49<br>100.0 |
| 2 志望順位が上位の他の志望校が<br>不合格の場合に入学する | 3<br>18.8            | 6<br>37.5            | 7<br>43.8              | 16<br>100.0 |
| 全体                              | 48<br>73.8           | 9<br>13.8            | 8<br>12.3              | 65<br>100.0 |

※ 「1 第一志望として受験する」かつ問 7「1 入学する」と回答した 45 人の内訳は本学看護学部 1 年次生が 23 人、2 年次生が 18 人、短期大学 3 年次生が 4 人。

【 博士前期課程クロス集計 2（問 4 × 問 5 × 問 7 × 問 8 × 問 9） 】

さらに、上記クロス集計の問 5「1 第一志望として受験する」と問 7「1 入学する」の回答者 45 人について、問 8（希望分野）と問 9（進学時期）のクロス集計を行った。

クロス集計の結果、問 8「1 基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野」の回答者の中で問 9「1 学部卒業後すぐ」を選択した回答者は 7 人、問 8「2 助産学分野」の回答者の中で問 9「1 学部卒業後すぐ」を選択した回答者は 13 人となった。

問 4（進路希望） × 問 5（博士前期受験希望） × 問 7（博士前期入学希望） × 問 8（希望分野） × 問 9（進学時期）

| 上段:人<br>下段:%              | 1<br>学部卒業後<br>すぐ | 2<br>学部卒業後<br>2～3年後 | 3<br>学部卒業後<br>4～5年後 | 4<br>進学時期は<br>未定 | 合計          |
|---------------------------|------------------|---------------------|---------------------|------------------|-------------|
| 1 基盤看護学分野・地域包括<br>ケア看護学分野 | 7<br>24.1        | 2<br>6.9            | 10<br>34.5          | 10<br>34.5       | 29<br>100.0 |
| 2 助産学分野                   | 13<br>81.3       | 1<br>6.3            | 0<br>0.0            | 2<br>12.5        | 16<br>100.0 |
| 全体                        | 20<br>44.4       | 3<br>6.7            | 10<br>22.2          | 12<br>26.7       | 45<br>100.0 |

さらに、上記クロス集計の間5「1 第一志望として受験する」と間7「1 入学する」の回答者45人のうち、令和8年度（大学院開設2年目）から博士前期課程入学対象となる看護学部2年次生18人、令和9年度（大学院開設3年目）から入学対象となる看護学部1年次生23人のそれぞれにつき、間8（希望分野）と間9（進学時期）のクロス集計を行った。「学部卒業後すぐ」の入学を希望する人は学部2年次生が7人、学部1年次生が13人となっている。

**【看護学部2年次生】**

問4（進路希望）×問5（博士前期受験希望）×問7（博士前期入学希望）×問8（希望分野）×問9（進学時期）

| 上段:人<br>下段:%          | 1<br>学部卒業後<br>すぐ(R8年<br>度。開設2年<br>目) | 2<br>学部卒業後<br>2～3年後 | 3<br>学部卒業後<br>4～5年後 | 4<br>進学時期は<br>未定 | 合計          |
|-----------------------|--------------------------------------|---------------------|---------------------|------------------|-------------|
| 1 基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野 | 1<br>8.3                             | 1<br>8.3            | 5<br>41.7           | 5<br>41.7        | 12<br>100.0 |
| 2 助産学分野               | 6<br>100.0                           | 0<br>0.0            | 0<br>0.0            | 0<br>0.0         | 6<br>100.0  |
| 全体                    | 7<br>38.8                            | 1<br>5.6            | 5<br>27.8           | 5<br>27.8        | 18<br>100.0 |

**【看護学部1年次生】**

問4（進路希望）×問5（博士前期受験希望）×問7（博士前期入学希望）×問8（希望分野）×問9（進学時期）

| 上段:人<br>下段:%          | 1<br>学部卒業後<br>すぐ(R9年<br>度。開設3年<br>目) | 2<br>学部卒業後<br>2～3年後 | 3<br>学部卒業後<br>4～5年後 | 4<br>進学時期は<br>未定 | 合計          |
|-----------------------|--------------------------------------|---------------------|---------------------|------------------|-------------|
| 1 基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野 | 6<br>46.1                            | 1<br>7.7            | 3<br>23.1           | 3<br>23.1        | 13<br>100.0 |
| 2 助産学分野               | 7<br>70.0                            | 1<br>10.0           | 0<br>0.0            | 2<br>20.0        | 10<br>100.0 |
| 全体                    | 13<br>56.5                           | 2<br>8.7            | 3<br>13.1           | 5<br>21.7        | 23<br>100.0 |

<事業所・施設アンケート>

川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関するアンケート調査

事業所・施設アンケート：集計表

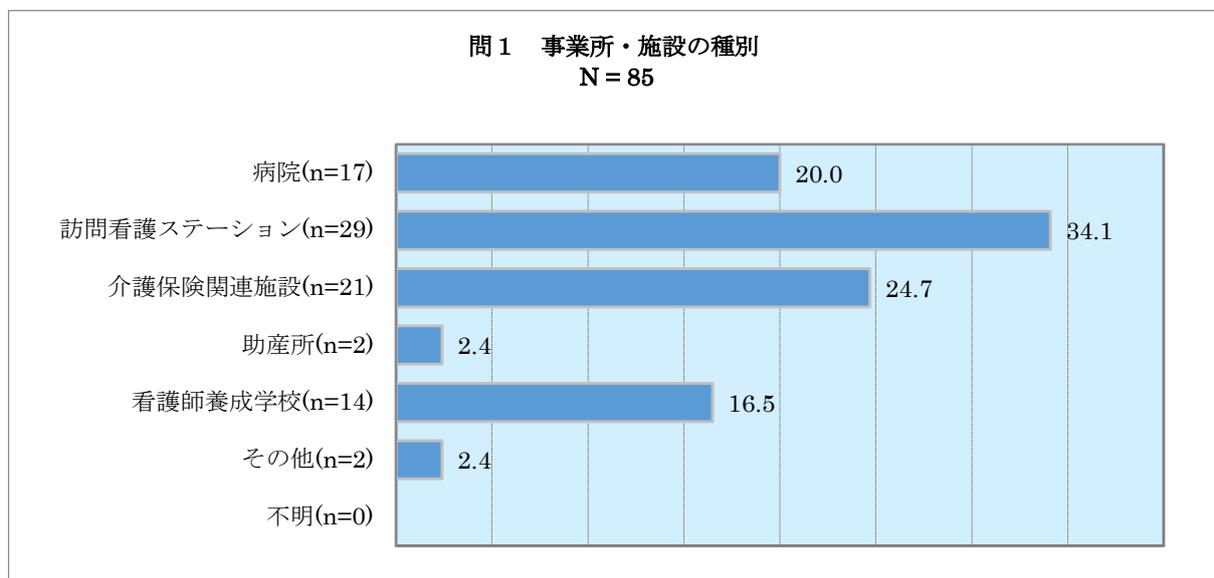
〔有効回答票：85票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

問1 貴事業所・施設の種別についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

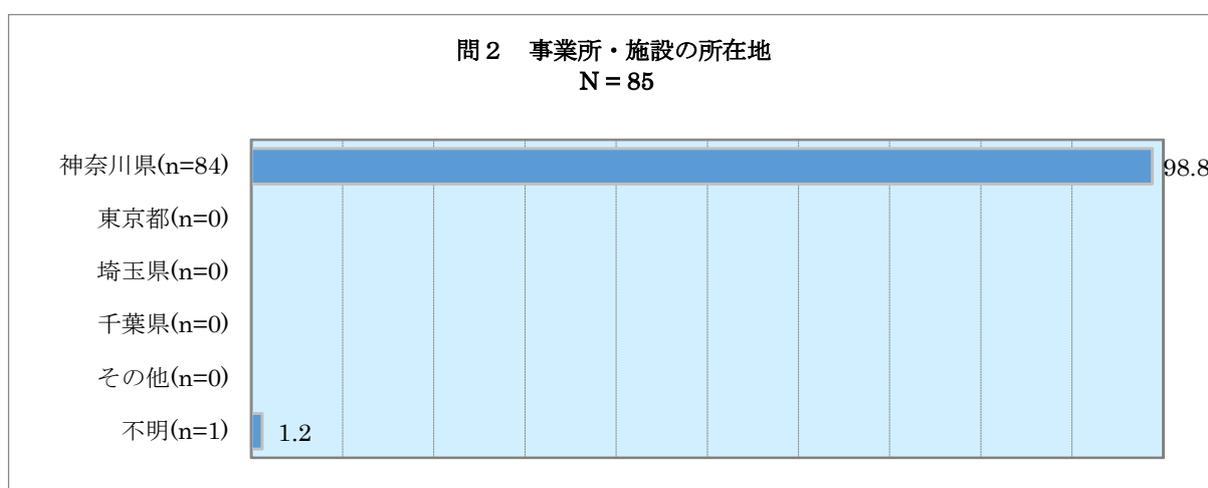
|              | 件数 | %    |
|--------------|----|------|
| 1 病院         | 17 | 20.0 |
| 2 訪問看護ステーション | 29 | 34.1 |
| 3 介護保険関連施設   | 21 | 24.7 |
| 4 助産所        | 2  | 2.4  |
| 5 看護師養成学校    | 14 | 16.5 |
| 6 その他        | 2  | 2.4  |
| 不明           | 0  | 0.0  |
| 合計           | 85 | 100  |

| その他     |
|---------|
| 児童福祉施設  |
| 障害者支援施設 |



問2 貴事業所・施設の所在地についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

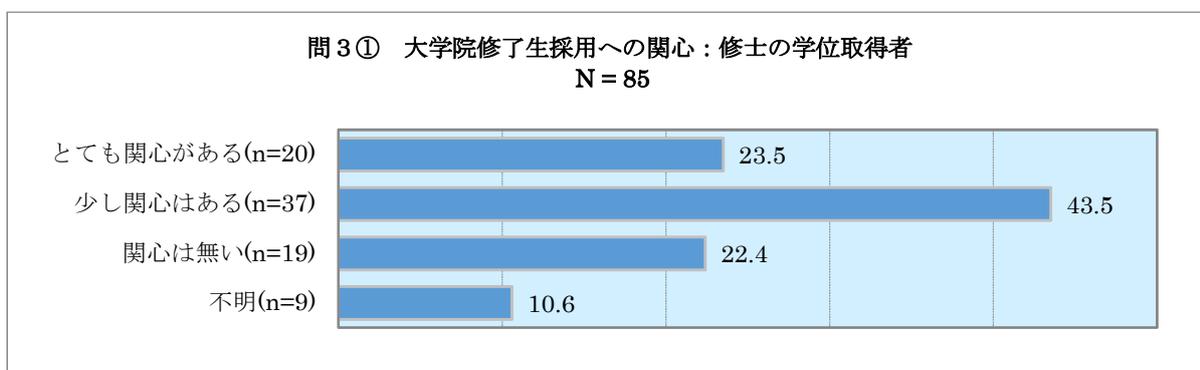
|        | 件数 | %    |
|--------|----|------|
| 1 神奈川県 | 84 | 98.8 |
| 2 東京都  | 0  | 0.0  |
| 3 埼玉県  | 0  | 0.0  |
| 4 千葉県  | 0  | 0.0  |
| 5 その他  | 0  | 0.0  |
| 不明     | 1  | 1.2  |
| 合計     | 85 | 100  |



問3 貴事業所・施設では大学院修了生の採用について関心がありますか。①修士の学位取得者について、②博士の学位取得者について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

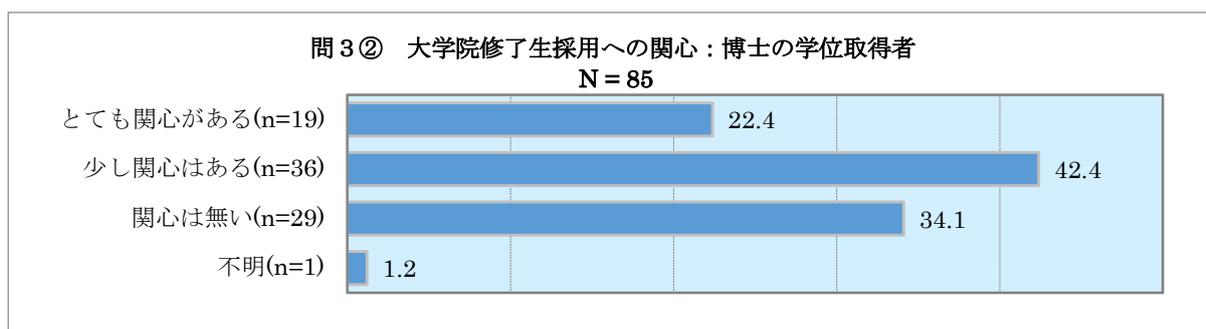
① 修士の学位取得者について

|            | 件数 | %    |
|------------|----|------|
| 1 とても関心がある | 20 | 23.5 |
| 2 少し関心はある  | 37 | 43.5 |
| 3 関心は無い    | 19 | 22.4 |
| 不明         | 9  | 10.6 |
| 合計         | 85 | 100  |



② 博士の学位取得者について

|            | 件数 | %    |
|------------|----|------|
| 1 とても関心がある | 19 | 22.4 |
| 2 少し関心はある  | 36 | 42.4 |
| 3 関心は無い    | 29 | 34.1 |
| 不明         | 1  | 1.2  |
| 合計         | 85 | 100  |



問4 貴事業所・施設は「川崎市立看護大学大学院看護学研究科」修了生につき、どのような能力を修得した人材を採用したいですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。  
(複数回答)

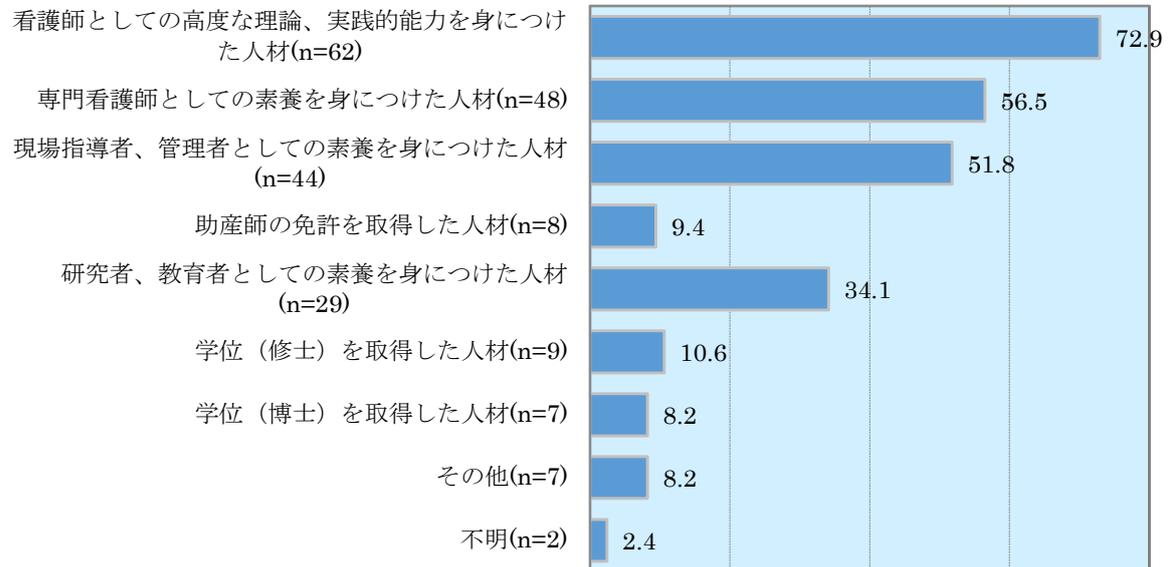
|                              | 件数 | %    |
|------------------------------|----|------|
| 1 看護師としての高度な理論、実践的能力を身につけた人材 | 62 | 72.9 |
| 2 専門看護師としての素養を身につけた人材        | 48 | 56.5 |
| 3 現場指導者、管理者としての素養を身につけた人材    | 44 | 51.8 |
| 4 助産師の免許を取得した人材              | 8  | 9.4  |
| 5 研究者、教育者としての素養を身につけた人材      | 29 | 34.1 |
| 6 学位（修士）を取得した人材              | 9  | 10.6 |
| 7 学位（博士）を取得した人材              | 7  | 8.2  |
| 8 その他                        | 7  | 8.2  |
| 不明                           | 2  | 2.4  |
| 合計                           | 85 | 100  |

※複数回答により、延数となり合計は100%にならない

| その他                   |
|-----------------------|
| 特定行為、緩和ケアや皮膚排泄の認定看護師  |
| 一般常識                  |
| 学際的素養を身につけた者          |
| 助産所で働く技量、意欲のある方       |
| 看護教育に真摯取り組む姿勢のある方     |
| 働く人としての高い道德心を持っていること。 |

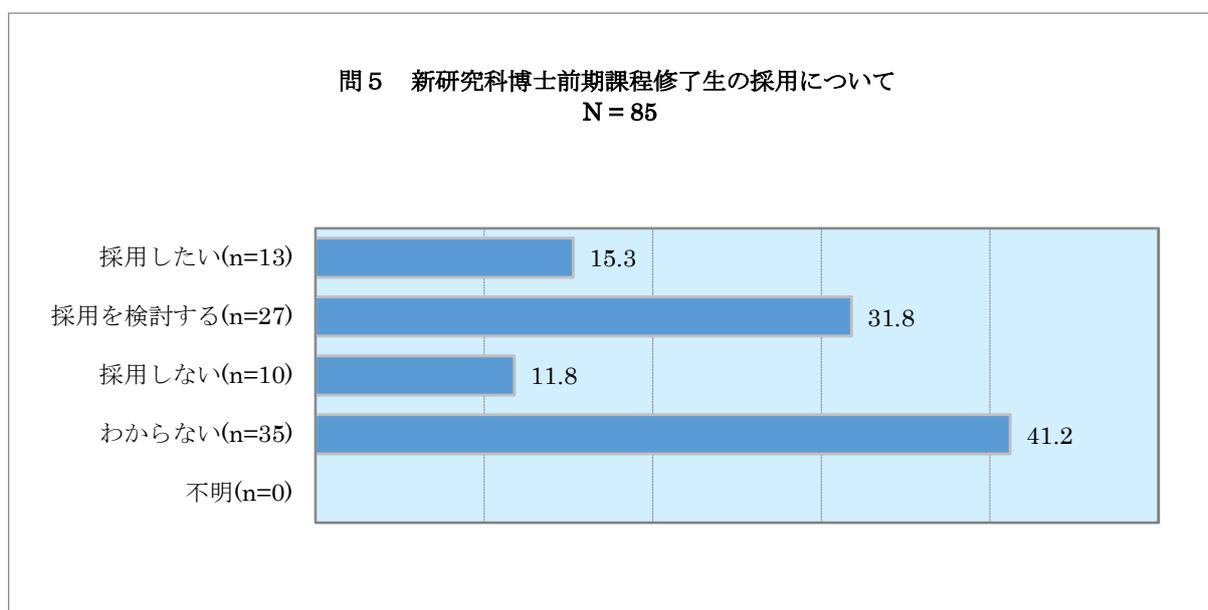
問4 新研究科修士生で採用したい人材（複数回答）

N = 85



問5 貴事業所・施設では「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」の修了生の採用について、どのような考えをお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

|           | 件数 | %    |
|-----------|----|------|
| 1 採用したい   | 13 | 15.3 |
| 2 採用を検討する | 27 | 31.8 |
| 3 採用しない   | 10 | 11.8 |
| 4 わからない   | 35 | 41.2 |
| 不明        | 0  | 0.0  |
| 合計        | 85 | 100  |

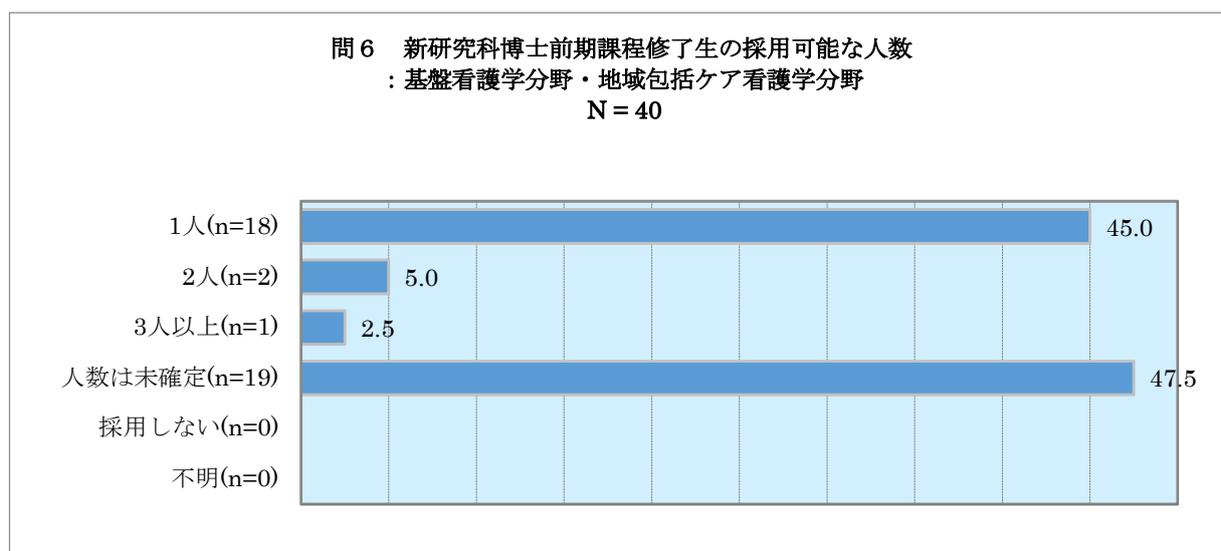


※問6は、問5で、「1 採用したい」「2 採用を検討する」と回答した40事業所・施設への設問

問6 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生について、貴事業所・施設で採用可能な人数を、下記分野ごとに次の中から1つだけ選んでください。

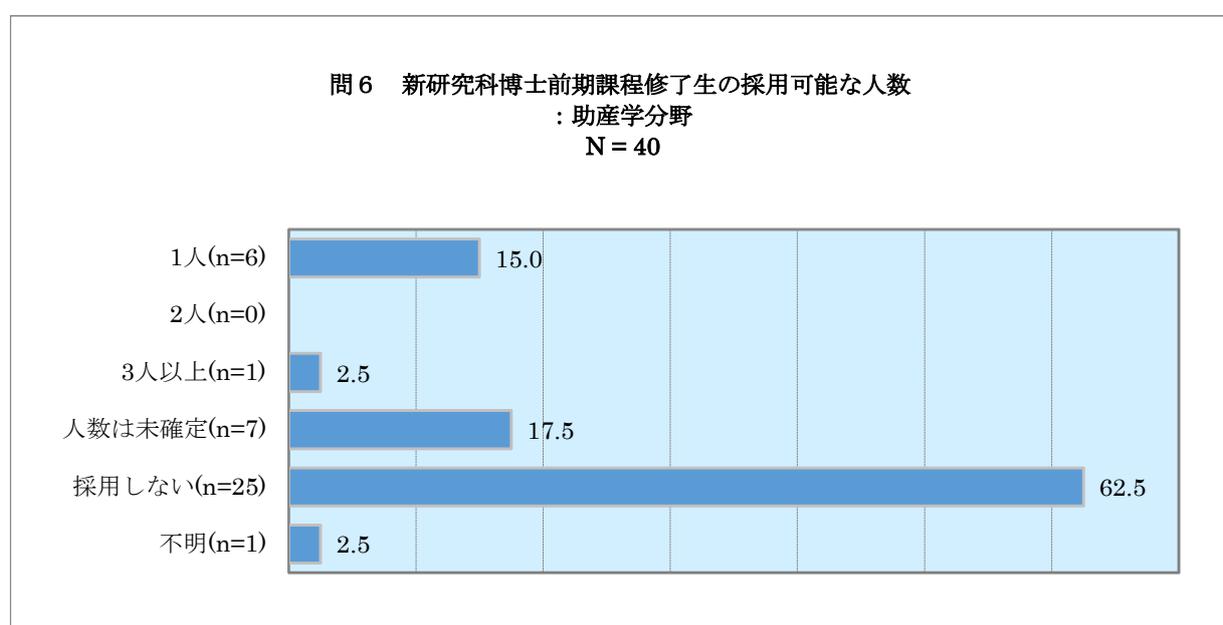
【基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野】

|          | 件数 | %    |
|----------|----|------|
| 1 1人     | 18 | 45.0 |
| 2 2人     | 2  | 5.0  |
| 3 3人以上   | 1  | 2.5  |
| 4 人数は未確定 | 19 | 47.5 |
| 5 採用しない  | 0  | 0.0  |
| 不明       | 0  | 0.0  |
| 合計       | 40 | 100  |



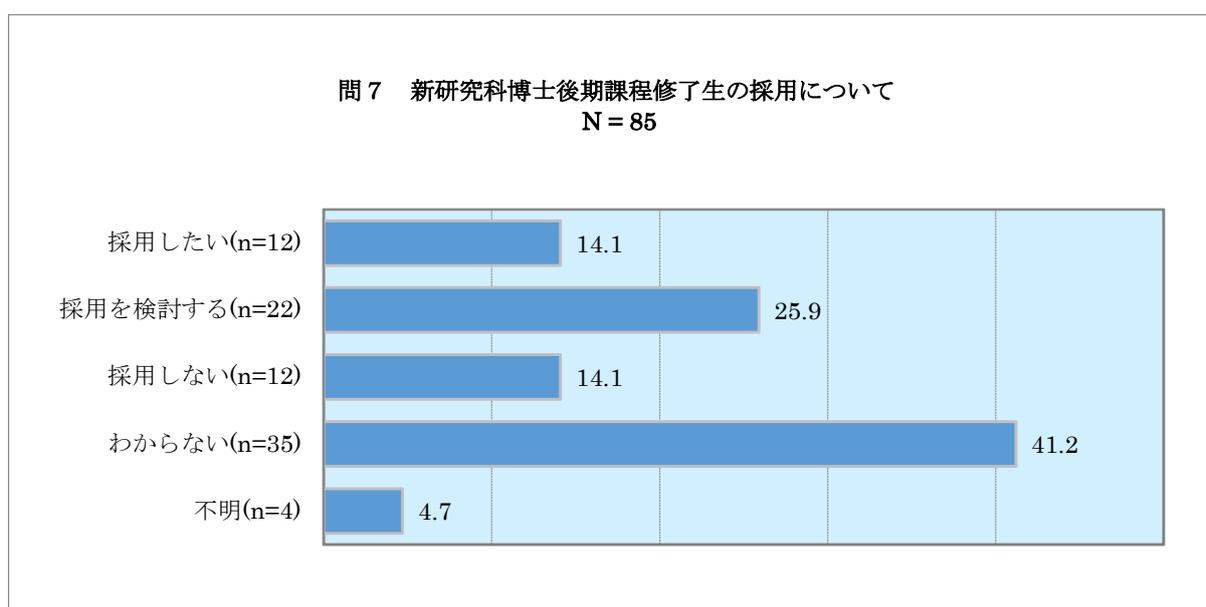
【助産学分野】

|          | 件数 | %    |
|----------|----|------|
| 1 1人     | 6  | 15.0 |
| 2 2人     | 0  | 0.0  |
| 3 3人以上   | 1  | 2.5  |
| 4 人数は未確定 | 7  | 17.5 |
| 5 採用しない  | 25 | 62.5 |
| 不明       | 1  | 2.5  |
| 合計       | 40 | 100  |



問7 貴事業所・施設では「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」の修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

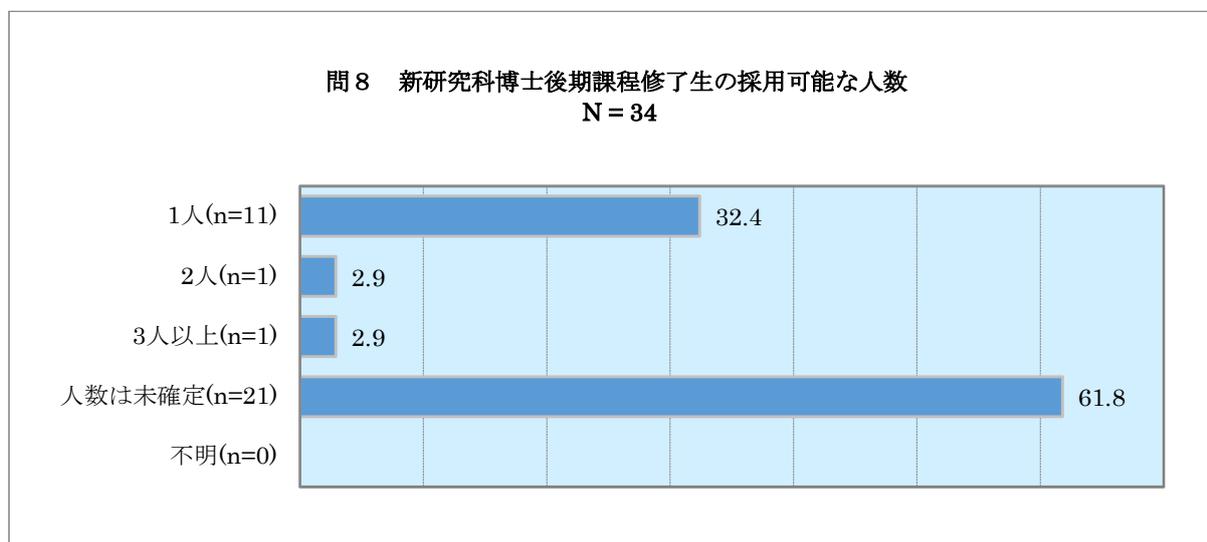
|           | 件数 | %    |
|-----------|----|------|
| 1 採用したい   | 12 | 14.1 |
| 2 採用を検討する | 22 | 25.9 |
| 3 採用しない   | 12 | 14.1 |
| 4 わからない   | 35 | 41.2 |
| 不明        | 4  | 4.7  |
| 合計        | 85 | 100  |



※問8は、問7で、「1 採用したい」「2 採用を検討する」と回答した34事業所・施設への設問

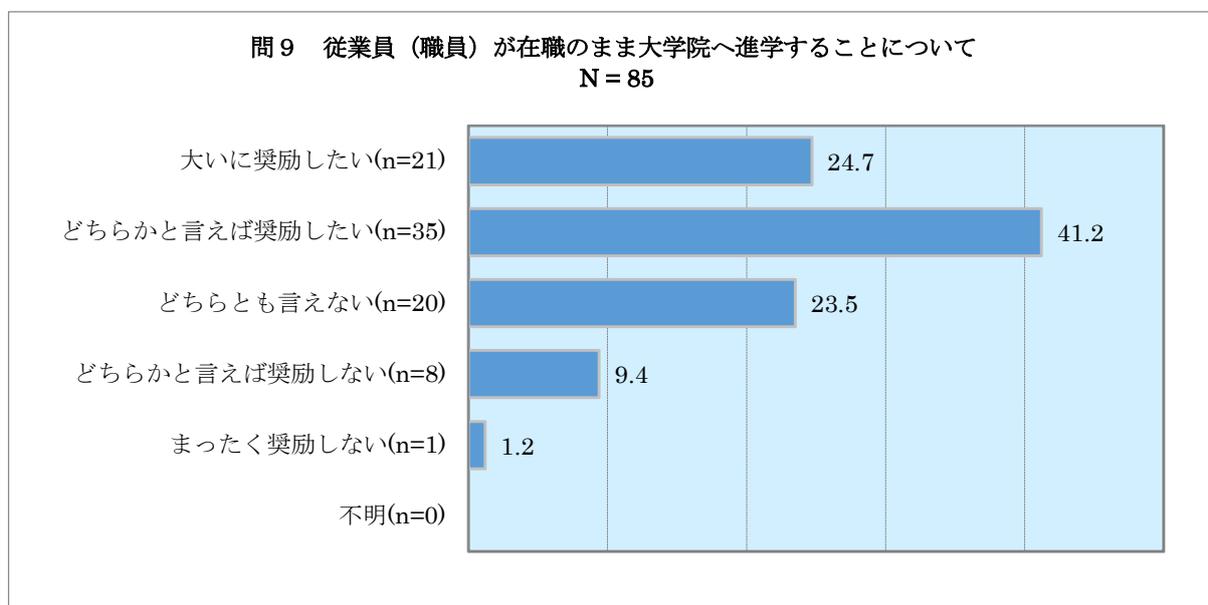
問8 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」修了生について、貴事業所・施設で採用可能な人数を次の中から1つだけ選んでください。

|          | 件数 | %    |
|----------|----|------|
| 1 1人     | 11 | 32.4 |
| 2 2人     | 1  | 2.9  |
| 3 3人以上   | 1  | 2.9  |
| 4 人数は未確定 | 21 | 61.8 |
| 不明       | 0  | 0.0  |
| 合計       | 34 | 100  |



問9 貴事業所・施設では、従業員（職員）が在職のまま大学院へ進学することについて、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

|                 | 件数 | %    |
|-----------------|----|------|
| 1 大いに奨励したい      | 21 | 24.7 |
| 2 どちらかと言えば奨励したい | 35 | 41.2 |
| 3 どちらとも言えない     | 20 | 23.5 |
| 4 どちらかと言えば奨励しない | 8  | 9.4  |
| 5 まったく奨励しない     | 1  | 1.2  |
| 不明              | 0  | 0.0  |
| 合計              | 85 | 100  |



問 10 川崎市立看護大学大学院看護学研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

| 施設種別       | 意見・要望  |
|------------|--|
| 病院         | 超高齢化時代の中入院患者さんも同様であり、在宅支援に向けての実践力が必要と考えます。   |
| 病院         | 市内病院への教育貢献（公開講座、出前講座、指導）をも期待したいところです。  |
| 病院         | 優秀な人材育成をして頂けることに大きな期待をしております。  |
| 病院         | 川崎市での新しい取り組みに賛同する。神奈川県川崎市の病院へ専門性の高い人材が先兵となり、質の高い看護体制が取れることを大いに期待する。大学院でなければ学べない専攻を身に着けることは、大学にとっても有意義なことになると考える。 |
| 病院         | 大変嬉しく歓迎いたします。学びの場が近くにあることは、川崎市内で勤務するメリットになります。頑張ってください。  |
| 病院         | 大学院設置を契機に教育研究機関と臨床のより具体的なレベルでの連携が強化されることを期待します。  |
| 病院         | より専門的な知識をもった人材は必要と思うが、臨床現場の人材が不足しており、これからも減る一方なのに・・・と思うところがあります。管理者や現場の人材を増やすことが急務と考えているので。                      |
| 訪問看護ステーション | 当ステーションのリハビリ職員が大学院へ進学しています。研究中のリハビリや最新情報を知る機会になり、ありがたく思っています。看護学でも在職していても進学することで、プラスになるのではと思います。今後ともよろしく願っています。  |
| 訪問看護ステーション | アンケートの送付ありがとうございます。STの設置されている場所や訪問エリアの生活って大事なと日々感じております。あくまでもご利用者、ご家族の受け入れ状況かと思えます。知識を知恵に転換できるNSが希望です。           |
| 訪問看護ステーション | 就労しながらの進学になると思うので、カリキュラムの受講方法等選択肢が多くあり、継続できる支援を望みたい。   |
| 訪問看護ステーション | 専門性の高い看護師の育成はとても重要になっていると思っています。ぜひ多くの人材を輩出していただきたいです。  |
| 訪問看護ステーション | 知識や技術のみならず、これからの日本を牽引するべく、様々な経験を積み、徳のある人になるべく、そういう人材育成を望みます。   |
| 訪問看護ステーション | 問9における回答は、小規模のステーションでは人間的に難しいのが現状だと思います。設置についてはとても良いことだと思います。採用については考慮の一助とはなりますが、為人次第かと思えます。                     |
| 訪問看護ステーション | 今回のアンケート内容について、弊社が大学院修了生の採用に消極的なのは、事業所規模が小さいため十分に大学院修了生の能力を活用できないと考えているからです。                                     |
| 介護保険関連施設   | 川崎市内に大学院が設置される事、とても嬉しく思います。実習などご協力できる部分があればお声かけください。   |
| 介護保険関連施設   | 近年、看護師の能力差が大きくなっていると感じています。自己で学習しようという力や、自分で考え、判断できる力を養えるような教育を望みます。   |
| 介護保険関連施設   | 「養成する人材像」に対して単科大学・大学院では難しいのではないかと。   |
| 看護師養成学校    | 働きながら学びやすいシステムにしてもらいたいです。  |
| 看護師養成学校    | 社会人が通学しやすいカリキュラム（時間やonlineなど）を要望します。   |
| 看護師養成学校    | 自分自身の経験から、働きながら学べる環境・教育体制を整えていただけるとよいと思います。  |
| 看護師養成学校    | eラーニングも活用し、専任教員養成講習会も兼ね、専門的な知識を習得した上で卒業される方でしたら、専任教員としての受入の可能性もあると思います。  |
| 看護師養成学校    | 公立大学大学院の存在はこれからあらたな人材を世の中に出すことになるので、とても注目されると思います。神奈川県は元より全国の先端をいく教育、研究を行っていただきたいと思えます。                          |

## <社会人アンケート>

川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関するアンケート調査

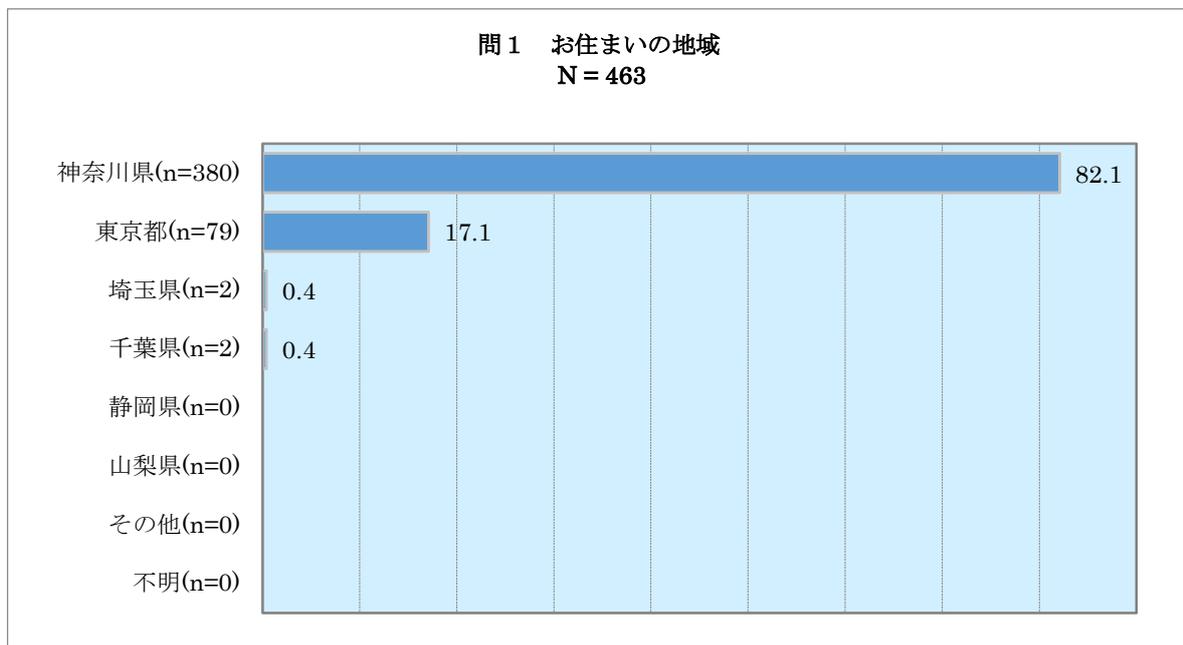
社会人アンケート：集計表

〔有効回答票：463 票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

問1 あなたがお住まいの地域についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

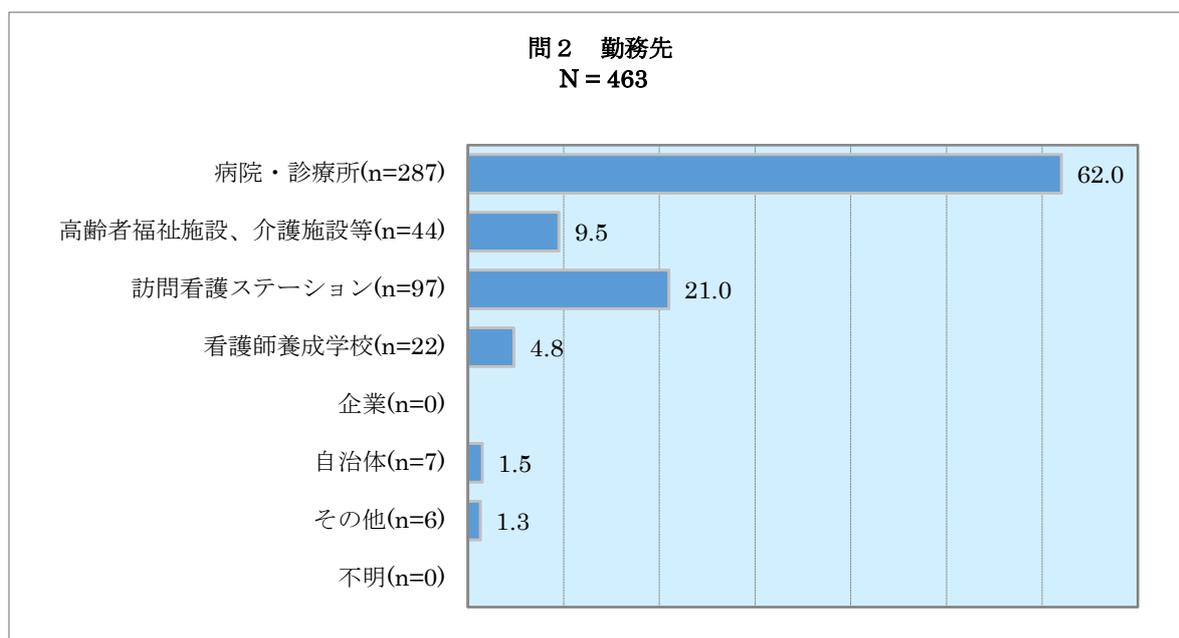
|        | 件数  | %    |
|--------|-----|------|
| 1 神奈川県 | 380 | 82.1 |
| 2 東京都  | 79  | 17.1 |
| 3 埼玉県  | 2   | 0.4  |
| 4 千葉県  | 2   | 0.4  |
| 5 静岡県  | 0   | 0.0  |
| 6 山梨県  | 0   | 0.0  |
| 7 その他  | 0   | 0.0  |
| 不明     | 0   | 0.0  |
| 合計     | 463 | 100  |



問2 あなたの勤務先についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

|                 | 件数  | %    |
|-----------------|-----|------|
| 1 病院・診療所        | 287 | 62.0 |
| 2 高齢者福祉施設、介護施設等 | 44  | 9.5  |
| 3 訪問看護ステーション    | 97  | 21.0 |
| 4 看護師養成学校       | 22  | 4.8  |
| 5 企業            | 0   | 0.0  |
| 6 自治体           | 7   | 1.5  |
| 7 その他           | 6   | 1.3  |
| 不明              | 0   | 0.0  |
| 合計              | 463 | 100  |

| その他              |
|------------------|
| 療育施設             |
| 療育センター           |
| 地域包括支援センター       |
| 医療福祉法人重症心身障害児者施設 |



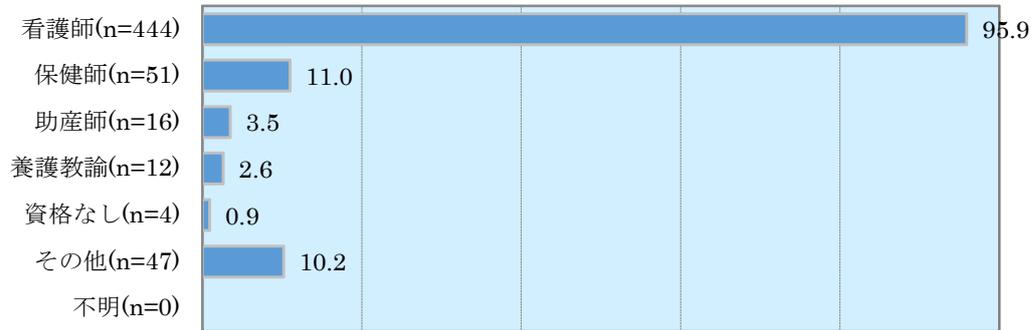
問3 あなたはどのような資格をお持ちですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。  
 い。(複数回答)

|        | 件数  | %    |
|--------|-----|------|
| 1 看護師  | 444 | 95.9 |
| 2 保健師  | 51  | 11.0 |
| 3 助産師  | 16  | 3.5  |
| 4 養護教諭 | 12  | 2.6  |
| 5 資格なし | 4   | 0.9  |
| 6 その他  | 47  | 10.2 |
| 不明     | 0   | 0.0  |
| 合計     | 463 | 100  |

※複数回答により、延数となり合計は100%にならない

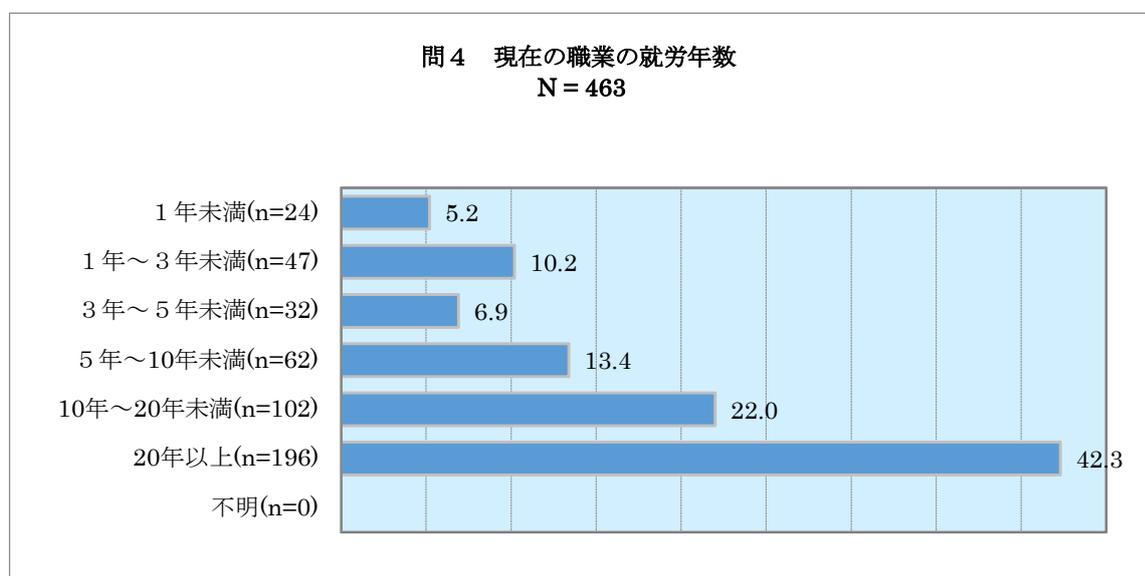
| その他                    |
|------------------------|
| ヘルパー2級                 |
| 介護福祉士                  |
| 介護支援専門員                |
| 社会福祉士                  |
| 社会福祉士、精神保健福祉士          |
| 精神保健福祉士                |
| 介護支援専門員                |
| 介護支援専門員、介護福祉士          |
| 臨床工学技士                 |
| 介護福祉士                  |
| 精神保健福祉士                |
| ケアマネ                   |
| 訪問看護ステーション経営者          |
| 介護福祉士                  |
| 認定看護管理者、大学院の特定行為研修修了   |
| 認定看護師、特定看護師、難病看護師、複数取得 |
| 認定、特定看護師               |
| 准看護師                   |
| 救急救命士                  |
| 歯科衛生士                  |
| 公認心理師                  |
| 認定看護管理者                |
| 専任教員、救急救命士             |
| 特定認定看護師、緩和ケア           |
| 保育士                    |
| 救急救命士                  |
| 介護福祉士、社会福祉主事           |
| 思春期相談士                 |
| 介護支援専門員                |
| 専門看護師                  |
| 第一種衛生管理者               |
| 衛生管理者                  |
| 准看護師                   |

問3 持っている資格 (複数回答)  
N = 463



問4 あなたは現在の職業に就いてどれほどの年数になりますか。次の中から1つだけ選んでください。

|             | 件数  | %    |
|-------------|-----|------|
| 1 1年未満      | 24  | 5.2  |
| 2 1年～3年未満   | 47  | 10.2 |
| 3 3年～5年未満   | 32  | 6.9  |
| 4 5年～10年未満  | 62  | 13.4 |
| 5 10年～20年未満 | 102 | 22.0 |
| 6 20年以上     | 196 | 42.3 |
| 不明          | 0   | 0.0  |
| 合計          | 463 | 100  |

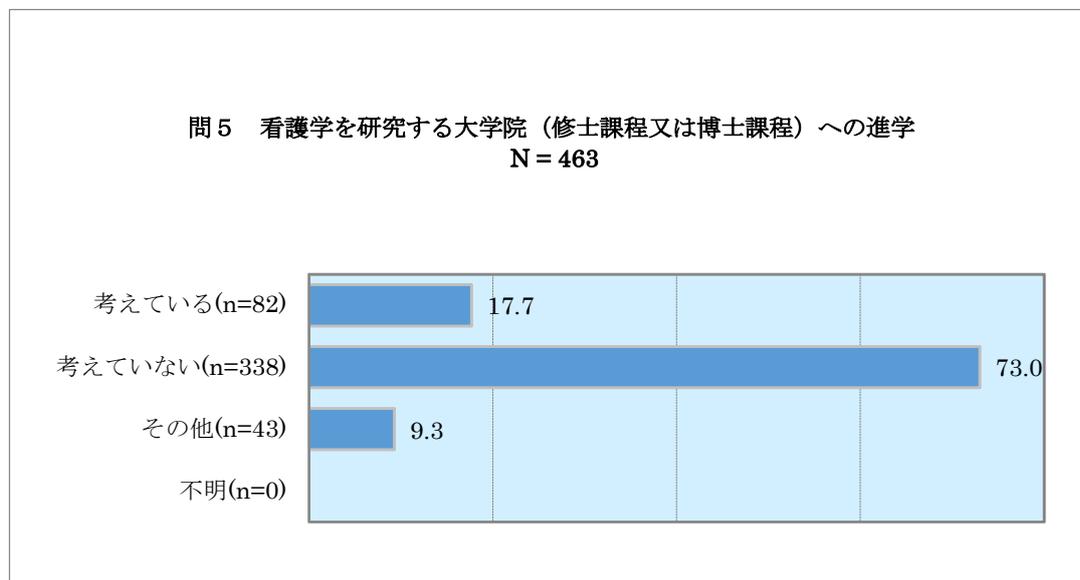


問5 あなたは看護学を研究することのできる大学院（修士課程又は博士課程）への進学をした  
いと考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。

|          | 件数  | %    |
|----------|-----|------|
| 1 考えている  | 82  | 17.7 |
| 2 考えていない | 338 | 73.0 |
| 3 その他    | 43  | 9.3  |
| 不明       | 0   | 0.0  |
| 合計       | 463 | 100  |

| その他  |
|--|
| 進学したい気持ちはある  |
| 興味はある  |
| 漠然としているがいずれ博士課程  |
| 他に取得したい資格があるので取得したら考えたい  |
| 仕事との両立が可能であれば進学したい   |
| 現在、訪問看護の管理者をしています。私自身が進学するよりもスタッフに進学させたい。皆様の研究を手伝うことが出来れば積極的に手伝いたい                                       |
| 進学したいと思うが、大学を卒業していないので難しいと思います。  |
| 金銭的余裕があれば、勉強したい  |
| 考え中  |
| 興味はあるが、日々の業務が多忙のためカリキュラムをこなすことが現実的に難しい。  |
| 大学卒でないので残念ながらできません。  |
| 学びたいと思うが、子育て中の為一人では決められないから。   |
| 管理者として、スタッフの要望や今後の研修の機会として具体的なことを知りたい  |
| 修士課程修了しているため   |
| 修了したため   |
| 今後検討する可能性もあるため   |
| 関心はあります  |
| 最終学歴が専門学校卒の為、大卒の資格が取れればと考えている  |
| 大学院で看護の学びを深めたいと思う。けれど具体的な研究テーマは思い浮かばないし子どもも小さくて通えるか不安もある。  |
| 今はまだ真剣には考えてはいないけど今後の進路の一つではあるため  |
| 以前、考えていた   |
| 今後の自分が目指す方向性と、家庭の状況により、進学するか検討したい。   |
| すでに大学院修了している   |
| 機会があれば   |
| 現在通学中  |
| 具体的には考えていないが、機会があったら進学したい  |
| 現状は考えていませんが、もう少し看護について深く考えたり学んだり、研究したいという思いはあります。ただ、仕事の調整（業務の調整、休暇の申請、給与面）や自分の体力を考えると、現実的に両立は難しいと思っています。 |
| 看護学以外を学びたい   |
| 社会福祉士や保健師の資格取得はしたい   |
| 行きたかったが年齢的に難しいのかと思っている   |
| 考えていないが興味がある   |
| 既に修士を修了しています   |
| 機会があれば進みたいが現状難しいと考えている   |
| どのような研究をするのか興味はあるが、実際に進学を考えた時の年齢や若い世代と同じように出来るか、あとは学費について不安がある。  |
| 博士課程前期は修了  |

|        |
|--------|
| その他    |
| 修了済み   |
| 修了している |
| 未定     |

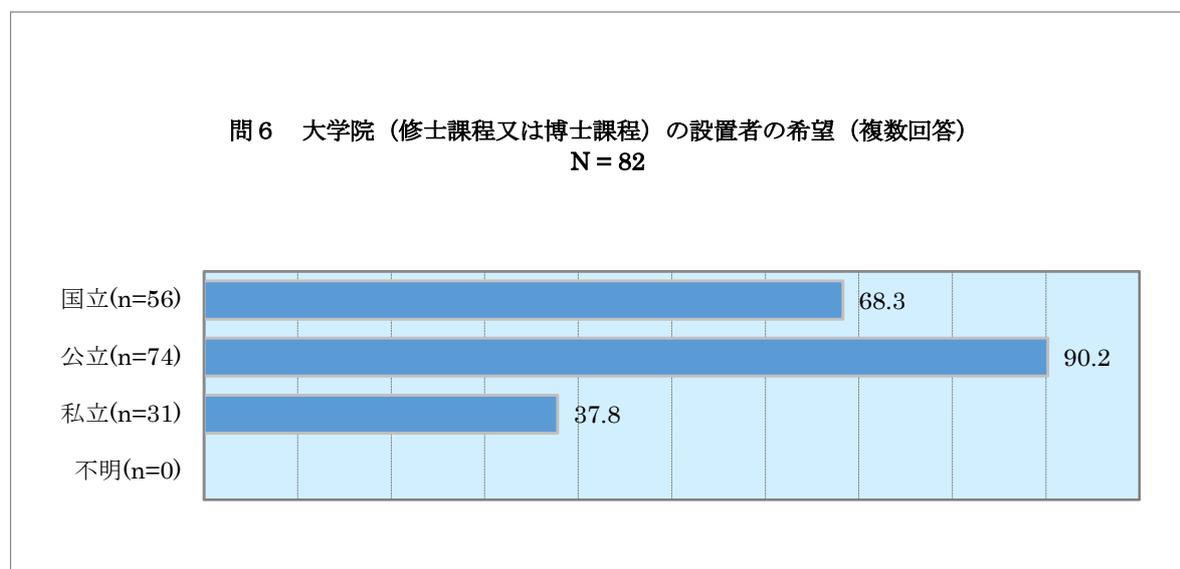


※問6～問7は、問5で「1 考えている」と回答した82人への設問

問6 あなたが志望する大学院（修士課程又は博士課程）の設置者の希望を選択してください。  
（複数選択可）

|      | 件数 | %    |
|------|----|------|
| 1 国立 | 56 | 68.3 |
| 2 公立 | 74 | 90.2 |
| 3 私立 | 31 | 37.8 |
| 不明   | 0  | 0.0  |
| 合計   | 82 | 100  |

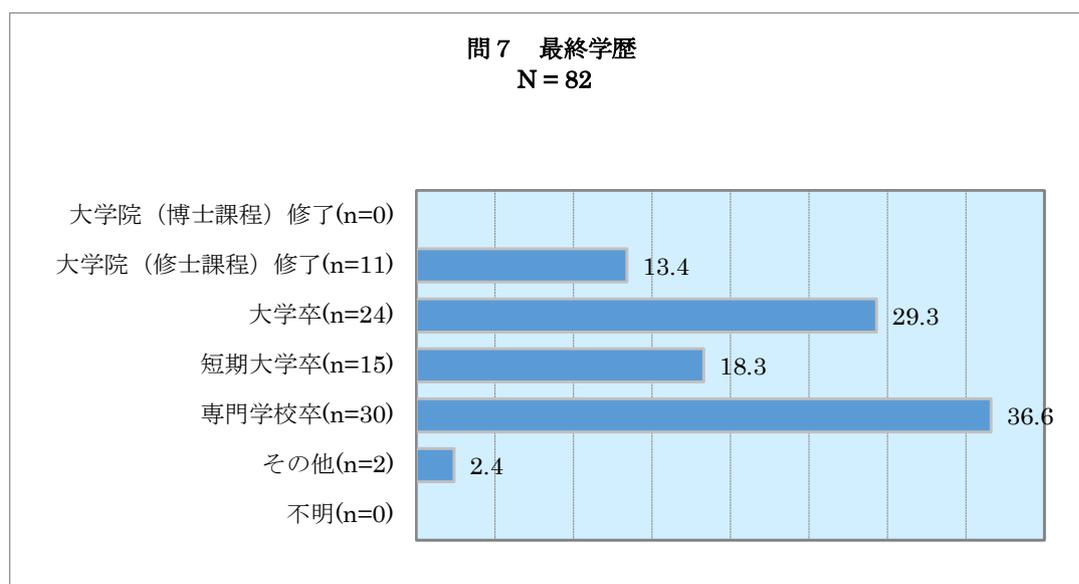
※複数回答により、延数となり合計は100%にならない



問7 あなたの最終学歴についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

|               | 件数 | %    |
|---------------|----|------|
| 1 大学院（博士課程）修了 | 0  | 0.0  |
| 2 大学院（修士課程）修了 | 11 | 13.4 |
| 3 大学卒         | 24 | 29.3 |
| 4 短期大学卒       | 15 | 18.3 |
| 5 専門学校卒       | 30 | 36.6 |
| 6 その他         | 2  | 2.4  |
| 不明            | 0  | 0.0  |
| 合計            | 82 | 100  |

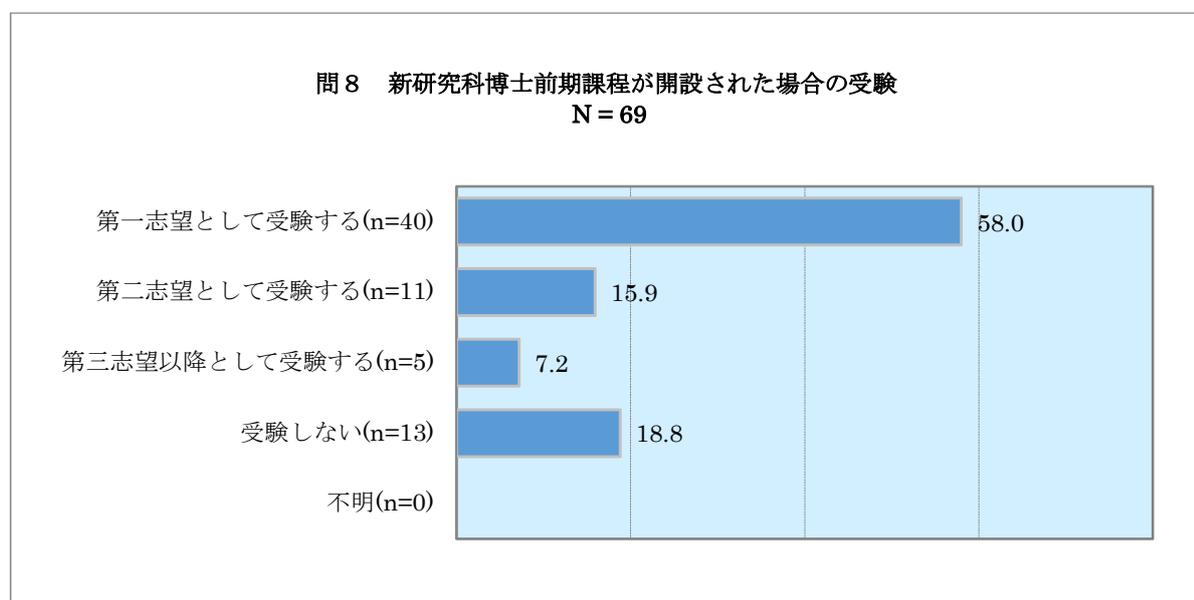
| その他        |
|------------|
| 高等学校専攻科5年生 |
| 准看護師       |



※問8は、問7で「3 大学卒」「4 短期大学卒」「5 専門学校卒」と回答した69人への設問

問8 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合、受験を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

|                 | 件数 | %    |
|-----------------|----|------|
| 1 第一志望として受験する   | 40 | 58.0 |
| 2 第二志望として受験する   | 11 | 15.9 |
| 3 第三志望以降として受験する | 5  | 7.2  |
| 4 受験しない         | 13 | 18.8 |
| 不明              | 0  | 0.0  |
| 合計              | 69 | 100  |



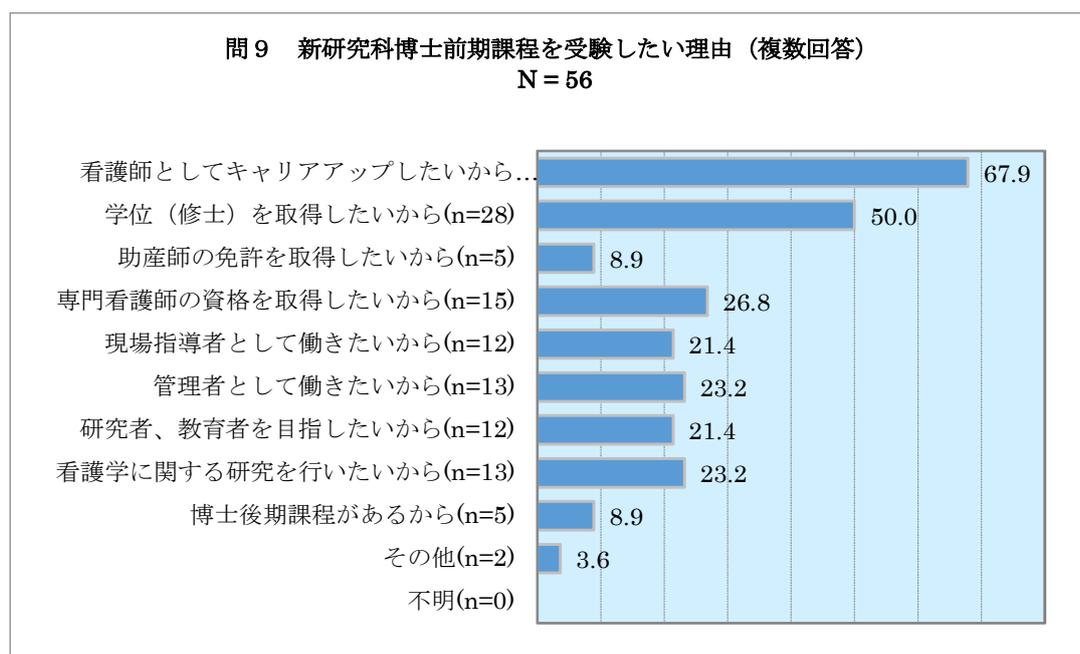
※問9～問10は、問8で「1 第一志望として受験する」「2 第二志望として受験する」「3 第三志望以降として受験する」と回答した56人への設問

問9 あなたが「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。(複数回答)

|                      | 件数 | %    |
|----------------------|----|------|
| 1 看護師としてキャリアアップしたいから | 38 | 67.9 |
| 2 学位（修士）を取得したいから     | 28 | 50.0 |
| 3 助産師の免許を取得したいから     | 5  | 8.9  |
| 4 専門看護師の資格を取得したいから   | 15 | 26.8 |
| 5 現場指導者として働きたいから     | 12 | 21.4 |
| 6 管理者として働きたいから       | 13 | 23.2 |
| 7 研究者、教育者を目指したいから    | 12 | 21.4 |
| 8 看護学に関する研究を行いたいから   | 13 | 23.2 |
| 9 博士後期課程があるから        | 5  | 8.9  |
| 10 その他               | 2  | 3.6  |
| 不明                   | 0  | 0.0  |
| 合計                   | 56 | 100  |

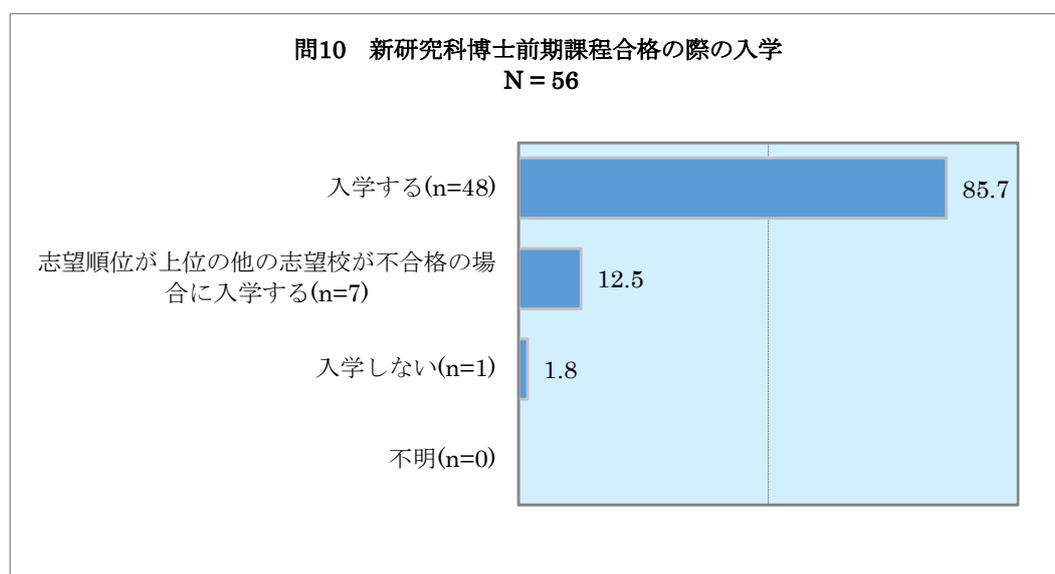
※複数回答により、延数となり合計は100%にならない

| その他                           |
|-------------------------------|
| 訪問看護師（NP）になりたいので              |
| 現在の仕事をより充実したい。科学的根拠を持ち仕事をしたい為 |



問 10 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

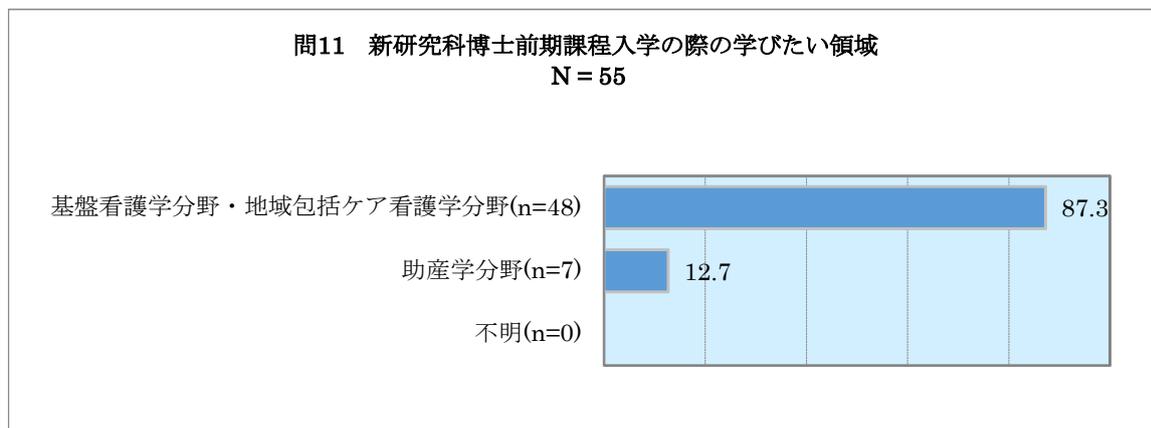
|                             | 件数 | %    |
|-----------------------------|----|------|
| 1 入学する                      | 48 | 85.7 |
| 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する | 7  | 12.5 |
| 3 入学しない                     | 1  | 1.8  |
| 不明                          | 0  | 0.0  |
| 合計                          | 56 | 100  |



※問 11～問 12 は、問 10 で「1 入学する」「2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した 55 人への設問

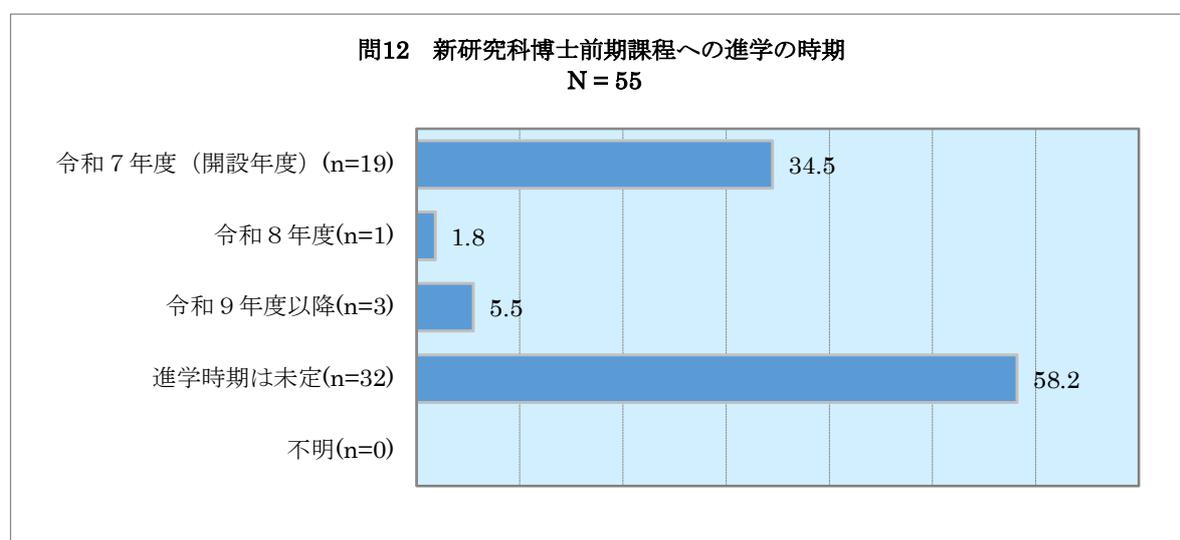
問 11 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した場合、どの分野で学ぶことを希望しますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

|                       | 件数 | %    |
|-----------------------|----|------|
| 1 基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野 | 48 | 87.3 |
| 2 助産学分野               | 7  | 12.7 |
| 不明                    | 0  | 0.0  |
| 合計                    | 55 | 100  |



問 12 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」への進学はいつ頃を希望されますか。次の中から1つだけ選んでください。回答後は問 17 へお進みください。

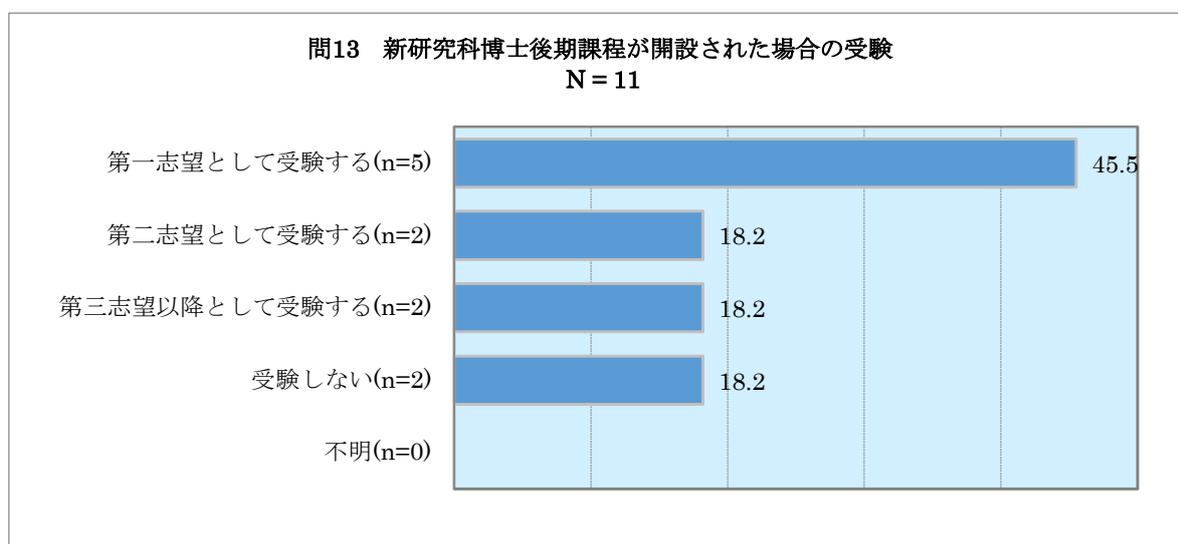
|               | 件数 | %    |
|---------------|----|------|
| 1 令和7年度（開設年度） | 19 | 34.5 |
| 2 令和8年度       | 1  | 1.8  |
| 3 令和9年度以降     | 3  | 5.5  |
| 4 進学時期は未定     | 32 | 58.2 |
| 不明            | 0  | 0.0  |
| 合計            | 55 | 100  |



※問 13 は、問 7 で「2 大学院（修士課程）修了」と回答した 11 人への設問

問 13 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」が開設された場合、受験を希望しますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

|                 | 件数 | %    |
|-----------------|----|------|
| 1 第一志望として受験する   | 5  | 45.5 |
| 2 第二志望として受験する   | 2  | 18.2 |
| 3 第三志望以降として受験する | 2  | 18.2 |
| 4 受験しない         | 2  | 18.2 |
| 不明              | 0  | 0.0  |
| 合計              | 11 | 100  |



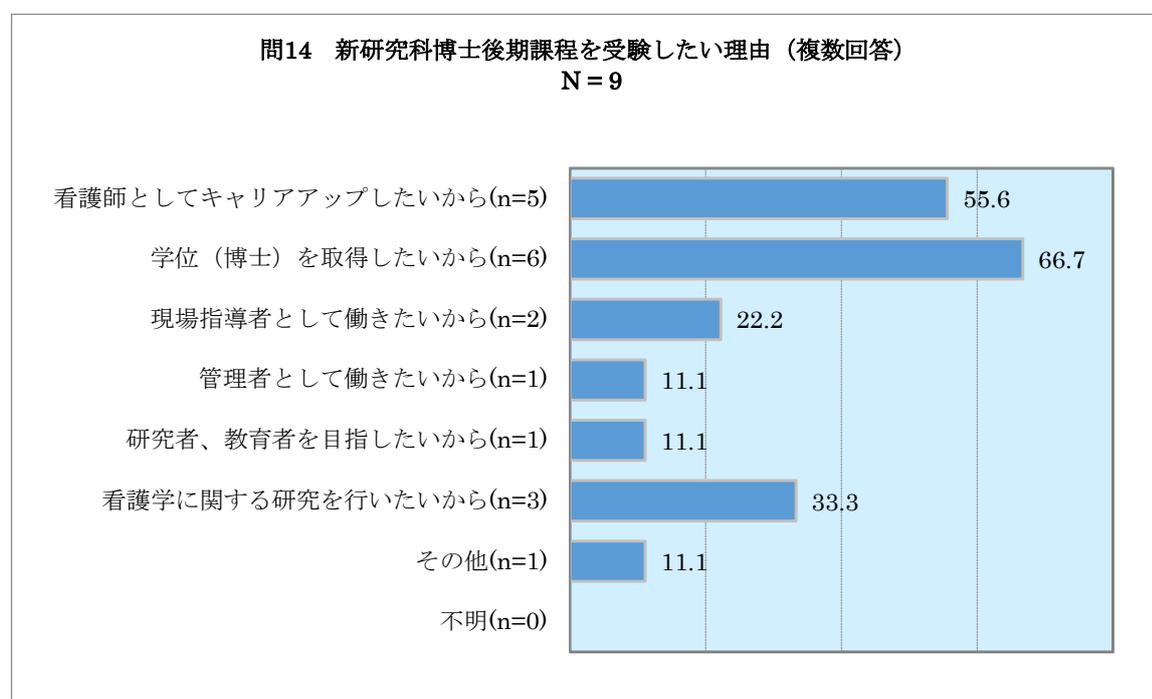
※問 14～問 15 は、問 13 で「1 第一志望として受験する」「2 第二志望として受験する」「3 第三志望以降として受験する」と回答した 9 人への設問

問 14 あなたが「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」を受験したい理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。(複数回答)

|                      | 件数 | %    |
|----------------------|----|------|
| 1 看護師としてキャリアアップしたいから | 5  | 55.6 |
| 2 学位（博士）を取得したいから     | 6  | 66.7 |
| 3 現場指導者として働きたいから     | 2  | 22.2 |
| 4 管理者として働きたいから       | 1  | 11.1 |
| 5 研究者、教育者を目指したいから    | 1  | 11.1 |
| 6 看護学に関する研究を行いたいから   | 3  | 33.3 |
| 7 その他                | 1  | 11.1 |
| 不明                   | 0  | 0.0  |
| 合計                   | 9  | 100  |

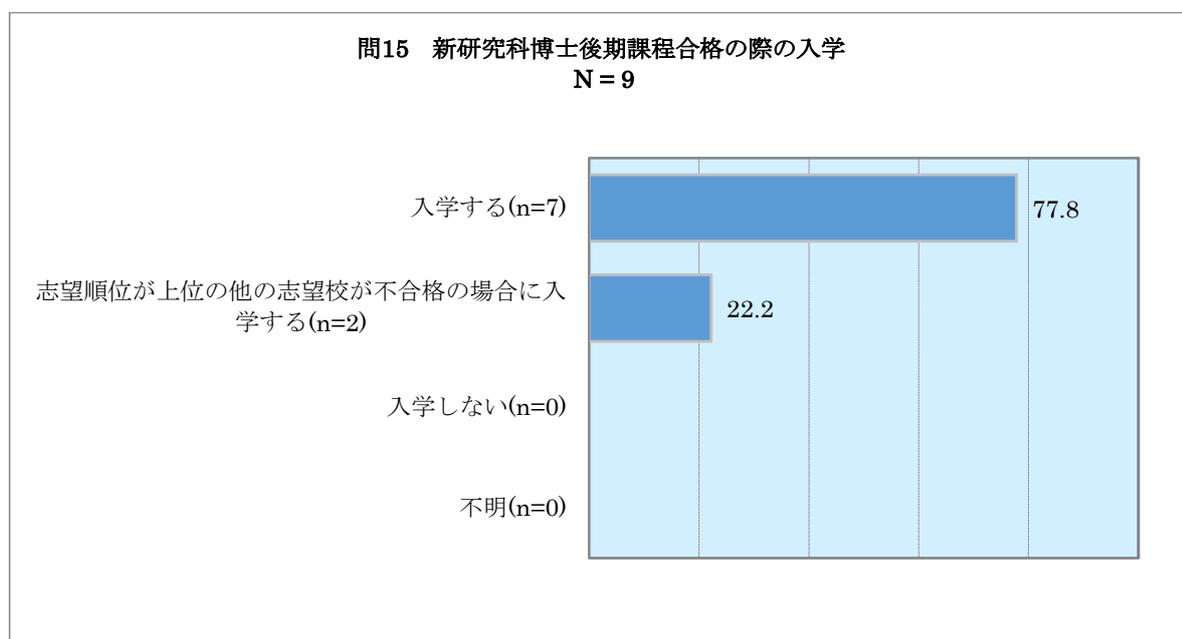
※複数回答により、延数となり合計は 100%にならない

| その他                       |
|---------------------------|
| 地域包括ケアが進化しているため実践現場と教育が違う |



問 15 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

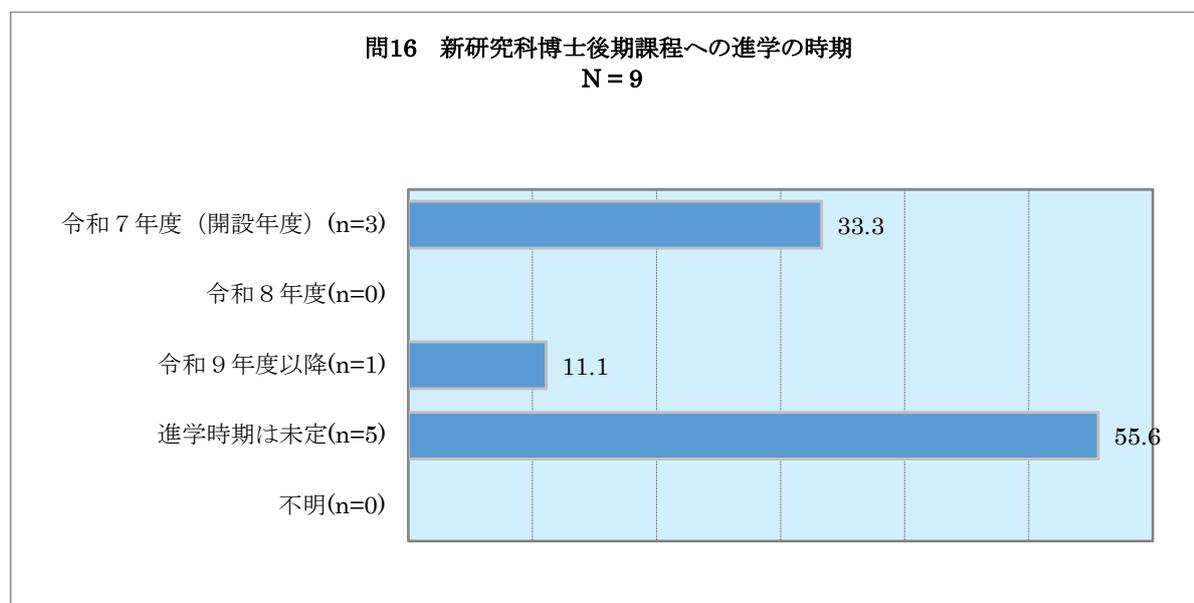
|                             | 件数 | %    |
|-----------------------------|----|------|
| 1 入学する                      | 7  | 77.8 |
| 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する | 2  | 22.2 |
| 3 入学しない                     | 0  | 0.0  |
| 不明                          | 0  | 0.0  |
| 合計                          | 9  | 100  |



※問 16 は、問 15 で「1 入学する」「2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した 9 人への設問

問 16 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」への進学はいつ頃を希望されますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

|                 | 件数 | %    |
|-----------------|----|------|
| 1 令和 7 年度（開設年度） | 3  | 33.3 |
| 2 令和 8 年度       | 0  | 0.0  |
| 3 令和 9 年度以降     | 1  | 11.1 |
| 4 進学時期は未定       | 5  | 55.6 |
| 不明              | 0  | 0.0  |
| 合計              | 9  | 100  |



問 17 川崎市立看護大学大学院看護学研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

| 意見・要望   |
|---|
| 専門的知識を身に付けて実践できるのであれば良いと思います。   |
| 看護師が学習できる場が増えることはとても良いことだと思っているので、是非、現場で活かせる教育をしてほしいです。   |
| 定員数をもう少し増やして、地域や国際社会に活躍して頂ける看護師を多くつくりたい。  |
| オンラインでも対面でもその時の都合で受講できるように。   |
| 公立の大学及び大学院は学費などの面で助かるため、今後の人員育成のため、尽力してほしいです。   |
| NP 養成課程が少ないためぜひ創設してほしいです。今後 Advanced Practice Nurse の需要は高まると思うのでどんどん増えて受け口が広がることを期待します。   |
| 市立大病院ができることは、学問をできる機会が広がり、素晴らしいことだと思う。現場のためにもその背景には研究やアカデミーは必要なことと思うので、是非、大変と思うが設置に向け頑張ってもらいたいと思う。  |
| 人材育成や研究などで協力（共同）できると心強いです。  |
| 川崎市職員に向けた業務と研究の両立支援策の策定   |
| 学べる環境が身近にあることは良い事だと思います。  |
| 介護・福祉分野での専門職間連携を担える人材の育成をしてほしいです。   |
| 大学院生の研究発表の場などがあれば、学生以外でも聴けると良いと思います。  |
| 子育て中の為、大学院に通うというハードルがとても高く、現在は考えていないとしました。しかし今後環境変化等により、選択のひとつとなるかもしれません。大学院の設置、周知をすすめて頂き看護の世界が広がることを希望します。   |
| Web を使った講義を検討してほしいです。（育児中のため）   |
| やる気のある人はなるべく多くの方が学べるよう間口を広くしてほしいです。   |
| 「働きながら通える大学院として」とありましたが、保育や介護の支援が得られなければ、仕事も困難で職場に負担をかけることとなります。また、仕事を市ながら時間外の夜間帯や休日に講義を受けるのは、自身の健康維持にも不安を感じます。能力・意欲があり、条件に恵まれた方へのサポートと、その方の穴埋めをする職場へのサポートの整備も必要かと思えます。地域包括ケアシステムの担い手の人材養成を目的としていることは、在宅ケアで日々困難を感じている立場から、有意義と感じ、期待しています。 |
| 働きながら通うことが可能となるような修学・教育体制は良いと思えました。リーフレット内容から興味が湧きました。ありがとうございます。   |
| 働きながら教育を受ける機会があることはいいことだと思います。  |
| 地元で活躍される方が増えることを期待しています。  |
| 感染症や災害時に備えて、地域で活躍できる人材の育成と発信を期待します  |
| 看護学の研究を深めることによって社会に対する貢献にもつながると思うので設置計画に賛成です。   |
| 准看護師が優遇され受験出来たら良いのと思う   |
| 現在ファーストレベル受講中のため、今後、学びを継続させる時間が作れそうであれば受けたいと思う。仕事との両立の工夫など経験者からの声がきいてみたい。   |
| 区域外の学納入学金は、学びたい人にとって、ネックに感じる部分だと思います。川崎市内は大学病院も多く、ニーズはあるかと思えます。応援しています。   |
| 海外で看護師として働くためのサポートや知識、技術の提供。また、看護留学の支援、海外の医療現場と提携し、フィールドワークなどがあれば良いなと思います。  |
| 地域包括ケアシステムについて学んだり研究する機関はあまり多くないと思います。高齢社会が進む中で住み慣れた地域で最後まで暮らせることは誰にとっても望ましいことであり、自分自身もそうありたいと思っています。貴大学院の開学が社会全体がそういったことを受け入れられる環境となるきっかけとなることを期待しています。  |
| 看護管理者として勤務しています。勤務先の状況や自身の生活もありますので、平日夜や土曜日など働きながら学べる環境はありがたいです。  |
| 地域での現場の状況、それぞれの地域の問題などを知ってほしい。  |
| 認定看護師、専門看護師が取得できるのかは関心がある   |
| 働きながら通いやすくするために平日夜間帯や土曜日を活用できる設定はありがたいです。   |

| 意見・要望  |
|--|
| 専門的知識を身に付けて実践できるのであれば良いと思います。  |
| 現在、特定行為研修を一部修了してます。その場合、クリティカルケア看護学を専攻した際は<br>どうなるのか確認したいです。   |
| 短大時代に卒業した者への、キャリアデザインのサポート   |
| 当院の研究支援に尽力いただき感謝しております。学生実習や卒業後教育、看護師育成について<br>臨床のフィールドとしていただき、今後も一層連携して相互に役立つ研究を含むフィードバック<br>期待したいです。   |
| クリティカル・救急など興味のある分野があれば前向きに検討したい  |
| 現場と連携していただけるとありがたい。非常に心強いです。   |
| 身近に学べる場所ができる事はありがたい。   |
| 訪問看護（在宅医療）のスペシャリストも育てて頂きたいところです。例えば実務3年後からの<br>再入学による専門知識の習得。  |
| 期待しています  |
| 特定行為が学べるコース  |
| 専門が何か教えて下さい。宜しくお願い致します。  |
| 看護人生の中で学べる場所があることは、素晴らしいと思います。身近に学ぶ場所を探してい<br>たら、お勧めしたいと思います。  |
| 50歳台でもよろしければ、是非学びたいです。   |
| 学べる場が増えるのはいいこと。授業料が安いのもとても魅力的です。   |
| ただ、働きながら可能かどうかそこが知りたいです  |
| 自分が子育て中のため、そのような人でも希望できるような制度などがあるといいと思う   |
| 勤務しながら通えるようにしてほしい  |
| ぜひ進めてほしいです   |
| 看護の発展のための、学びの機会の選択肢が増えることはとても良いと思います。  |
| 看護専門学校のため、働きながら、まずは大学卒の卒士の資格が取得できるコースがあれば良<br>い  |
| 更なる学びの必要性を感じている人にとっては、よいものだと思います。  |
| 仕事をしながら通いたい為、講義や実習が週末にあると助かります。子供も大学に通う事にな<br>り、経済的にも仕事を続けながら大学に行きたいと考えています。   |
| 苦手な分野なので、親しみやすくなれば良いと考えます。   |
| 私自身は定年が近くもう進学は考えていないが、30代～40代の頃は大学院へ進むことも考えて<br>いました。働く場所にちかく通学しやすい大学院は歓迎したいと思います。可能であれば、費<br>用、通学期間、夜間休日の開講など両立しやすい体制をお願いしたいです。   |
| 准看護師資格を取得し、進学ののち看護師の資格を取得しました。看護師の3年課程卒ではな<br>いので、大学に進学希望はありますが、どの単位が必要で不足しているかがわかりません。大<br>学院への進学も可能であれば考えますが、まず大学に入学するところからつまづいています。                                     |
| 進学となるとハードルが上がるので、短期の研修などがあると嬉しいですね。  |
| これから看護を担って行く若い方のためにも、特定行為研修など受講できる多くの場は必要と<br>思います。是非設置をして頂きたいと思います。   |
| 中には、病院や施設が学びに対し補助しないところもあるので、川崎市のように自治体のサポ<br>ートがあればもうすこし学びたい看護師もいるように思います。  |
| 仕事をしながら通学するのはかなり大変なのではないかと思えます。通信制なども検討され、<br>仕事と家事と学業が両立出来るようなシステムがあれば、学びを継続できるのではないかと<br>思います。   |
| 自分の住む近くに看護大学大学院が出来るとするのは、とてもいい事だと思います。学びに<br>は、年齢は関係ないと思うので興味・関心があります。   |
| 現在大学院で感染看護学を専攻し、今春卒業予定です。働きながら通学することがとても難し<br>く、そのような環境、自施設病院の支援体制が必要だと痛感しています。  |
| 短大の卒業生です。ぜひ、設置していただきたいです。働きながら通えるのはありがたい。  |
| 4年生大学へ新設したからには大学院も設置することは自然の流れだと思います。大学院修了<br>後のキャリアを見据えて高度実践者もしくは研究者の育成に取り組んで欲しいです。   |
| 大学院概要リーフレットを拝見しましたが、学費においてはあまり抵抗なく考えられる額だ<br>なと思えました。分野においては、ライフコースケア看護学と広域看護学の違いは何だろうと思<br>いました。私は精神科の看護師なので、精神看護学がライフコースケア看護学ではない理由が<br>なぜなのか、少し気になりました。個人的な感想で申し訳ありません。 |

| 意見・要望  |
|--|
| 専門的知識を身に付けて実践できるのであれば良いと思います。  |
| 研究論文を書く時にぜひ川崎病院を使ってほしい。研究を身近に感じられると現場での研究も広がると思います。  |
| 助産師免許の取得を考えているためぜひ進学をしたい。  |
| 働きながらスキルアップできることは、看護師の配置状況から考えると効率的である。また、専門看護師や特定行為の教育課程があるのも、現在の看護師教育に則していると思う。  |
| 教授陣の業績、研修が十分にできる環境   |
| 働きながら通える大学であればありがたいです。興味があります。   |
| もし設立されれば、職場の近くなので関心があります。  |
| 大学院に通うために必要な条件を満たすための特別な措置があると良いと思っています。例えば認定看護師の資格を持っているなど。   |
| 精神看護学に興味があります。機会がありましたら学ばせていただきたいです。   |
| 素晴らしい試みだと思います。私は54歳になり、師長業務をさせて頂いています。メンタルの弱い学生さんを最近多くお見かけするので、どこまで強く指導して良いのか、模索中です。スタッフも同様、何卒、これからの看護界を担う学生が、生き生きと学べるようご尽力賜りたいと存じます。  |
| 看護師の研究者を増やして日本の看護の質を高くしてほしいので楽しみにしております！   |
| 看護大学に進んでいたら…若かったら…もっと学べる環境が近くにあって…と思うと、川崎市立の看護大学が大学院を設置するのはとても良いことだと思います。まだ学べるなら…学びたいです。   |
| 川崎駅から近いので便利だと思います。家庭と両立が難しい時期の場合でも、特定行為までの勉強は出来ないが、もう少し詳しくなりたい勉強したいと言う場合の研修なども、安価でやっていただけると嬉しいです。  |
| 現場の業務改善になるような、研究と一緒にやっていただきたい。看護体制、看護記録など基本的なところで悩んでいます  |
| 夜間の講義や土曜日の集中講義があれば、学生も学びやすいと思います。  |
| 質の高い看護を川崎市で提供するために是非設置してほしいと考えています。特に現場で看護を継続する方の質の向上となるようなコースであって欲しいです。CNS、NPのような。  |
| 人口減少、生産年齢人口減少の中、ケアニーズは増しておりよりよい看護実践や価値を高めるために看護教育機関、大学の機能は重要。政令指定都市である川崎市としても住民が安心して暮らせる大都市になるためには看護人材の育成と確保が急務と考えます。川崎市は住民の支え支え合いがありとてもよい地域なので川崎市発で色々と思えます。その一方で全国的に看護大学が多い中、指導できる教員などが集まるのか気になります。 |
| 取り組みはずばらしいと思います。しかし、一旦、社会人になってしまうと財務が厳しい訪問看護ステーションから休職等をして学ぶことは生活負担が高く難しいです。大学生からその後大学院へ進む経路ができることは看護師としての選択肢が増え、よいことだと思います。   |
| 期待しています  |
| 大学院が設置された場合は、入学検討したい。また、教授の方々がどのような方たちが気になります。   |
| 設置されたら助産学分野を考えています。是非設置をお願いします。  |
| 働きながら通えるのが利用しやすいと思います。   |
| 博士まで取得したので、考えていない回答になりましたが、大学院は必要と思います。専門看護師や診療看護師の育成を望みます！  |
| 受験するかどうかは、自分の研究テーマと教員の専門が合っているかによる   |
| 川崎市で看護を深める、高める教育場所が立ち上がるのはとても嬉しいです。先が楽しみです   |
| 大学院の設置によって地域で働く看護師にとって拠り所となるような、いい影響が出ることを期待しています。   |
| 費用、履修期間、カリキュラムをより詳しく知りたいです。  |
| 看護大学卒ではないので大学院に入学希望を出す事すらできない。大学院が大卒を入学要件としているなら、専門卒で入学できる研究機関がほしい。  |
| 夜間や週末など働いていても通える事が明らかになり通いたいと思う。年齢的なこともあるが・・・  |
| もう少し定員数が多いほうが受験しようとする人が増えるのでは。カリキュラムの充実。実習場所の説明。   |
| 興味がある。ただ学費が高すぎて難しい   |

| 意見・要望   |
|---|
| 専門的知識を身に付けて実践できるのであれば良いと思います。   |
| 自分が専門としたい分野があり、その大学院が長年その分野の業績を残しているか、過去に業績がない場合はその分野の先生が在籍しているかなどが、選択の基準になります。今のリーフレットにはその情報がないため選びにくいと感じます。   |
| 川崎市在住を優先入学する方針は現在は整っておりますか？短大時代、市外の方を優遇していたと受験者の間では暗黙のルールだったと伺っております。なので、市内在住者が受験を控える流れになっていたと思います。現在の入学者の在住別比率等もパンフレット等に載せておくともっと受験しようとする方が増えると思います。 |
| 今のところ、入学希望ないため、意見、要望はありません。   |
| 進学を前提でのアンケートになっていますが、特に進学を希望していません。   |
| 年齢制限の有無。実際年齢的に難しいと思う。   |
| 研究系の大学院が不足していると現場は思っていない  |
| 興味はあるがまだ行動には移そうという気にはなれません。   |
| 専門学校や短大卒の看護師が大学院に進学するにはどのような条件（最終学歴など）が必要なのか、広報があると嬉しいです。大学卒でない看護師にとっては大学院への進学はかなりハードルが高く感じられ、自分には無縁と感じています。  |
| 現在の大学がある場所では、自宅からでは交通の便が良くなく、遠回りしないと通学できないため、興味はあるが通学を考えると現実的ではない。  |
| いない   |
| 大学院が多すぎる。研究アンケートばかり送られて、スタッフも嫌気がさしています。何とかありませんか？もっと実践に即した大学院にしてほしい。  |

<在学生アンケート>

川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関するアンケート調査

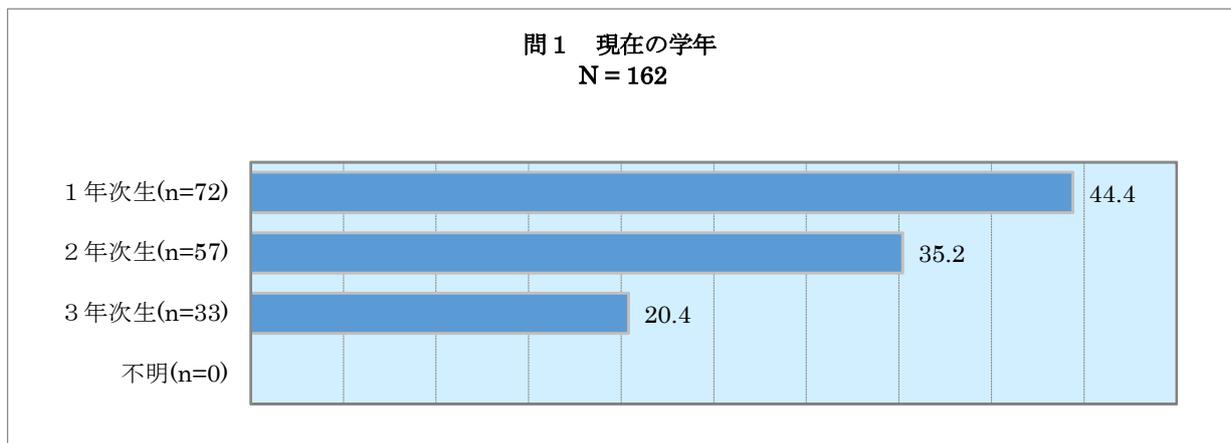
在学生アンケート：集計表

〔有効回答票：162 票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

問1 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

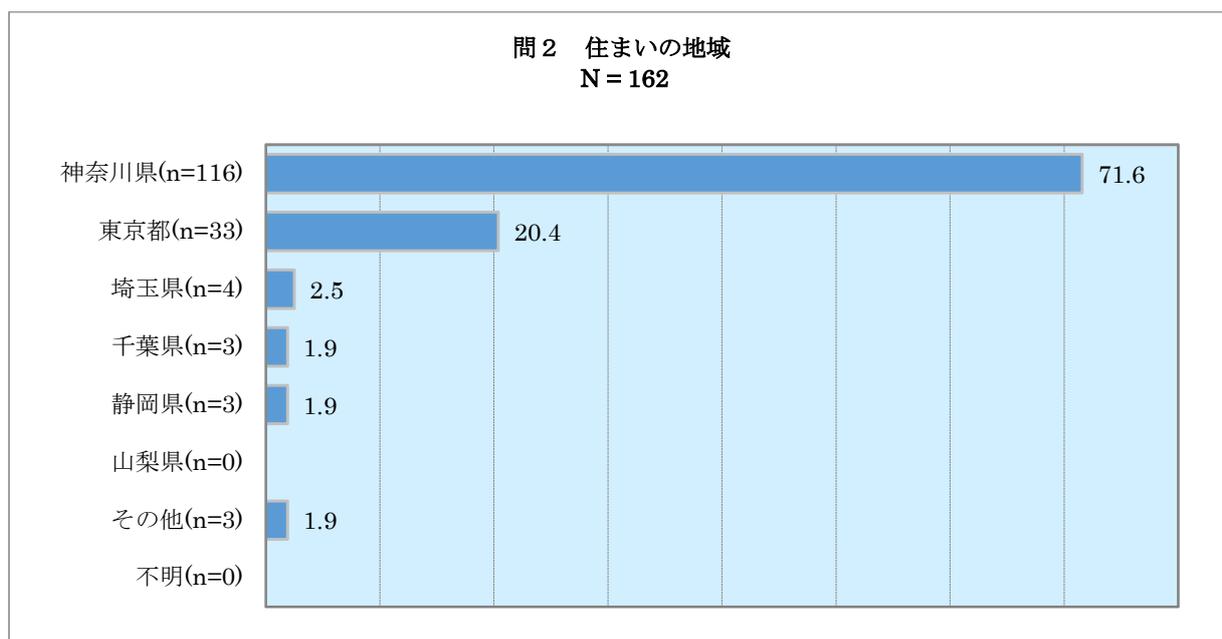
|        | 件数  | %    |
|--------|-----|------|
| 1 1年次生 | 72  | 44.4 |
| 2 2年次生 | 57  | 35.2 |
| 3 3年次生 | 33  | 20.4 |
| 不明     | 0   | 0.0  |
| 合計     | 162 | 100  |



問2 あなたがお住まいの地域についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

|        | 件数  | %    |
|--------|-----|------|
| 1 神奈川県 | 116 | 71.6 |
| 2 東京都  | 33  | 20.4 |
| 3 埼玉県  | 4   | 2.5  |
| 4 千葉県  | 3   | 1.9  |
| 5 静岡県  | 3   | 1.9  |
| 6 山梨県  | 0   | 0.0  |
| 7 その他  | 3   | 1.9  |
| 不明     | 0   | 0.0  |
| 合計     | 162 | 100  |

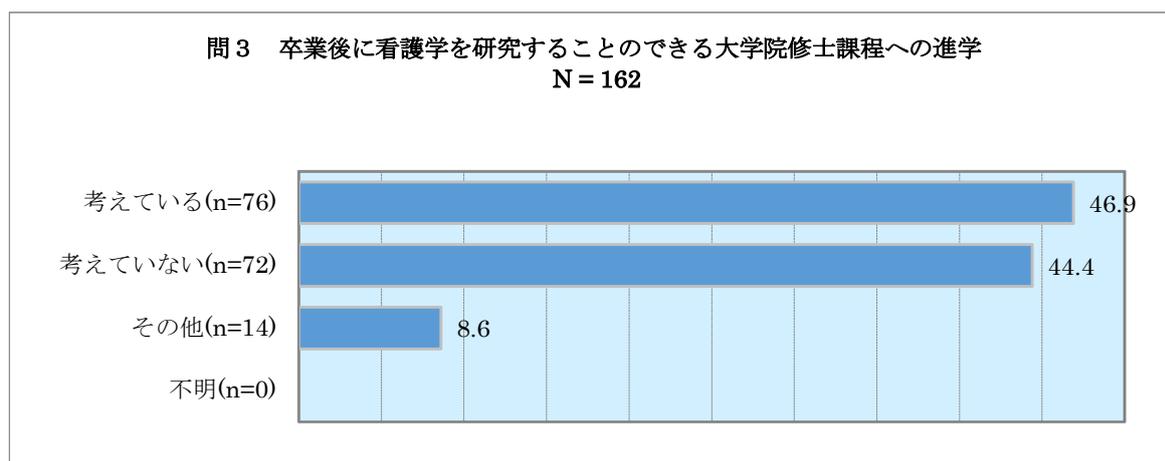
| その他 |
|-----|
| 岐阜県 |
| 茨城県 |
| 茨城県 |



問3 あなたは卒業後、看護学を研究することのできる大学院（修士課程）への進学をしたいと考えていますか（卒業して数年経過後、進学する場合も含む）。次の中から1つだけ選んでください。

|          | 件数  | %    |
|----------|-----|------|
| 1 考えている  | 76  | 46.9 |
| 2 考えていない | 72  | 44.4 |
| 3 その他    | 14  | 8.6  |
| 不明       | 0   | 0.0  |
| 合計       | 162 | 100  |

| その他                                     |
|---|
| 助産に行くかもしれないが確定ではない                      |
| 養護教諭の資格をとるために何らかの進学を考えています              |
| まだ決めていないから                              |
| まだあまり考えていない                             |
| 助産師課程を取ることができたら考えたい。                    |
| 専門看護師について迷っているので行く可能性があるが、現時点では進学予定はない。 |
| 助産師の資格が取れる場合、進学を考えたいと思っています。            |
| 迷っている                                   |
| 今現在で未定なため                               |
| 迷っている                                   |
| 迷っている                                   |
| 今の時点では何も考えていません。                        |
| 今のところ考えられてないです。                         |



※問4～問5は、問3で「1 考えている」と回答した76人への設問

問4 あなたが志望する大学院（修士課程）の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

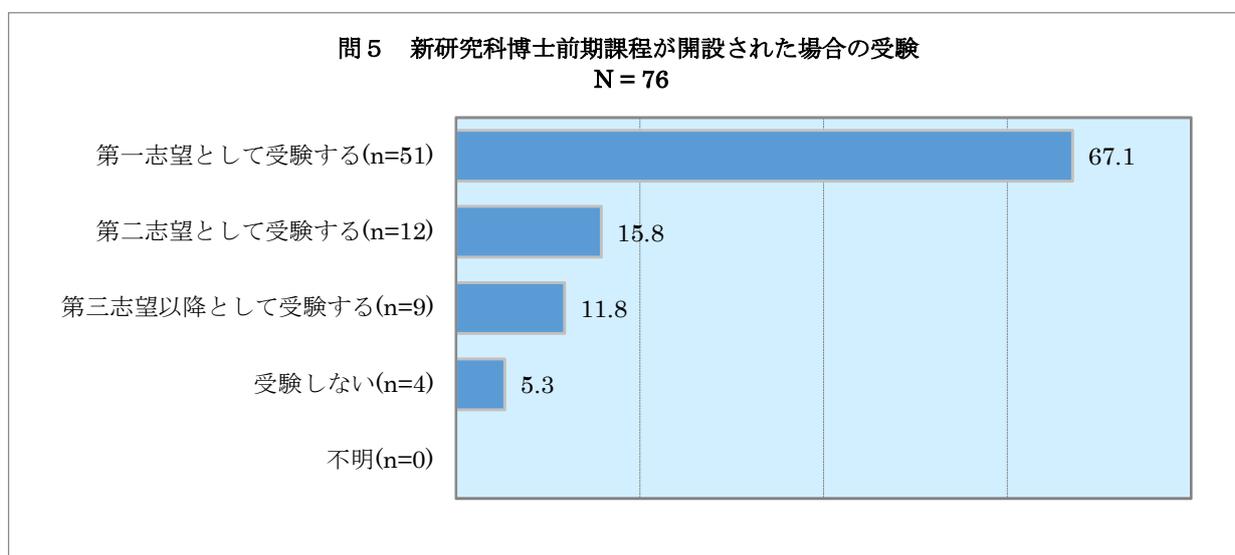
|      | 件数 | %    |
|------|----|------|
| 1 国立 | 58 | 76.3 |
| 2 公立 | 69 | 90.8 |
| 3 私立 | 12 | 15.8 |
| 不明   | 1  | 1.3  |
| 合計   | 76 | 100  |

※複数回答により、延数となり合計は100%にならない



問5 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合、受験を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

|                 | 件数 | %    |
|-----------------|----|------|
| 1 第一志望として受験する   | 51 | 67.1 |
| 2 第二志望として受験する   | 12 | 15.8 |
| 3 第三志望以降として受験する | 9  | 11.8 |
| 4 受験しない         | 4  | 5.3  |
| 不明              | 0  | 0.0  |
| 合計              | 76 | 100  |



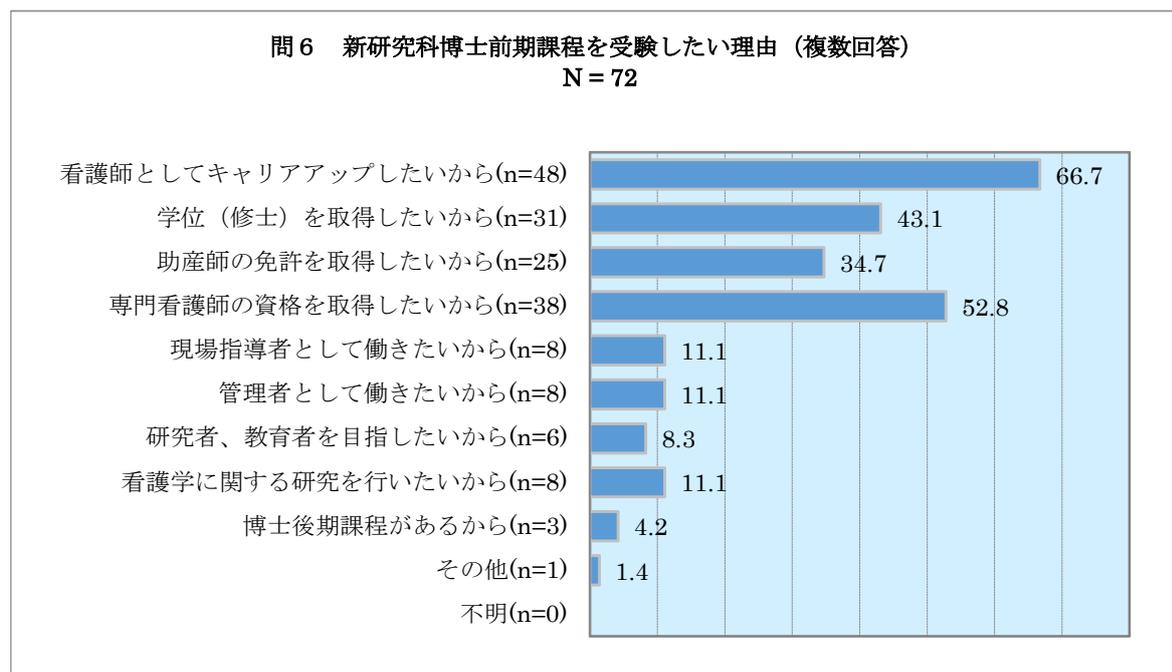
※問6～問7は、問5で「1 第一志望として受験する」「2 第二志望として受験する」「3 第三志望以降として受験する」と回答した72人への設問

問6 あなたが「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。(複数回答)

|                      | 件数 | %    |
|----------------------|----|------|
| 1 看護師としてキャリアアップしたいから | 48 | 66.7 |
| 2 学位（修士）を取得したいから     | 31 | 43.1 |
| 3 助産師の免許を取得したいから     | 25 | 34.7 |
| 4 専門看護師の資格を取得したいから   | 38 | 52.8 |
| 5 現場指導者として働きたいから     | 8  | 11.1 |
| 6 管理者として働きたいから       | 8  | 11.1 |
| 7 研究者、教育者を目指したいから    | 6  | 8.3  |
| 8 看護学に関する研究を行いたいから   | 8  | 11.1 |
| 9 博士後期課程があるから        | 3  | 4.2  |
| 10 その他               | 1  | 1.4  |
| 不明                   | 0  | 0.0  |
| 合計                   | 72 | 100  |

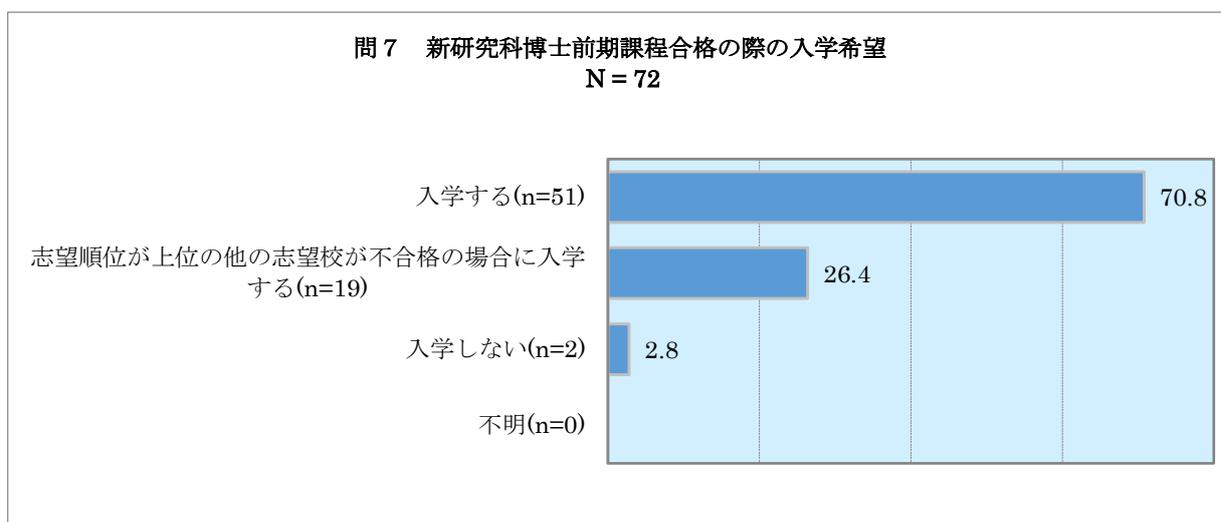
※複数回答により、延数となり合計は100%にならない

| その他              |
|------------------|
| 看護師としてスポーツに貢献したい |



問7 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験した合格した場合、入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

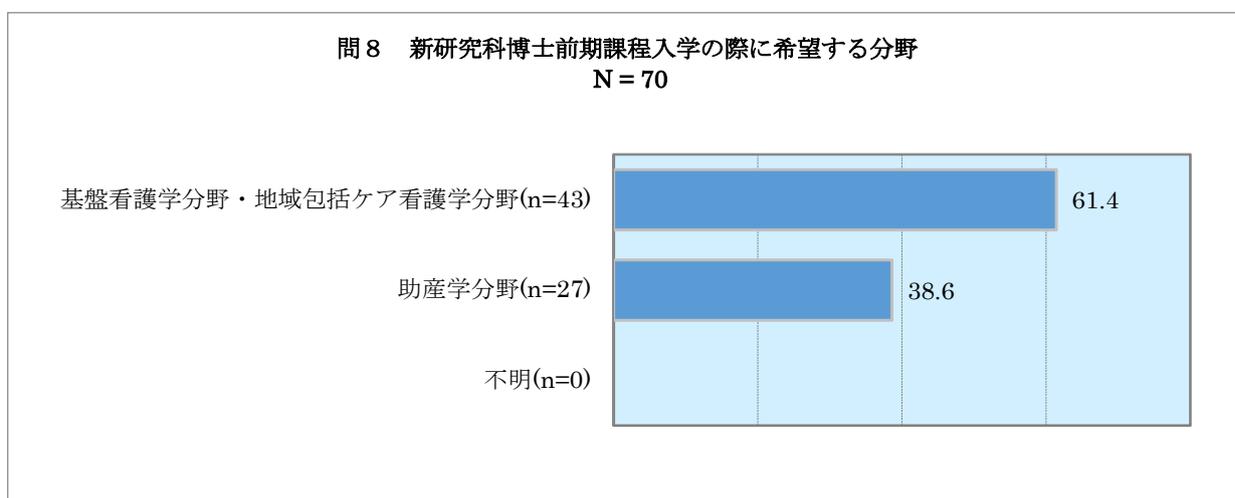
|                             | 件数 | %    |
|-----------------------------|----|------|
| 1 入学する                      | 51 | 70.8 |
| 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する | 19 | 26.4 |
| 3 入学しない                     | 2  | 2.8  |
| 不明                          | 0  | 0.0  |
| 合計                          | 72 | 100  |



※問8～問9は、問7で「1 入学する」「2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した  
70人への設問

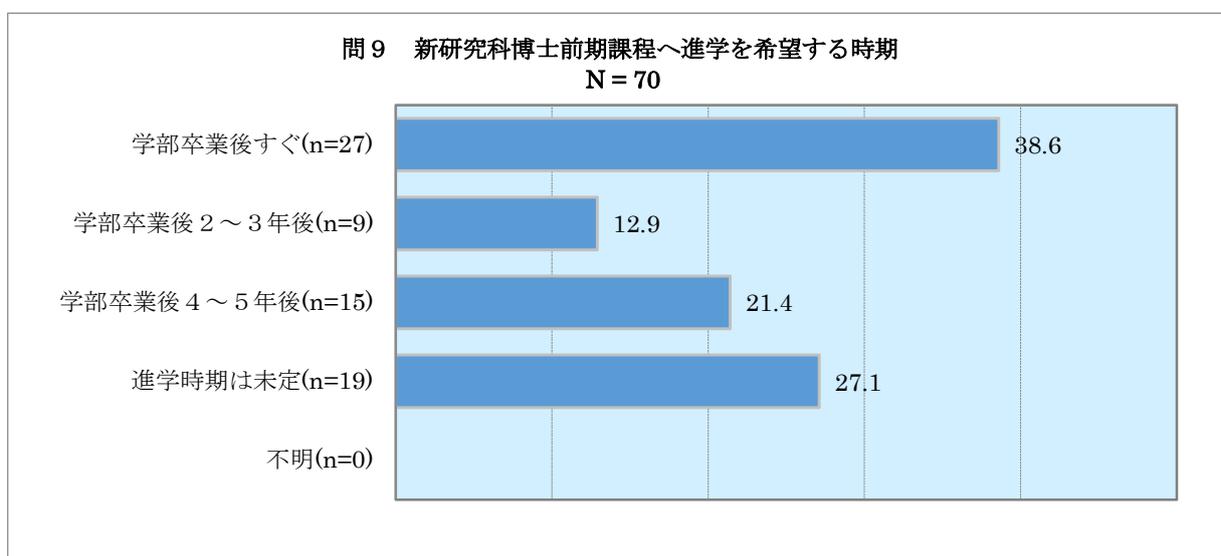
問8 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した場合、どの領域で学ぶことを希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

|                       | 件数 | %    |
|-----------------------|----|------|
| 1 基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野 | 43 | 61.4 |
| 2 助産学分野               | 27 | 38.6 |
| 不明                    | 0  | 0.0  |
| 合計                    | 70 | 100  |



問9 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」への進学はいつ頃を希望されますか。次の中から1つだけ選んでください。(令和5年度に学部を卒業する学生は2・3・4から選択してください。)

|              | 件数 | %    |
|--------------|----|------|
| 1 学部卒業後すぐ    | 27 | 38.6 |
| 2 学部卒業後2～3年後 | 9  | 12.9 |
| 3 学部卒業後4～5年後 | 15 | 21.4 |
| 4 進学時期は未定    | 19 | 27.1 |
| 不明           | 0  | 0.0  |
| 合計           | 70 | 100  |



問 10 川崎市立看護大学大学院看護学研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

| 意見・要望   |
|---|
| 出来るだけ収容人数が多い方が良くと思います。  |
| どんな感じか情報を言って欲しいです。  |
| 内部進学枠を作って欲しい。詳しい説明が聞きたい。  |
| もうちょっと入学できる人数を増やしてほしい   |
| 入学できる人数を増やして欲しいです。  |
| 助産師になりたい人がたくさんいるのに枠が少なすぎると思う。作るならもっと枠を増やしてほしい。そしたら少し興味がある   |
| 大学院の助産師の定員数が少ないと思うので、周囲に助産師を目指している人が多く、心配に思っている人が多かった。  |
| 交通の便がいいところがいいです   |
| 助産師課程はどれくらいの人数が取れますか？   |
| 在学生優遇制度(助産)があればより進学したいです！！！！  |
| ホスピタル・プレイ・スペシャリストの資格が取れるならば進学を考えても良いのかなと思いました。  |
| 大学だけでなく、大学院でも保健師国家試験受験資格を取得できるようにしてほしい。大学院の定員人数をもっと増やして欲しい。川崎市立看護大卒業の人が大学院への入学を希望した場合、外部の人より優遇するようにしてほしい。   |
| 駅に近い場所に大学院を設置して欲しいです。   |
| 助産学分野への進学者は3名と知ったのですが、今後増えることはありますか？  |
| とても良いことだと思います。  |
| 急性期の勉強ができるならば川崎市立看護大学の大学院に進学したいと思いました。  |
| 訪問看護師として将来働きたいと考えているので、在宅看護の専門看護師を取得できるカリキュラムが欲しいです。  |
| 今はまだ進学については考えていないが、例えば就職して新たな進路を希望した時に選択肢が増えるのは良いことなので、大学院設置には賛成です。1ついうと、NPの資格も取れるコースがあると、より選択肢が増えるのではと感じました。(希望者が少ないのもあるが)   |
| 現在は大学院進学意向がありませんが、大学院が開設されることは本学の学生および全国の看護学生の選択肢が広がることに繋がると考えるので、期待しています。  |
| 大学院が設置されることで、学生の将来における選択肢の幅が大きく広がると考えられますので、大学院設立に向けてご尽力の方よろしくお願い致します。  |
| 助産師定員5名が少なく、私でも進学できるか不安です。推薦枠などあれば、早めに情報開示をお願いいたします。  |
| 女性アスリートの三主徴について研究し、アスリートが引退後までを踏まえた競技生活を送れるようにサポートしたい。川崎市は学生スポーツも盛んな都市であり、部活動でもそれらを踏まえたアプローチが必要であると考え。早期から正しい知識を持ってスポーツをできる環境を提供する必要性を感じる。看護師が研究し広めることで、選手と医師の架け橋になることができると考える。どちらの領域にも、この研究内容が該当しないと考え、他大学院の受験を検討しています。貴学でこのテーマを研究できる場合は、第一希望で受験したいです。 |
| 分野をもう少し増やしていただきたいです。  |

<アンケート調査票・リーフレット>

## 川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関する アンケート調査票

川崎市立看護大学では、令和7年（2025年）4月の開設に向けて、大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程・後期課程（仮称）の設置計画を進めております。

このアンケート調査は、事業所・施設の皆様に看護学研究科修了生の採用意向等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表することや他の目的のために利用することはありません。

回答に当たっては本調査票とは別にお配りしたリーフレットもご覧ください。

（回答は該当する番号を[回答欄]にご記入ください）

[ 回答欄 ]

問1 貴事業所・施設の種別についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- |       |              |            |   |
|-------|--------------|------------|---|
| 1 病院  | 2 訪問看護ステーション | 3 介護保険関連施設 | □ |
| 4 助産所 | 5 看護師養成学校    | 6 その他（具体的に |   |

問2 貴事業所・施設の所在地についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 神奈川県 2 東京都 3 埼玉県 4 千葉県 5 その他（具体的に

問3 貴事業所・施設では大学院修了生の採用について関心がありますか。①修士の学位取得者について、②博士の学位取得者について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

① 修士の学位取得者について

② 博士の学位取得者について

- 1 とても関心がある      2 少し関心はある      3 関心は無い

問4 貴事業所・施設は「川崎市立看護大学大学院看護学研究科」修了生につき、どのような能力を修得した人材を採用したいですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

- 1 看護師としての高度な理論、実践的能力を身につけた人材
- 2 専門看護師としての素養を身につけた人材
- 3 現場指導者、管理者としての素養を身につけた人材
- 4 助産師の免許を取得した人材
- 5 研究者、教育者としての素養を身につけた人材
- 6 学位（修士）を取得した人材
- 7 学位（博士）を取得した人材
- 8 その他（具体的に

【次頁に続く】

問5 貴事業所・施設では「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」の修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

- |           |   |            |
|-----------|---|------------|
| 1 採用したい   | } | 問6にお進み下さい。 |
| 2 採用を検討する |   |            |
| 3 採用しない   | } | 問7にお進み下さい。 |
| 4 わからない   |   |            |

問6 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」修了生について、貴事業所・施設で採用可能な人数を、下記分野ごとに次の中から1つだけ選んでください。

**【基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野※】** ※本調査票とは別にお配りしたリーフレットもご覧下さい。

- 1 1人      2 2人                  3 3人以上      4 人数は未確定                  5 採用しない

**【助産学分野】**

- 1 1人      2 2人                  3 3人以上      4 人数は未確定                  5 採用しない

問7 貴事業所・施設では「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」の修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

- |           |   |            |
|-----------|---|------------|
| 1 採用したい   | } | 問8にお進み下さい。 |
| 2 採用を検討する |   |            |
| 3 採用しない   | } | 問9にお進み下さい。 |
| 4 わからない   |   |            |

問8 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」修了生について、貴事業所・施設で採用可能な人数を次の中から1つだけ選んでください。

- 1 1人                  2 2人                  3 3人以上      4 人数は未確定

問9 貴事業所・施設では、従業員（職員）が在職のまま大学院へ進学することについて、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 大いに奨励したい      2 どちらかと言えば奨励したい      3 どちらとも言えない  
4 どちらかと言えば奨励しない      5 まったく奨励しない

問10 川崎市立看護大学大学院看護学研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

\*\*\*\*\* これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*\*\*



問6 あなたが志望する大学院（修士課程又は博士課程）の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

- 1 国立
- 2 公立
- 3 私立

問7 あなたの最終学歴についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 大学院（博士課程）修了 ⇒問 17 へお進み下さい。
  - 2 大学院（修士課程）修了 ⇒問 13 以下へお進みください。
  - 3 大学卒
  - 4 短期大学卒
  - 5 専門学校卒
  - 6 その他（具体的に
- 問8以下へお進みください。
- ⇒ 問 17 へお進み下さい。

**【問7で3～5を選択した方にお聞きします。】**

問8 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合、受験を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 第一志望として受験する
  - 2 第二志望として受験する
  - 3 第三志望以降として受験する
  - 4 受験しない ⇒ 問 17 へお進み下さい。
- 問9へお進みください。

問9 あなたが「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

- 1 看護師としてキャリアアップしたいから
  - 2 学位（修士）を取得したいから
  - 3 助産師の免許を取得したいから
  - 4 専門看護師の資格を取得したいから
  - 5 現場指導者として働きたいから
  - 6 管理者として働きたいから
  - 7 研究者、教育者を目指したいから
  - 8 看護学に関する研究を行いたいから
  - 9 博士後期課程があるから
  - 10 その他（具体的に
- ）

**【次頁に続く】**

問 10 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                             |   |                |                          |
|-----------------------------|---|----------------|--------------------------|
| 1 入学する                      | } | 問 11 へお進みください。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する |   |                |                          |
| 3 入学しない ⇒ 問 17 へお進み下さい。     |   |                |                          |

問 11 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した場合、どの分野で学ぶことを希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                             |           |                          |
|-----------------------------|-----------|--------------------------|
| 1 【基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野※】    | 2 【助産学分野】 | <input type="checkbox"/> |
| *本調査票とは別にお配りしたリーフレットもご覧下さい。 |           |                          |

問 12 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」への進学はいつ頃を希望されますか。次の中から1つだけ選んでください。回答後は問 17 へお進みください。

- |               |           |                          |
|---------------|-----------|--------------------------|
| 1 令和7年度（開設年度） | 2 令和8年度   | <input type="checkbox"/> |
| 3 令和9年度以降     | 4 進学時期は未定 |                          |

**【問7で2を選択した方にお聞きします。】**

問 13 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」が開設された場合、受験を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                          |   |                |                          |
|--------------------------|---|----------------|--------------------------|
| 1 第一志望として受験する            | } | 問 14 へお進みください。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 第二志望として受験する            |   |                |                          |
| 3 第三志望以降として受験する          |   |                |                          |
| 4 受験しない ⇒ 問 17 へお進みください。 |   |                |                          |

問 14 あなたが「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」を受験したい理由は何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

- 1 看護師としてキャリアアップしたいから
- 2 学位（博士）を取得したいから
- 3 現場指導者として働きたいから
- 4 管理者として働きたいから
- 5 研究者、教育者を狙いたいから
- 6 看護学に関する研究を行いたいから
- 7 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

**【次頁に続く】**

問 15 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入学する
- 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 3 入学しない ⇒問 17へお進み下さい。

} 問 16へお進みください。

問 16 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士後期課程」への進学はいつ頃を希望されますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 令和7年度（開設年度）
- 2 令和8年度
- 3 令和9年度以降
- 4 進学時期は未定

問 17 川崎市立看護大学大学院看護学研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

\*\*\*\*\* これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*\*\*

## 川崎市立看護大学大学院看護学研究科（仮称）設置に関する アンケート調査票

川崎市立看護大学では、令和7年（2025年）4月の開設に向けて、大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程・後期課程（仮称）の設置計画を進めております。

このアンケート調査は、在学生の皆様にご卒業後の進路等に関する意向や看護学研究科への興味・関心等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表することや他の目的のために利用することはありません。

回答に当たっては本調査票とは別にお配りしたリーフレットもご覧ください。

（回答は該当する番号を【回答欄】にご記入ください）

- 問1 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。 【回答欄】
- 1 1年次生                      2 2年次生                      3 3年次生
- 問2 あなたがお住まいの地域についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。
- 1 神奈川県    2 東京都    3 埼玉県    4 千葉県    5 静岡県    6 山梨県  
7 その他（具体的に                      ）
- 問3 あなたは卒業後、看護学を研究することのできる大学院（修士課程）への進学をしたいと考えていますか（卒業して数年経過後、進学する場合も含む）。次の中から1つだけ選んでください。
- 1 考えている    ⇒問4にお進み下さい。  
2 考えていない  
3 その他（具体的に                      ) } 問10にお進み下さい
- 問4 あなたが志望する大学院（修士課程）の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）
- 1 国立  
2 公立  
3 私立
- 問5 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」が開設された場合、受験を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。
- 1 第一志望として受験する  
2 第二志望として受験する  
3 第三志望以降として受験する } 問6へお進みください。  
4 受験しない    ⇒問10へお進みください

【次頁に続く】

問6 あなたが「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験したい理由は何ですか。次の中からあてはまるものを**全て**選んでください。

- 1 看護師としてキャリアアップしたいから
- 2 学位（修士）を取得したいから
- 3 助産師の免許を取得したいから
- 4 専門看護師の資格を取得したいから
- 5 現場指導者として働きたいから
- 6 管理者として働きたいから
- 7 研究者、教育者を目指したいから
- 8 看護学に関する研究を行いたいから
- 9 博士後期課程があるから
- 10 その他（具体的に )

問7 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- 1 入学する
- 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 3 入学しない ⇒問10へお進みください。

} 問8へお進みください。

問8 あなたは「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」に入学した場合、どの分野で学ぶことを希望しますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- 1 【基盤看護学分野・地域包括ケア看護学分野<sup>\*</sup>】
- 2 【助産学分野】

<sup>\*</sup>本調査票とは別にお配りしたリーフレットもご覧下さい。

問9 「川崎市立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程」への進学はいつ頃を希望されますか。次の中から**1つだけ**選んでください。（令和5年度に学部を卒業する学生は2・3・4から選択してください）

- 1 学部卒業後すぐ
- 2 学部卒業後2～3年後
- 3 学部卒業後4～5年後
- 4 進学時期は未定

問10 川崎市立看護大学大学院看護学研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

\*\*\*\*\* これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*\*\*

# 川崎市立看護大学大学院

看護学研究科 看護学専攻(博士前期課程/博士後期課程)

設置構想中

開設時期: 2025年(令和7年)4月

- 博士前期課程/定員18名(予定) 修業年限/2年 学位/修士(看護学)
- 博士後期課程/定員5名(予定) 修業年限/3年 学位/博士(看護学)

内容は構想中のものであり、変更になる場合があります。

## 教育目的・理念

地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとするには、看護職をはじめとする専門職や医療、看護、介護、福祉、生活支援等の関係者一人ひとりが、社会に求められるコンピテンシーに基づく知識・態度・判断力・実践力を身に付けそれを発揮するとともに、広い見識のもと多職種と連携していく必要があります。そのため、大学院では、次のような人材を養成します。

## 養成する人材像

- より高度な専門性と実践力を有し、地域における看護の質の向上を牽引する看護職
- 看護学の発展に寄与し国内外で活躍する教育・研究者
- 所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材
- 少子化の時代において思春期及び妊娠期から老年期までのリプロダクティブ・ヘルスを支援できる助産師

## 想定される修了後の進路

- 博士後期課程への進学
- 看護学の発展に寄与する教育・研究者
- 高度な専門知識をもつ人材として、保健医療福祉の施設等

## 働きながら通える大学院として

地域で活躍する社会人がさらなる専門性修得のために働きながら通うことが可能となるような修学・教育体制を整備します。

- 平日夜間帯や土曜日などを活用した授業(講義、演習)の実施(原則として実習は平日日中が基本)
- 長期履修制度の活用
- 利便性の高い川崎駅から徒歩10分圏内の大学院校舎の整備※

※助産学領域は既存の校舎にて実施



〒212-0054 川崎市幸区小倉4丁目30番1号

お問合せ先

TEL 044-587-3500 FAX 044-587-3506

## 大学院で設置するコース

大きく動き出している看護学において、自分のキャリアをもう一步高めたいと思っている方に、高度な実践力を高めるためのコースと研究力を高めるコースを準備いたします。

### ●博士前期課程

| 分野          | 領域〔専門領域〕  | 定員・修業年限・学位  |
|-------------|---|---|
| 基盤看護学分野     | 看護援助学<br>【看護援助学、看護マネジメント学、感染看護学*、家族看護学*】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>定員/18名(うち3名が助産学)</li> <li>修業年限/2年</li> <li>取得学位/修士(看護学)</li> </ul> |
| 地域包括ケア看護学分野 | ライフコースケア看護学<br>【クリティカル看護学*、小児看護学、成人看護学、老年看護学】<br><br>広域看護学<br>【精神看護学*、在宅看護学*、公衆衛生看護学、保健医療経営学】 |   |
| 助産学分野       | 助産学   |   |

※専門看護師教育課程及び特定行為研修課程を含めた高度実践看護コースの選択が可能

### ●博士後期課程

| 分野          | 領域〔専門領域〕                       | 定員・修業年限・学位   |
|-------------|--------------------------------|--|
| 基盤看護学分野     | 看護援助学<br>【看護援助学、感染看護学】         | <ul style="list-style-type: none"> <li>定員/5名</li> <li>修業年限/3年</li> <li>取得学位/博士(看護学)</li> </ul> |
| 地域包括ケア看護学分野 | 広域看護学<br>【精神看護学、老年看護学、公衆衛生看護学】 |  |

## 学生納付金

|     |                             |         |          |
|-----|-----------------------------|---------|----------|
| 入学金 | ●282,000円 ●141,000円(川崎市の住民) | 授業料(年間) | 535,800円 |
|-----|-----------------------------|---------|----------|

### Access



川崎市立看護大学  
Kawasaki City College of Nursing

〒212-0054 川崎市幸区小倉4丁目30番1号

お問合せ先

TEL 044-587-3500 FAX 044-587-3506



## 新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

|   | 都道府県名 | 人 数 | 構成比     |
|---|-------|-----|---------|
| 1 |       |     | #DIV/0! |
| 2 |       |     | #DIV/0! |
| 3 |       |     | #DIV/0! |
| 4 |       |     | #DIV/0! |
| 5 |       |     | #DIV/0! |
|   | 全 体   |     | #DIV/0! |

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

|   | 新組織所在地<br>(都道府県) | 充足率    |        |        |
|---|------------------|--------|--------|--------|
|   |                  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  |
| 1 | 神奈川県 修士          | 59.92% | 62.70% | 62.70% |
| 2 | 神奈川県 博士          | 85.25% | 86.89% | 84.80% |

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

|   | 系統区分   | 充足率    |        |        |
|---|--------|--------|--------|--------|
|   |        | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  |
| 1 | 看護学 修士 | 71.27% | 69.67% | 66.07% |
| 2 | 看護学 博士 | 98.73% | 92.94% | 90.80% |

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

1. 各選抜方法の状況

|           |      | H31年度入試  | R2年度入試 | R3年度入試 | R4年度入試 | R5年度入試  | 平均      |         |
|-----------|------|----------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 総合型選抜     | 募集人数 |          |        |        | 100人   | 100人    | 100人    |         |
|           | 延べ人数 | 志願者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 受験者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 合格者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 辞退者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           | 実人数  | 志願者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 受験者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 合格者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
| 辞退者数      |      |          |        |        |        |         | #DIV/0! |         |
| 入学者数      |      |          |        |        |        | #DIV/0! |         |         |
| 学校推薦型選抜   | 募集人数 |          |        |        | 25人    | 25人     | 25人     |         |
|           | 延べ人数 | 志願者数     |        |        |        | 67人     | 75人     | 71人     |
|           |      | 受験者数     |        |        |        | 67人     | 75人     | 71人     |
|           |      | 合格者数     |        |        |        | 25人     | 25人     | 25      |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
|           |      | 辞退者数     |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
|           | 実人数  | 志願者数     |        |        |        | 67人     | 75人     | 71      |
|           |      | 受験者数     |        |        |        | 67人     | 75人     | 71      |
|           |      | 合格者数     |        |        |        | 25人     | 25人     | 25      |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
| 辞退者数      |      |          |        |        | 0人     | 0人      | 0       |         |
| 入学者数      |      |          |        | 25人    | 25人    | 25      |         |         |
| 一般選抜      | 募集人数 |          |        |        | 75人    | 75人     | 75      |         |
|           | 延べ人数 | 志願者数     |        |        |        | 695人    | 559人    | 627     |
|           |      | 受験者数     |        |        |        | 536人    | 277人    | 406.5   |
|           |      | 合格者数     |        |        |        | 90人     | 94人     | 92      |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        | 7人      | 10人     | 8.5     |
|           |      | 辞退者数     |        |        |        | 14人     | 19人     | 16.5    |
|           | 実人数  | 志願者数     |        |        |        | 607人    | 504人    | 555.5   |
|           |      | 受験者数     |        |        |        | 491人    | 251人    | 371     |
|           |      | 合格者数     |        |        |        | 90人     | 94人     | 92      |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        | 7人      | 10人     | 8.5     |
| 辞退者数      |      |          |        |        | 14人    | 19人     | 16.5    |         |
| 入学者数      |      |          |        | 76人    | 75人    | 75.5    |         |         |
| 共通テスト利用入試 | 募集人数 |          |        |        |        |         | #DIV/0! |         |
|           | 延べ人数 | 志願者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 受験者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 合格者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 辞退者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           | 実人数  | 志願者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 受験者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | 合格者数     |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        |         |         | #DIV/0! |
| 辞退者数      |      |          |        |        |        |         | #DIV/0! |         |
| 入学者数      |      |          |        |        |        | #DIV/0! |         |         |
| その他の特別選抜  | 募集人数 |          |        |        | 0人     | 0人      | 0       |         |
|           | 延べ人数 | 志願者数     |        |        |        | 8人      | 2人      | 5       |
|           |      | 受験者数     |        |        |        | 8人      | 2人      | 5       |
|           |      | 合格者数     |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
|           |      | 辞退者数     |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
|           | 実人数  | 志願者数     |        |        |        | 8人      | 2人      | 5       |
|           |      | 受験者数     |        |        |        | 8人      | 2人      | 5       |
|           |      | 合格者数     |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
|           |      | うち追加合格者数 |        |        |        | 0人      | 0人      | 0       |
| 辞退者数      |      |          |        |        | 0人     | 0人      | 0       |         |
| 入学者数      |      |          |        | 0人     | 0人     | 0       |         |         |
| 合計        | 募集人数 | 0人       | 0人     | 0人     | 200人   | 200人    | 80人     |         |
|           | 延べ人数 | 志願者数     | 0人     | 0人     | 0人     | 770人    | 636人    | 281人    |
|           |      | 受験者数     | 0人     | 0人     | 0人     | 611人    | 354人    | 193人    |
|           |      | 合格者数     | 0人     | 0人     | 0人     | 115人    | 119人    | 47人     |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人     | 0人     | 0人     | 7人      | 10人     | 3人      |
|           |      | 辞退者数     | 0人     | 0人     | 0人     | 14人     | 19人     | 7人      |
|           | 実人数  | 志願者数     | 0人     | 0人     | 0人     | 682人    | 581人    | 253人    |
|           |      | 受験者数     | 0人     | 0人     | 0人     | 566人    | 328人    | 179人    |
|           |      | 合格者数     | 0人     | 0人     | 0人     | 115人    | 119人    | 47人     |
|           |      | うち追加合格者数 | 0人     | 0人     | 0人     | 7人      | 10人     | 3人      |
| 辞退者数      |      | 0人       | 0人     | 0人     | 14人    | 19人     | 7人      |         |
| 入学者数      | 0人   | 0人       | 0人     | 101人   | 100人   | 40人     |         |         |

3. 入学定員充足率

|         | H31年度入試 | R2年度入試  | R3年度入試  | R4年度入試 | R5年度入試 | 平均    |
|---------|---------|---------|---------|--------|--------|-------|
| 入学定員    |         |         |         | 101人   | 100人   | 100.5 |
| 入学定員充足率 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 1.00   | 1.00   | 1.00  |
| 歩留率     | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 0.83   | 0.78   | 0.80  |

（備考）既設学科の設置が令和4年度のため、R4年度入試以降のみ記載。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：川崎市立看護大学看護学部看護学科のオープンキャンパス

|             | R4年度入試  | R5年度入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析   |
|-------------|---------|--------|--|
| 参加者等総数(a)   |         | 198人   | ①取組概要<br>受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内を実施。<br>R5年度入試対象（R4年度開催）：計3回開催（6/19.7/17.3/25） |
| うち受験対象者数(b) |         | 108人   |  |
| うち受験者数(c)   |         | 106人   |  |
| うち入学者数(d)   |         | 33人    |  |
| (受験率 c/b)   | #DIV/0! | 1人     |  |
| (入学率 d/b)   | #DIV/0! | 0人     |  |

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：川崎市立看護大学看護学部看護学科の大学説明会

|             | R4年度入試  | R5年度入試  | 取組概要と入学者数等に関する分析   |
|-------------|---------|---------|--|
| 参加者等総数(a)   |         |         | ①取組概要<br>令和4年度に設置予定の川崎市立看護大学について、受験生を対象として養成する人材像の紹介、入試等について説明を実施。<br>R4年度入試対象（R3年度開催）：計3回開催（6/19.7/17.10/2）<br>※参加者等総数については、把握していません。 |
| うち受験対象者数(b) |         |         |  |
| うち受験者数(c)   |         |         |  |
| うち入学者数(d)   |         |         |  |
| (受験率 c/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |  |
| (入学率 d/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |  |

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

|             | R4年度入試  | R5年度入試  | 取組概要と入学者数等に関する分析  |
|-------------|---------|---------|---|
| 参加者等総数(a)   |         |         | ①取組概要<br><br>②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析<br>※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 |
| うち受験対象者数(b) |         |         |   |
| うち受験者数(c)   |         |         |   |
| うち入学者数(d)   |         |         |   |
| (受験率 c/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |   |
| (入学率 d/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |   |

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

|             | R4年度入試  | R5年度入試  | 取組概要と入学者数等に関する分析  |
|-------------|---------|---------|---|
| 参加者等総数(a)   |         |         | ①取組概要<br><br>②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析<br>※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 |
| うち受験対象者数(b) |         |         |   |
| うち受験者数(c)   |         |         |   |
| うち入学者数(d)   |         |         |   |
| (受験率 c/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |   |
| (入学率 d/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |   |

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

|             | R4年度入試  | R5年度入試  | 取組概要と入学者数等に関する分析  |
|-------------|---------|---------|---|
| 参加者等総数(a)   |         |         | ①取組概要<br><br>②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析<br>※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 |
| うち受験対象者数(b) |         |         |   |
| うち受験者数(c)   |         |         |   |
| うち入学者数(d)   |         |         |   |
| (受験率 c/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |   |
| (入学率 d/b)   | #DIV/0! | #DIV/0! |   |